

「ASEANヘルスケアセミナー」

成長する東南アジアのヘルスケア市場 ～タイを中心とした現地動向～

日本貿易振興機構（ジェトロ）

バンコク事務所

2026年5月15日

自己紹介

日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所

Trade & Investment Consultant/
Director of Investment Promotion Dept.,

上江洲 祐貴

かみえす

ゆうき



- 2017年4月 日本貿易振興機構（ジェトロ）入構
- 2017年4月 ビジネス展開支援部 途上国ビジネス開発課（東南アジア担当）
- 2018年4月 ビジネス展開支援部 新興国ビジネス開発課（東南アジア担当）
- 2019年6月 広島貿易情報センター（貿易投資相談・対日投資・SU・高度人材・デザイン製品等）
- 2022年9月 バンコク事務所（総務・事務所運営全般・高度人材・医療メディカル）
- 2024年10月 バンコク事務所（海外ビジネスアドバイザー、貿易投資相談対応、医療メディカル）

PR | ジェトロ概要

ジェトロ概要

名称	独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ） Japan External Trade Organization (JETRO)
根拠法	独立行政法人日本貿易振興機構法（2002年12月13日法律第172号）
設立	2003年10月1日
代表者	理事長 石黒 憲彦
住所	〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル（総合案内6階）
従業員	1,925 人 (国内 1,231人 & 海外 694 人) (20254月時点)
目的	「我が国の貿易の振興に関する事業を総合的かつ効率的に実施すること並びにアジア地域等の経済及びこれに関連する諸事情について基礎的かつ総合的な調査研究並びにその成果の普及を行い、もってこれらの地域との貿易の拡大及び経済協力の促進に寄与することを目的とする。」 (独立行政法人日本貿易振興機構法第3条より抜粋)

ジェトロバンコク概要

名称	独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所 Japan External Trade Organization (JETRO) Bangkok
設立	1954年10月
代表者	阿部 一郎（ASEAN調整センター所長）
住所	127 Gaysorn Tower, 29th Floor, Ratchadamri Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
役割	<ul style="list-style-type: none"> 日本企業のタイビジネス支援 イノベーション（SU・対日投資）の促進 日本の農林水産物・食品の輸出支援 知的財産支援 調査研究（タイ国内・ASEAN広域） ASEAN9カ所のジェトロ事務所統括

JETRO
Japan External
Trade Organization



PR | ジェトロのネットワーク

- 世界70都市以上、全国47都道府県に広がるネットワークを活かして、日本経済のさらなる発展と地方創生に貢献。
- 国内事務所：大阪本部、貿易情報センター 49事務所（2024年10月10日時点）
- 海外事務所：56カ国 76事務所（2024年10月10日時点）

47 都道府県 **49** 事務所



56 カ国 **76** 事務所



PR ジェトロの現地事務所ネットワーク（ASEAN）

- ASEANには、ジェトロの海外事務所が10拠点立地しており、現地に根差した企業サポートを提供しています
- 70年に及ぶ現地ネットワークに加え、域内外のジェトロ事務所と連携し、企業の広範な活動ニーズに応えます

ASEAN9カ国・10事務所が企業活動をサポート

- (1) バンコク, 1954年～
- (2) シンガポール, 1956年～
- (3) マニラ, 1956年～
- (4) クアラルンプール, 1958年～
- (5) ジャカルタ, 1959年～
- (6) ハノイ, 1993年～
- (7) ヤンゴン, 1997年～
- (8) ホーチミン, 2000年～
- (9) プノンペン, 2010年～
- (10) ビエンチャン, 2014年～



1959年頃の
ジェトロ・バンコク
(Charoen Krung Road)

PR | ビジョン、ミッション、バリューズ

ビジョン、ミッション、バリューズ

世界とつながる。ともに、一歩先へ

ビジョン

(わたしたちが目指すこと)

つながりの力で実現する
豊かで平和な世界

ミッション

(わたしたちの使命)

人、企業、国とともに、
未踏のフィールドに
ビジネスの礎を創りあげる

バリューズ

(わたしたちの価値観)

《志と情熱》 高い志を掲げ、情熱を抱き、楽しむ
《現場重視》 現場を重視し、理想を具現化するために自ら動く
《顧客志向》 お客様とともに、新たな価値を創造する
《先進性》 一歩先の視点を持ち、柔軟に対応する
《知の追究》 好奇心を胸に、まだ見ぬ“知”を開拓する
《相互理解》 多様性を大切にし、互いに尊重し合う

目次

I.	<u>ASEANヘルスケア基礎概況</u>	7
II.	<u>タイのヘルスケア市場の特徴・優位性</u>	25
III.	<u>タイにおけるヘルスケア関連ニーズ</u>	48
参考.	<u>進出に際しての障壁（規制）</u>	71
参考.	<u>ジェトロのヘルスケア事業</u>	77



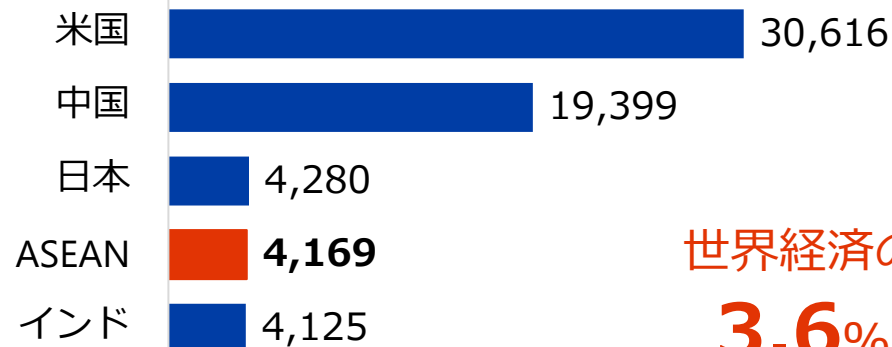
I ASEANの経済と人口の規模

- 東南アジア諸国連合（ASEAN）は東南アジア地域11カ国の連合組織。
- ASEAN加盟国の名目GDP（2025年）は4兆1,669億ドル（世界シェア3.6%）、人口（2025年）は7億人（同8.5%）。



国内総生産 名目GDP

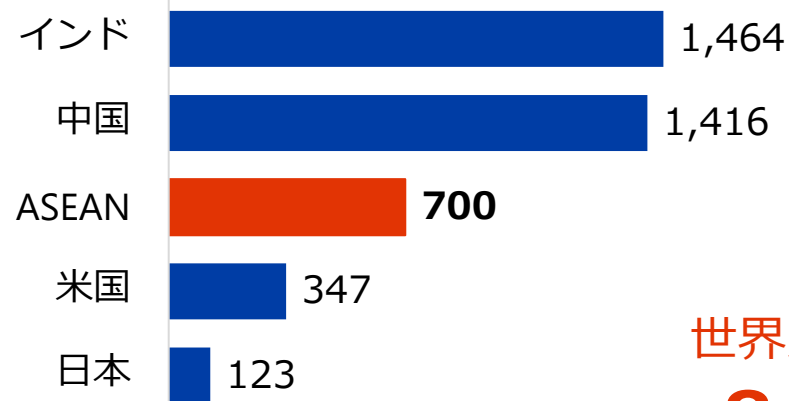
時点：2026年2月
単位：10億ドル



世界経済の
3.6%

人口

時点：2024年7月
単位：100万人

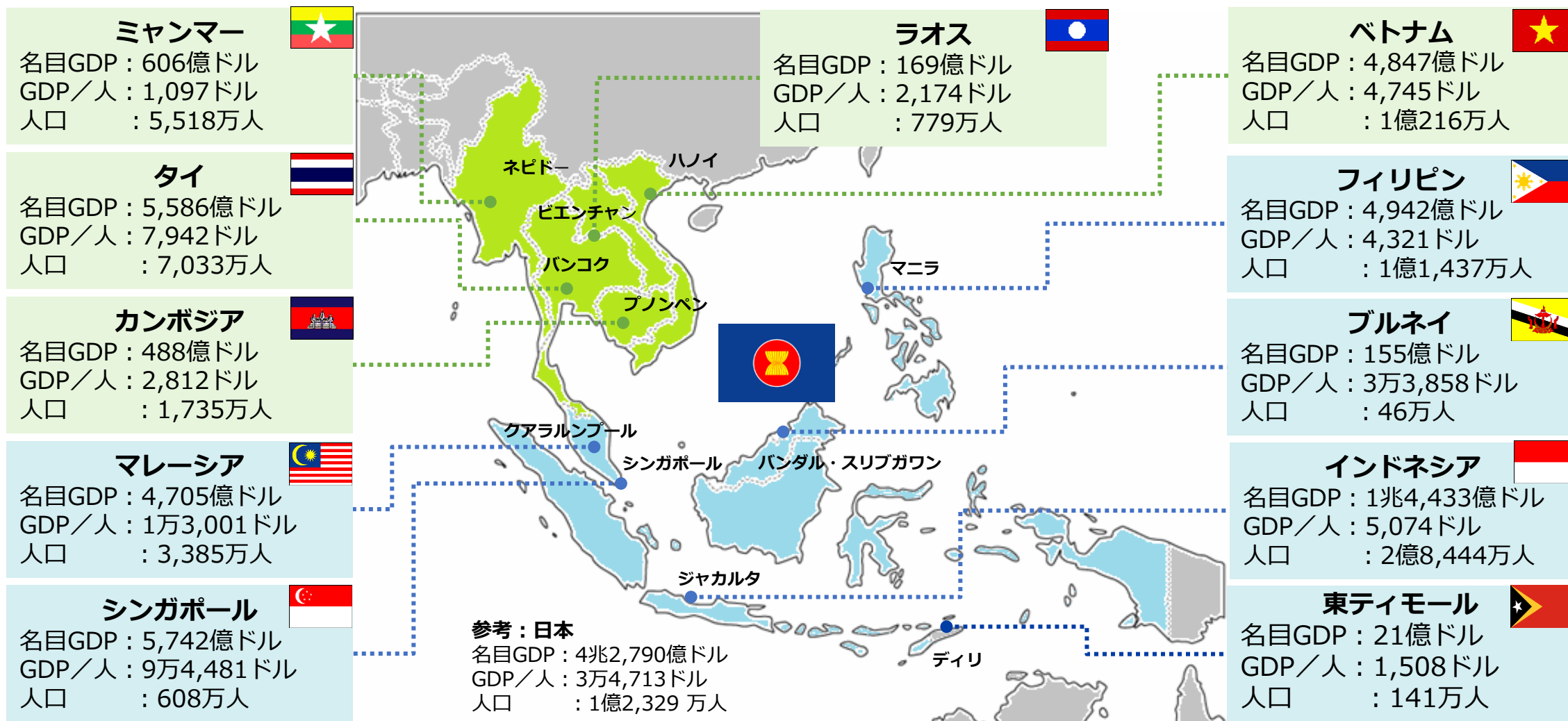


世界人口の
8.5%



I ASEAN加盟11カ国の指標 (2025年)

- 人口規模も経済規模・水準も大きく異なる11カ国。陸側ASEANと海側ASEANに大別される。

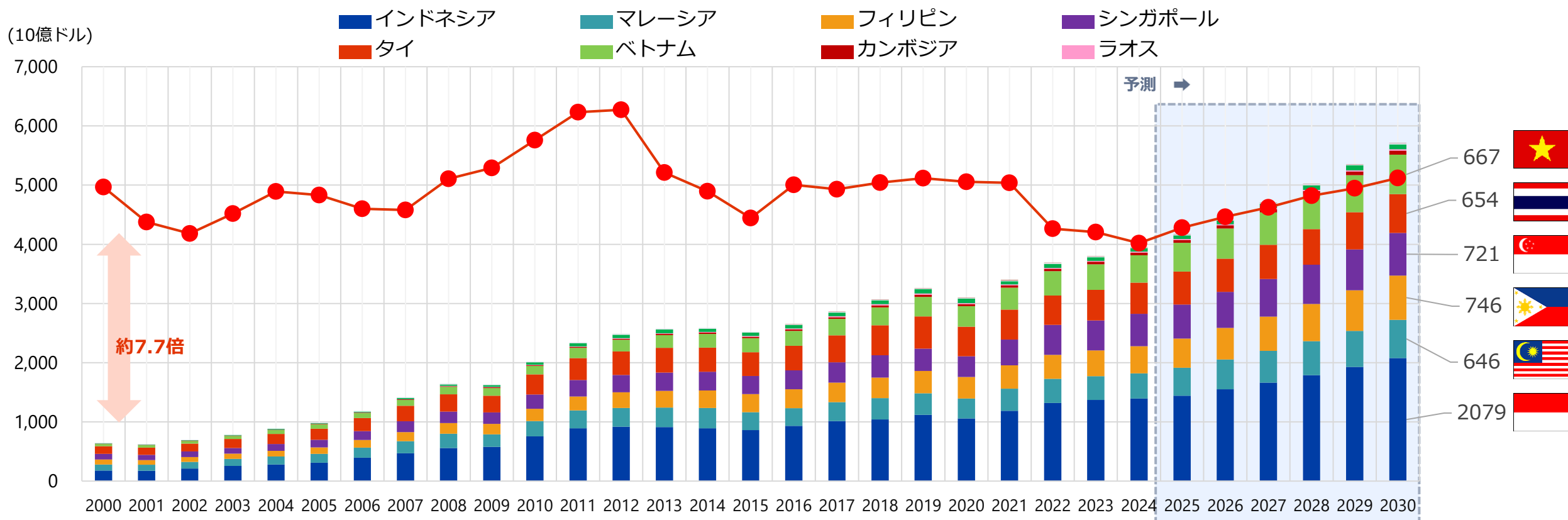




I ASEAN経済は日本を上回る規模に

- IMFの見通しによると、2027年にASEANの名目GDPは4兆7,000億ドルに達し、日本を上回る見通し。
- 2025年時点では、米国、中国、EUに次いで、インドや日本に迫る経済規模となる。
しかし、経済統合・市場統合が十分に進展しなければ、東南アジア地域の中～小規模国が11カ国集まっている状態にすぎない、という指摘も。

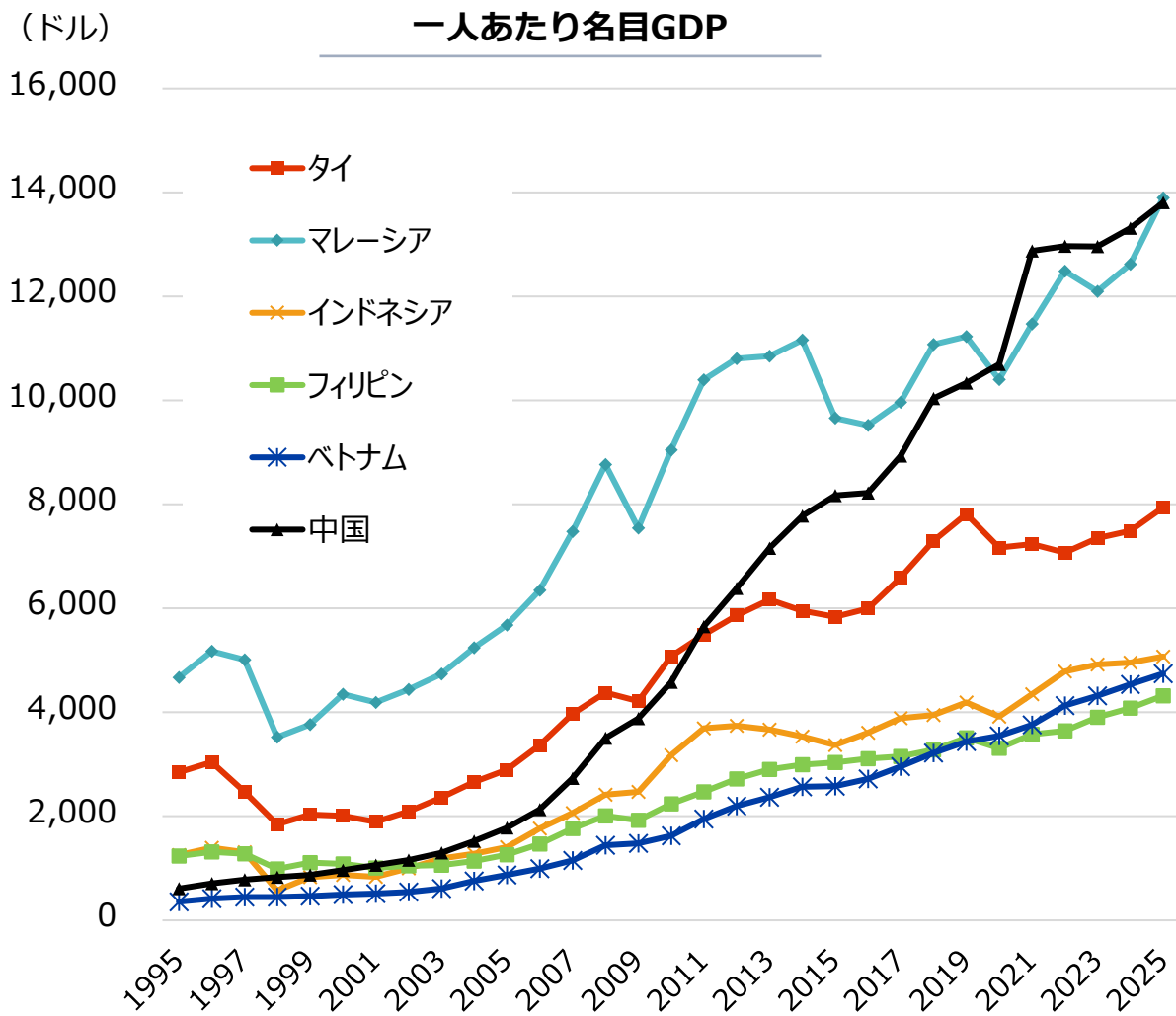
名目GDPの推移と予測



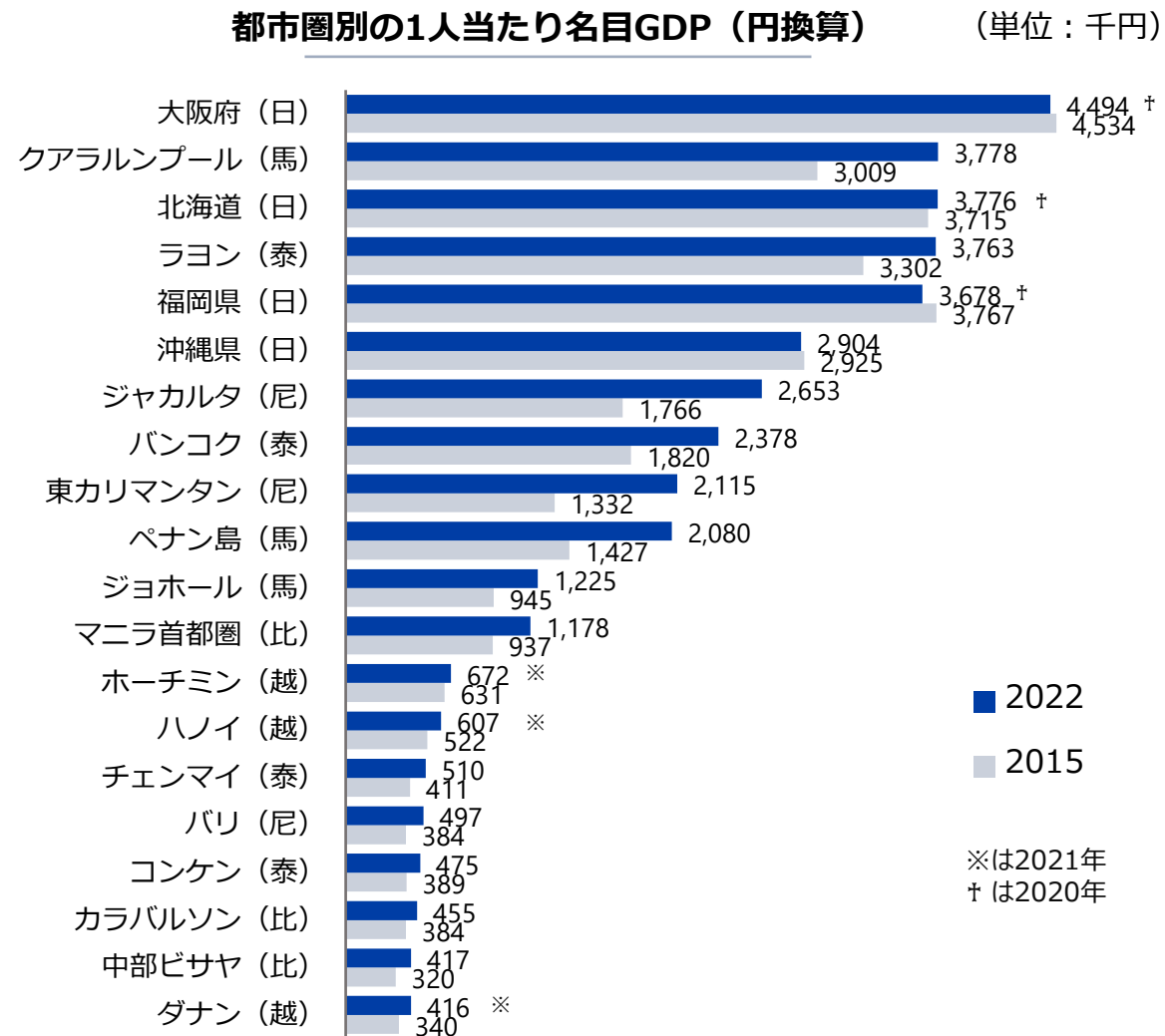


I 1人あたりGDP推移

- 30年間で所得は大幅に上昇。都市圏別では日本並みに。



(出所) IMF “World Economic Outlook database: October 2025”よりジェトロ作成

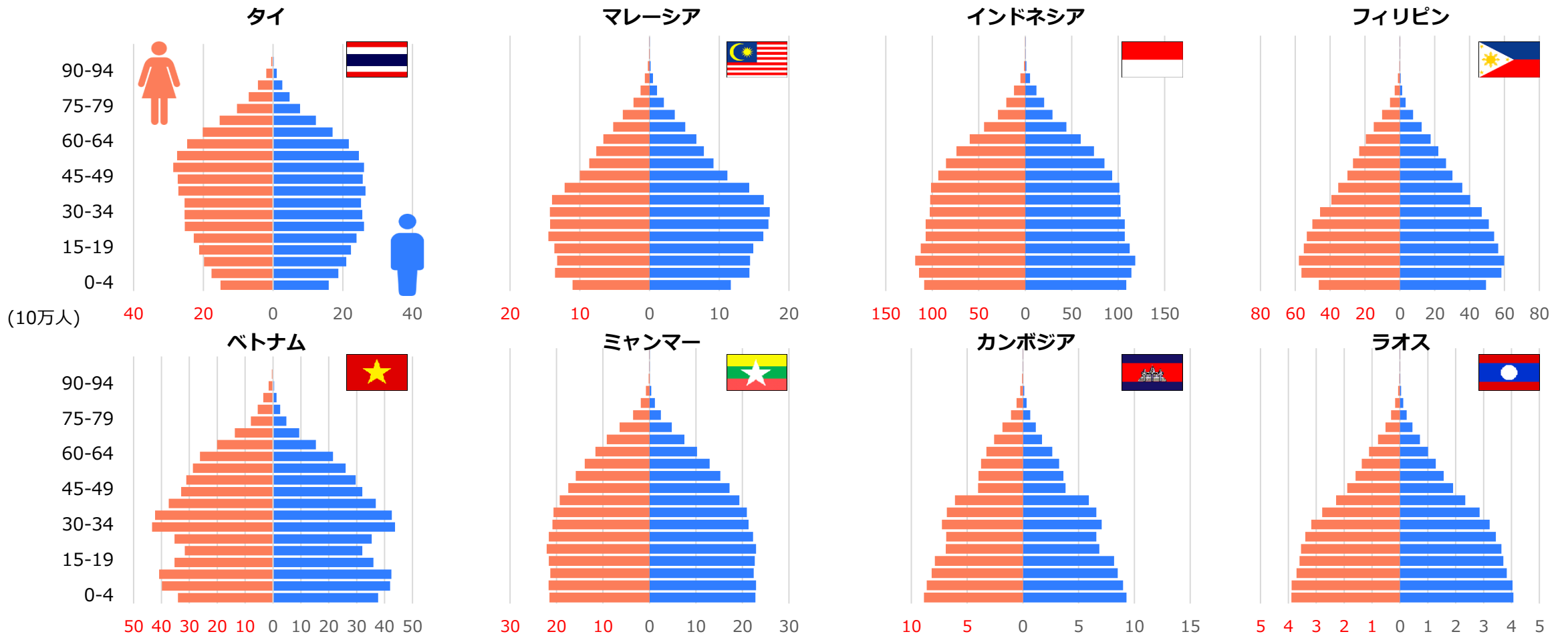


(出所) 内閣府；CEIC を基にジェトロ作成



I ASEANの人口ピラミッド

- タイは、既に「65歳以上が人口の14%を超える」高齡社会に入っている
- ベトナムやマレーシアでも、高齡化社会の到来を見据える必要がある





I 平均寿命・高齢者割合・合計特殊出生率

- 平均寿命・高齢者割合・出生率の組み合わせにより、人口構造が段階的に分かれており、「高齢化が既に進行している市場」「これから急速に進む市場」「若年人口中心の市場」の三層構造となっている。

各国の平均寿命・高齢者割合・出生率

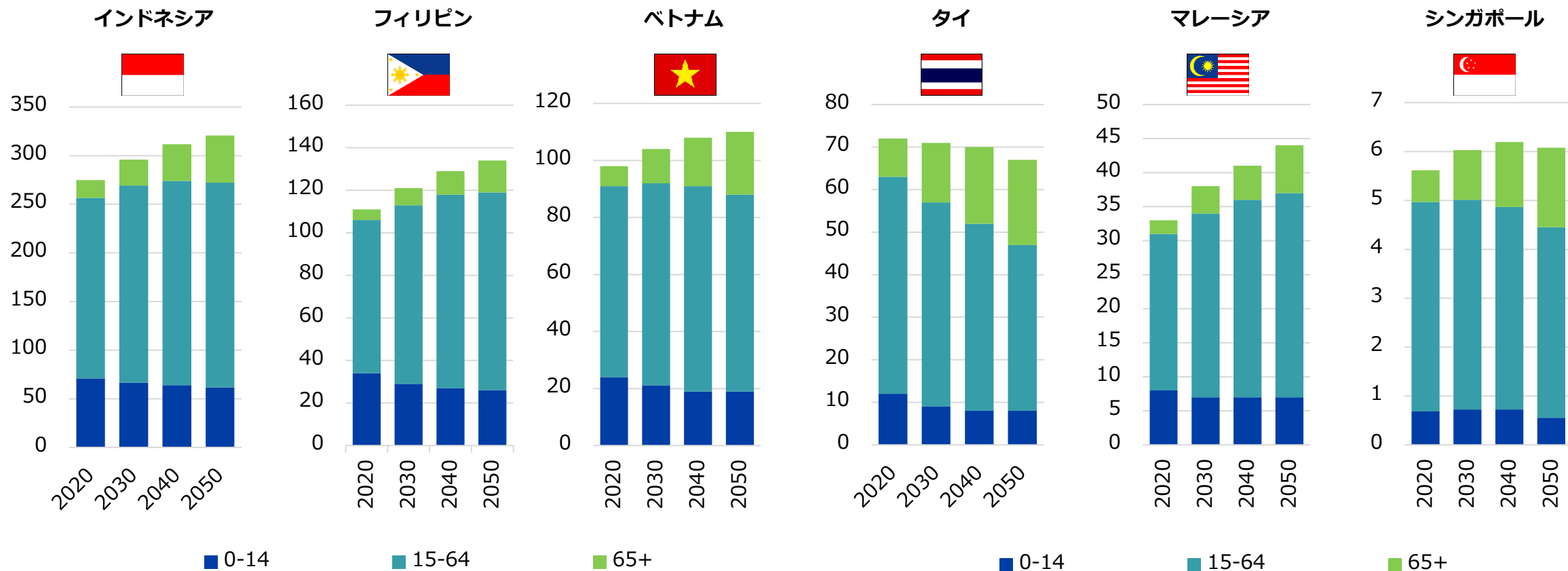
	平均寿命（歳） ※2024年	65歳以上割合(%)※2024年	合計特殊出生率 (人)※2024年
タイ	77	15	1.2
シンガポール	83	14	1.0
ベトナム	75	9	1.9
マレーシア	77	8	1.5
インドネシア	71	7	2.1
カンボジア	71	6	2.5
フィリピン	70	5	1.9
ラオス	69	5	2.4
ミャンマー	67	7	2.1
中国	78	15	1.0
日本	84	30	1.1



I ASEANの人口見通し

- 人口見通し：インドネシア、フィリピン、ベトナム、マレーシアは増加
- 少子高齢化：タイやシンガポールで顕著であり、他の国も高齢者割合が拡大する見込み

人口見通し（単位：100万人）

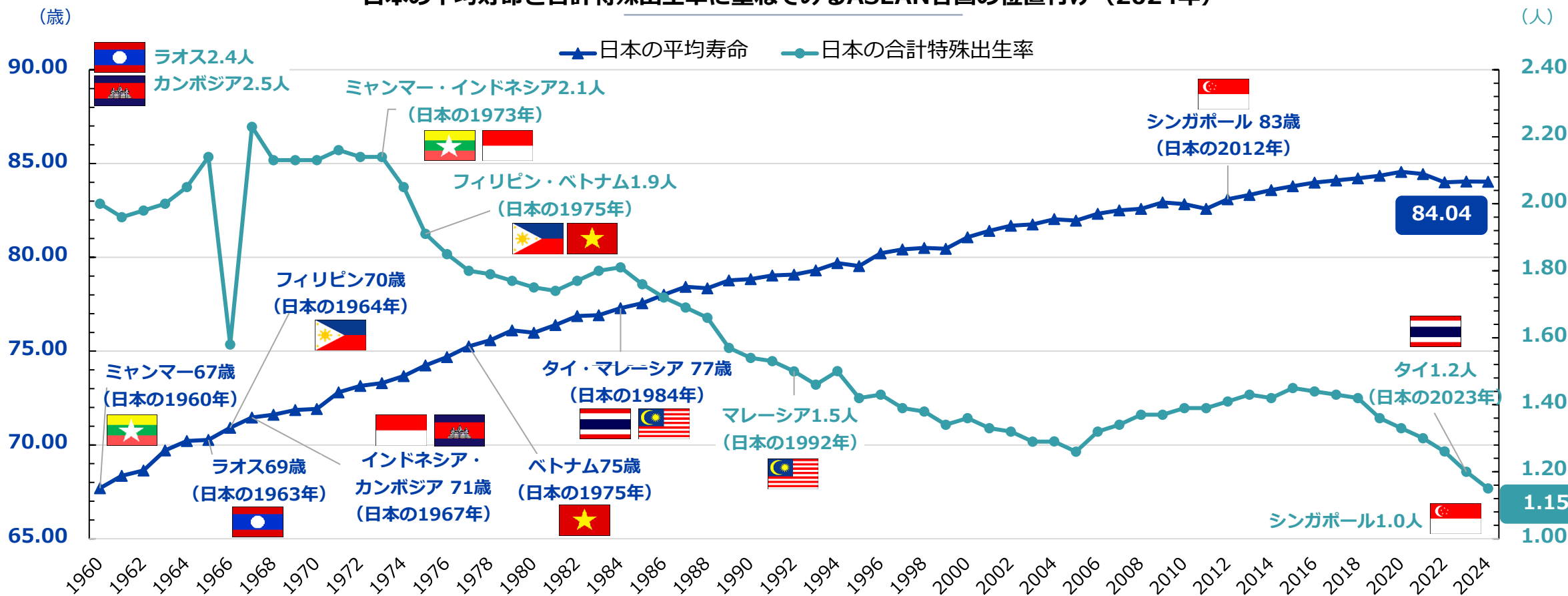




I 平均寿命・合計特殊出生率

- 平均寿命は、経済発展や医療技術向上を背景にシンガポールが83歳と日本に迫る。他方、ミャンマー・ラオスは60歳台とASEAN内で大きな格差
- 合計特殊出生率は、シンガポール（約1.0）やタイ（約1.2）等、多くの国で人口維持水準（2.08）を下回る。

日本の平均寿命と合計特殊出生率に重ねてみるASEAN各国の位置付け（2024年）

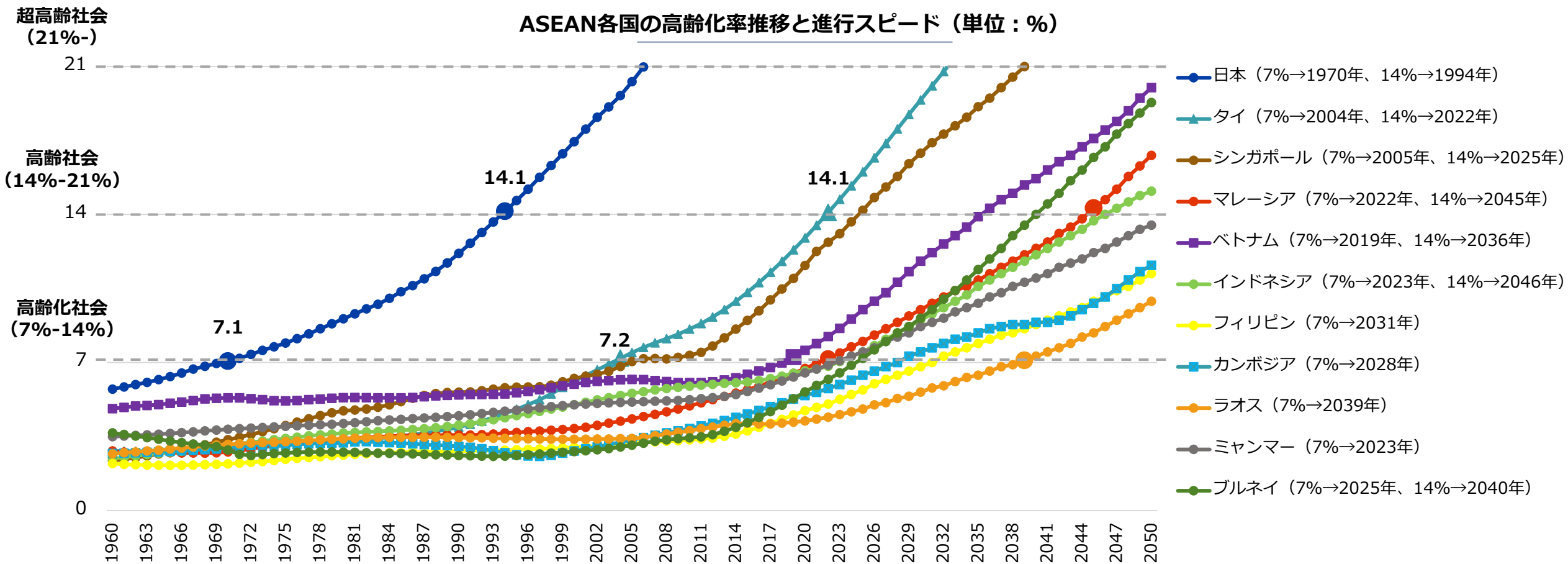


(出所) 世界銀行 [Life expectancy at birth](#)、[Fertility rate](#)



I 高齢化率の推移 (ASEAN)

- ASEAN諸国は高齢化社会への到達時期によって、先行グループ（シンガポール、タイなど2000年代前半）、中間グループ（ベトナム・マレーシア・インドネシアなど2020年前後）、後発グループ（フィリピン、カンボジア、ラオスなど2040年代以降）に分かれる。
- 時間差を伴って医療・介護需要が拡大する段階的成長市場であり、タイやシンガポールは実証市場（フロントランナー）に位置付けられる。

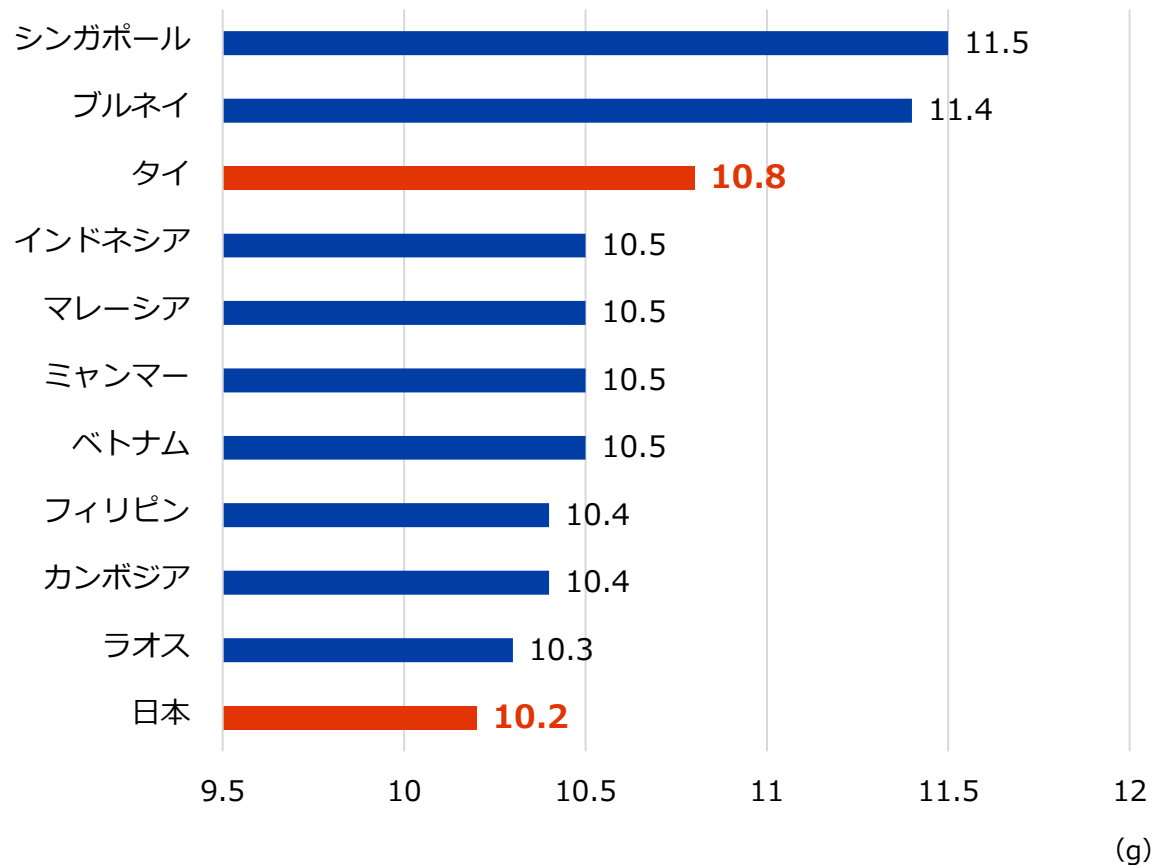




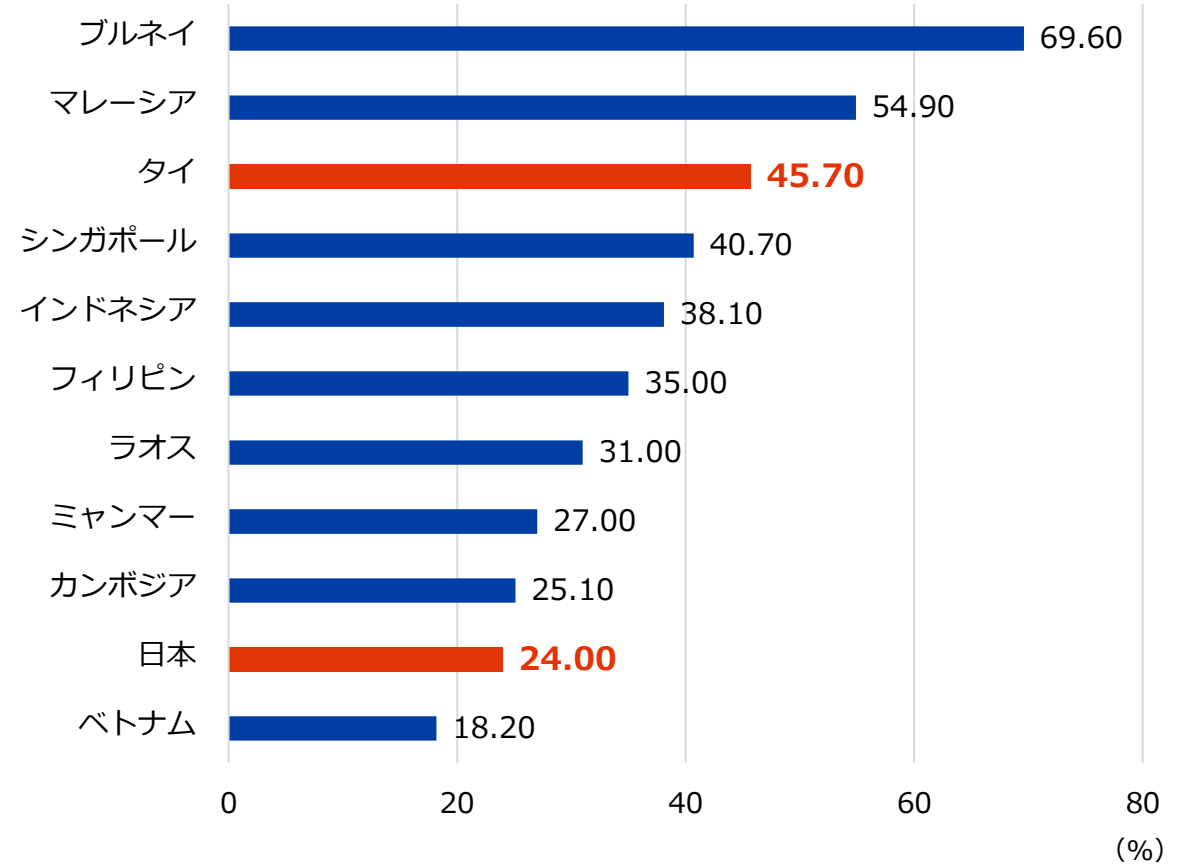
I 塩分摂取量・BMI指数

- 塩分摂取量は多くの国で10g超と総じて高水準であり、日本（10.2g）と同程度かそれ以上の水準にある。
- BMI25以上の割合には国ごとに大きな差。ブルネイ（約70%）マレーシア（約55%）タイ（約46%）などでは肥満・過体重が顕著に進行。

ASEANにおける20歳以上の1日あたりの塩分の摂取量



ASEANにおけるBMI25以上の割合（18歳以上）2022年

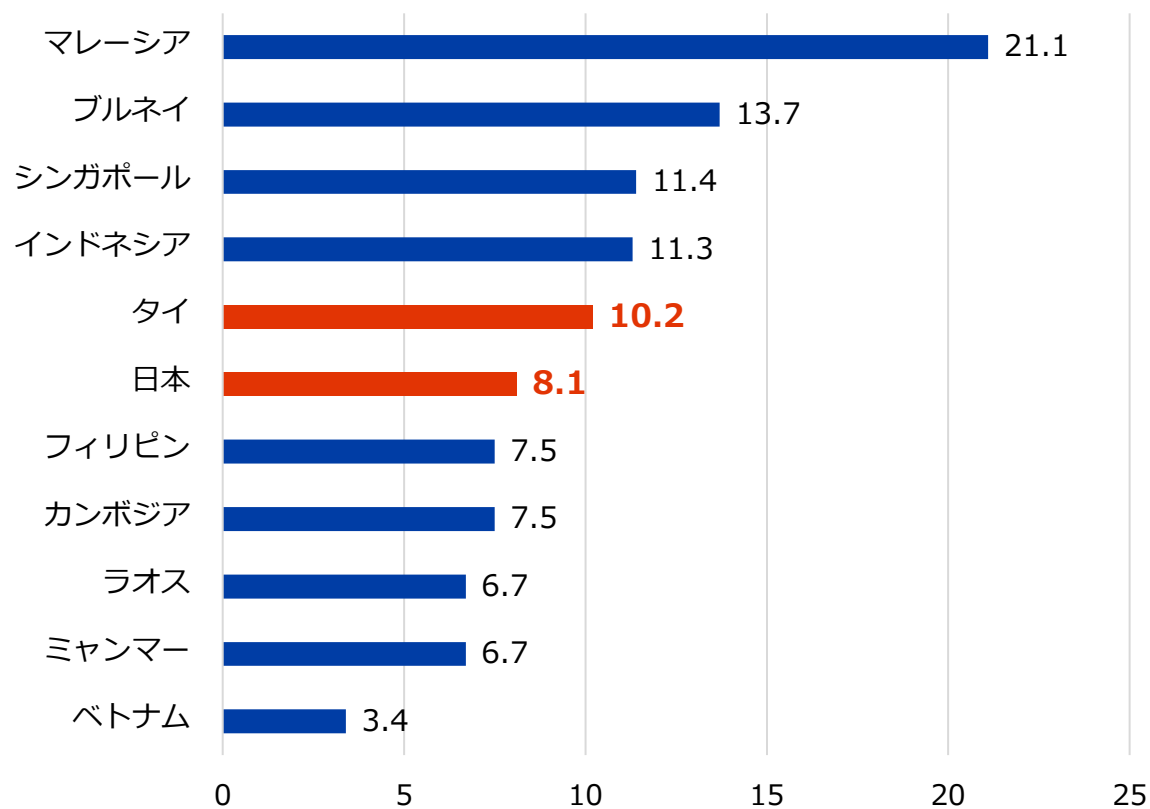




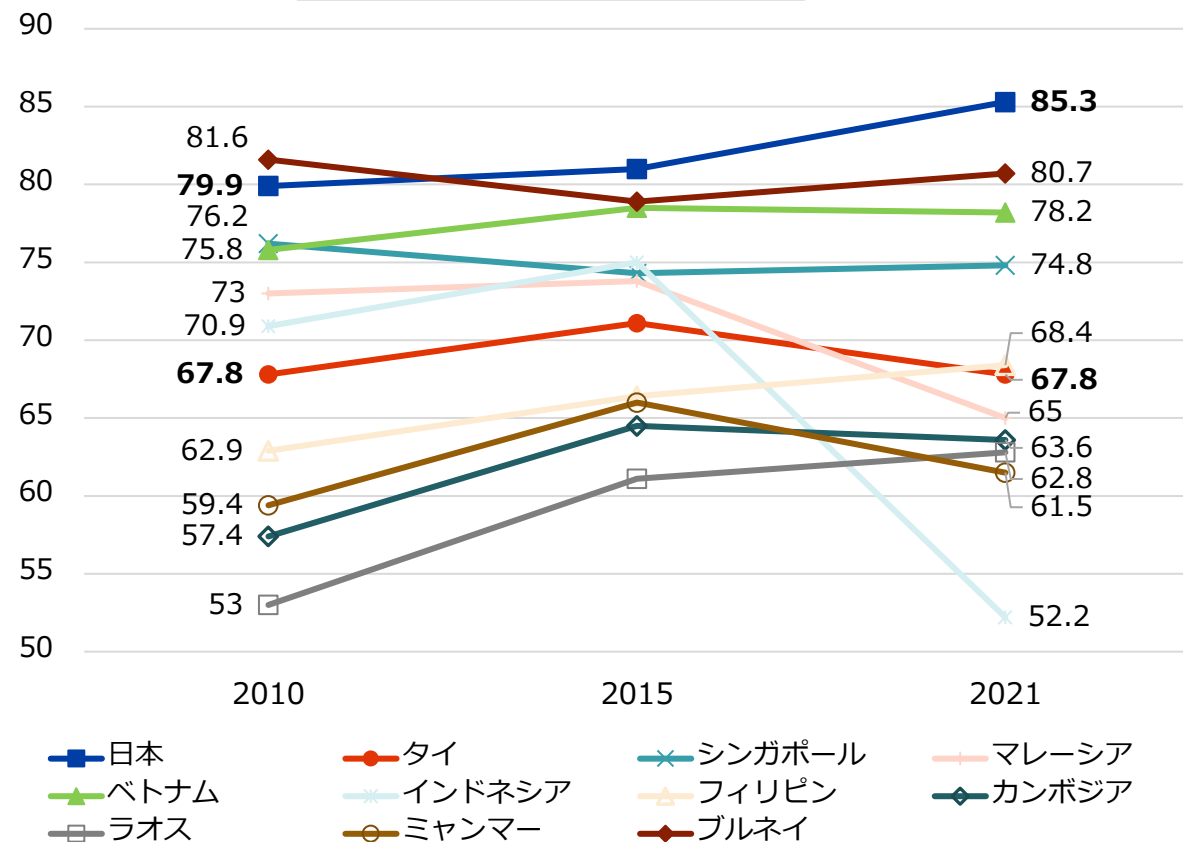
I 生活習慣病に係るリスク指標

- 経済発展・ライフスタイル変化に伴い生活習慣病が拡大。糖尿病人口の割合はマレーシア21.1%とASEANの中で最も高く、ブルネイ、シンガポール、インドネシア、タイでも10人に1人以上は糖尿病。
- WHOは非感染症疾患の原因を不健康な食事、運動不足、健康に害を及ぼすほどの飲酒、喫煙としている。

20歳から79歳に占める糖尿病人口の割合（2024年）（単位：%）



非感染症疾患による死亡原因の割合（単位：%）

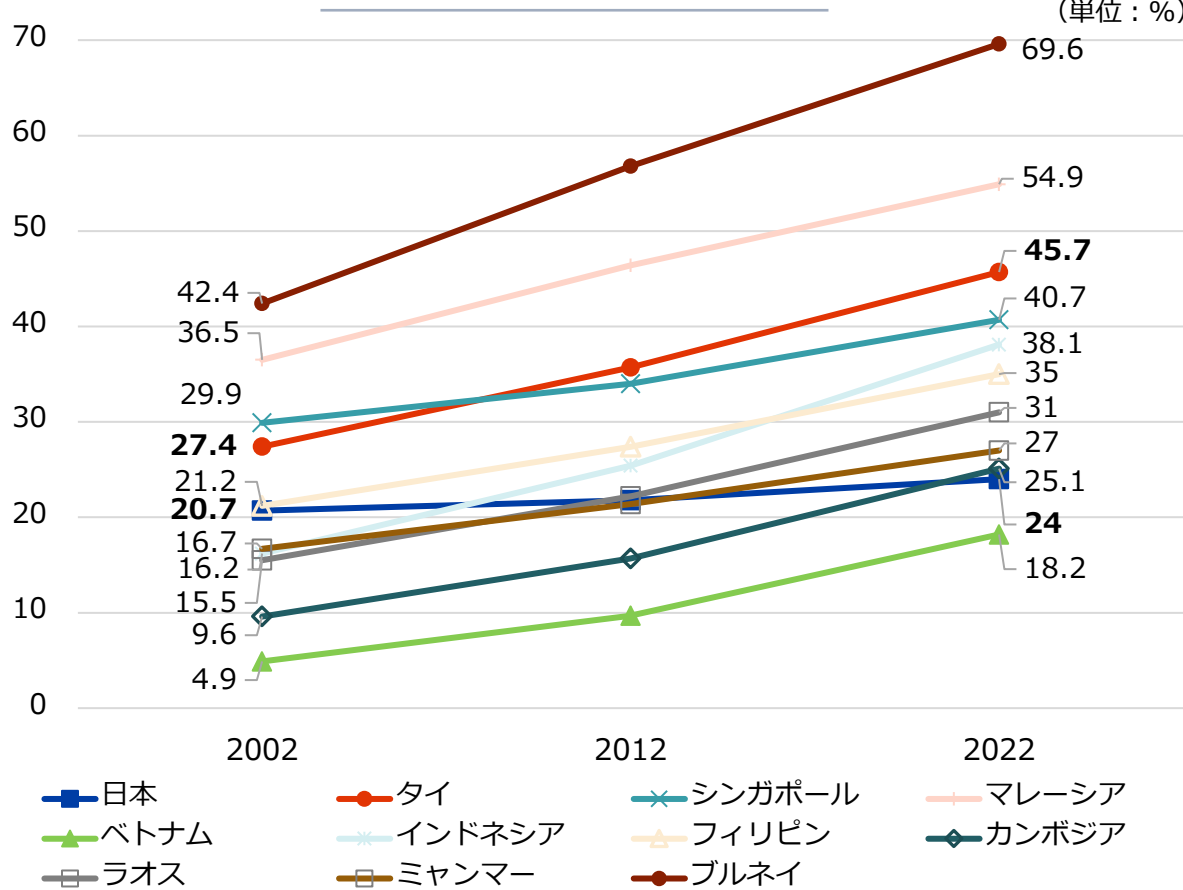




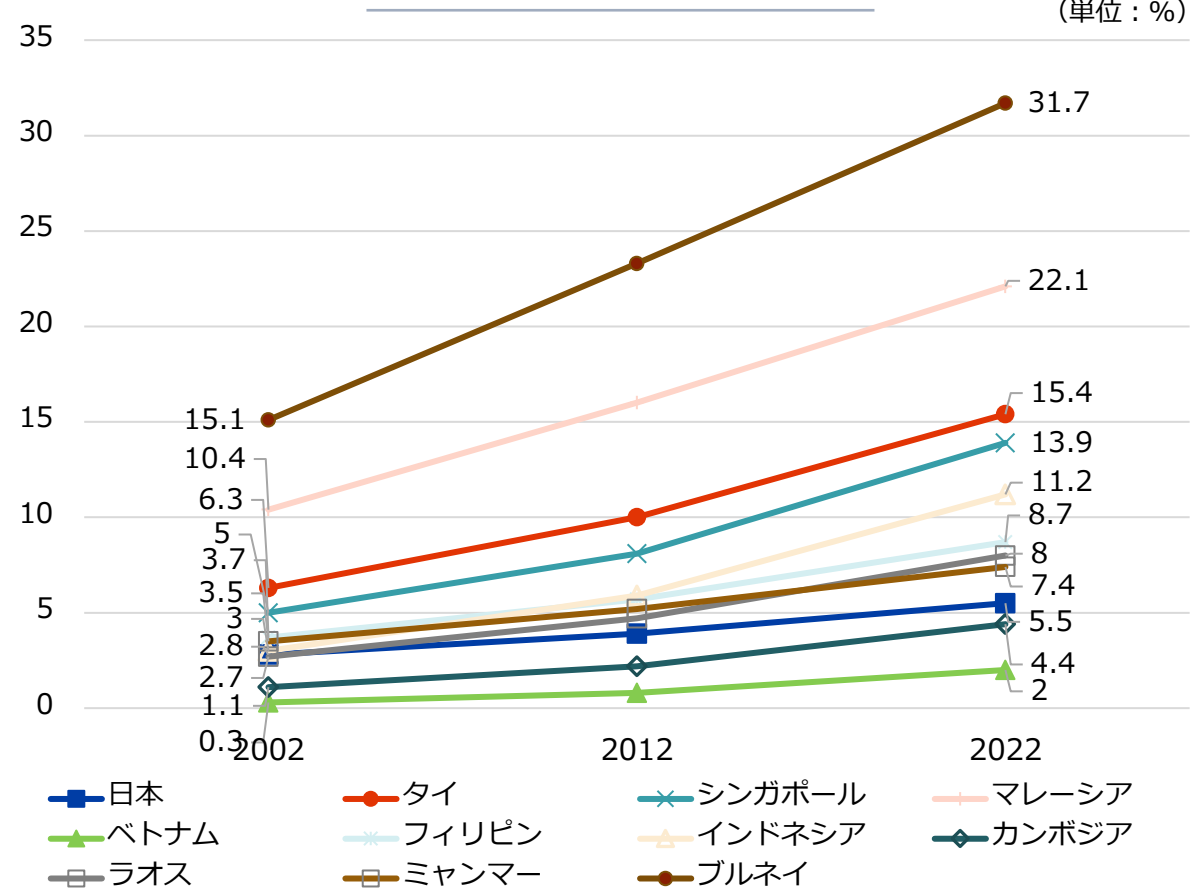
I BMI指数

- 生活習慣病のリスクとなる体重過多、肥満の指標について、いずれの国も10年前、20年前と比べて増加傾向。
- タイは肥満人口が15%である一方、ベトナムは2%など、食文化・習慣の違いなどが背景にあるといえる。

ASEANにおける体重過多 (BMI25以上) の割合 (18歳以上) (単位: %)



ASEANにおける肥満 (BMI30以上) の割合 (18歳以上) (単位: %)



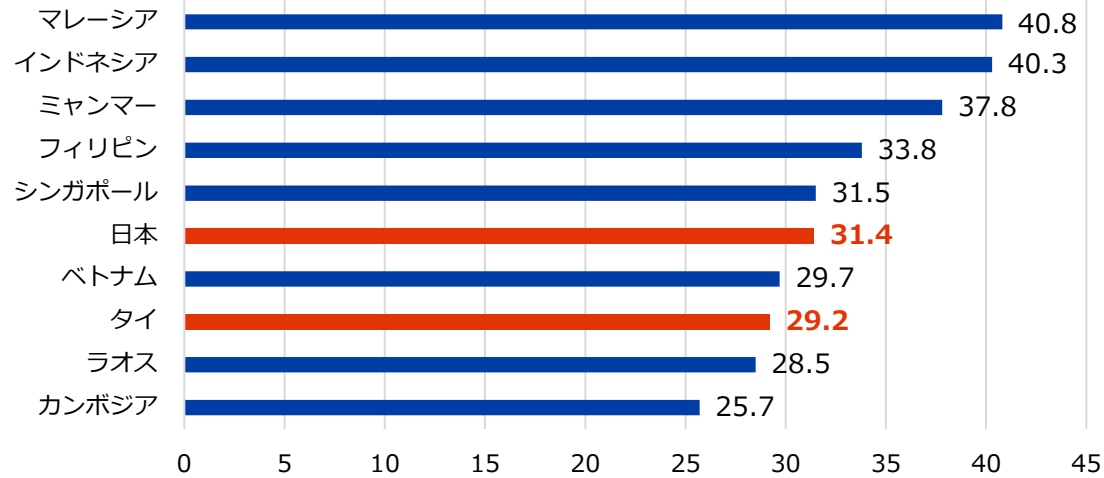
(出所) WHO, Global Health Observatory data repository



I 生活習慣病に係るリスク指標

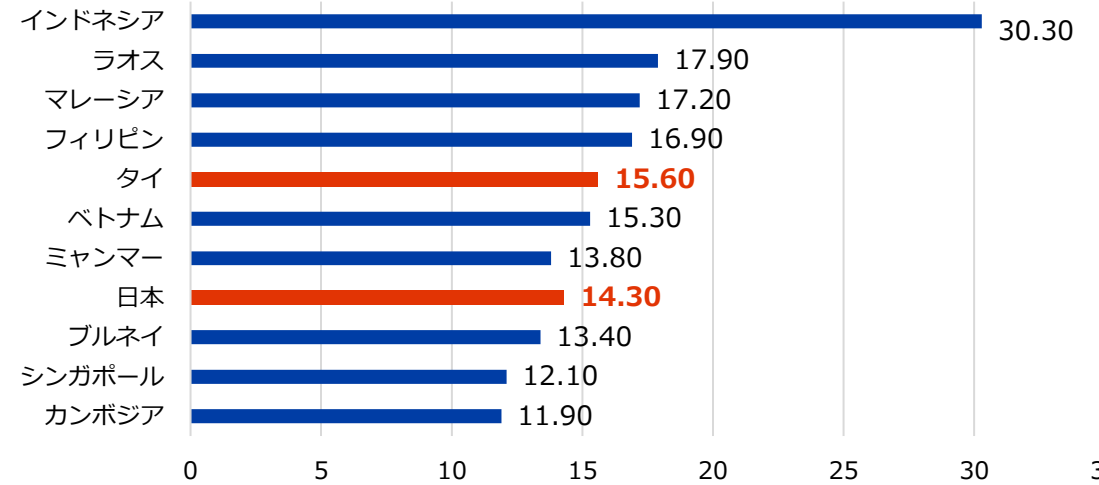
30-79歳の高血圧人口の割合（2019年）

（単位：％）



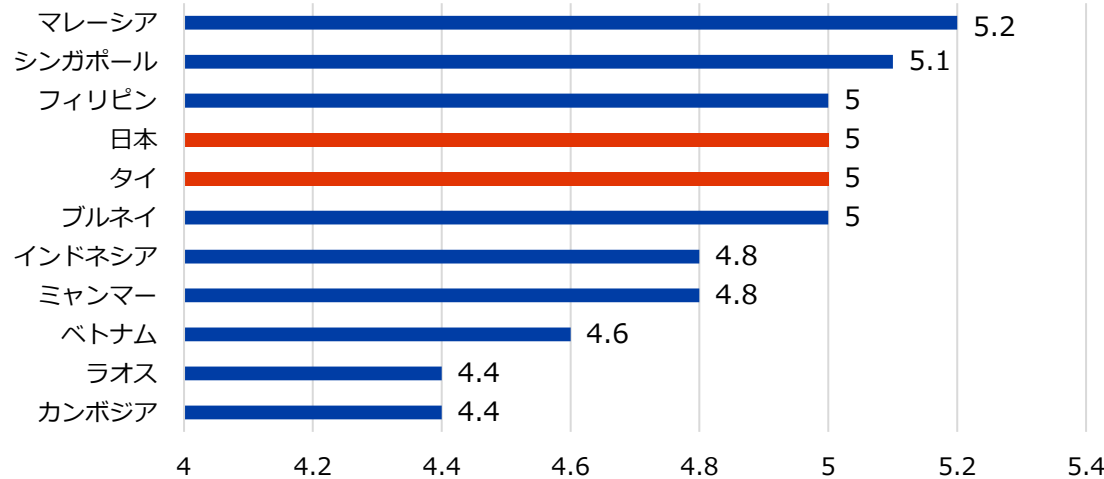
喫煙者の割合（2025年）

（単位：％）



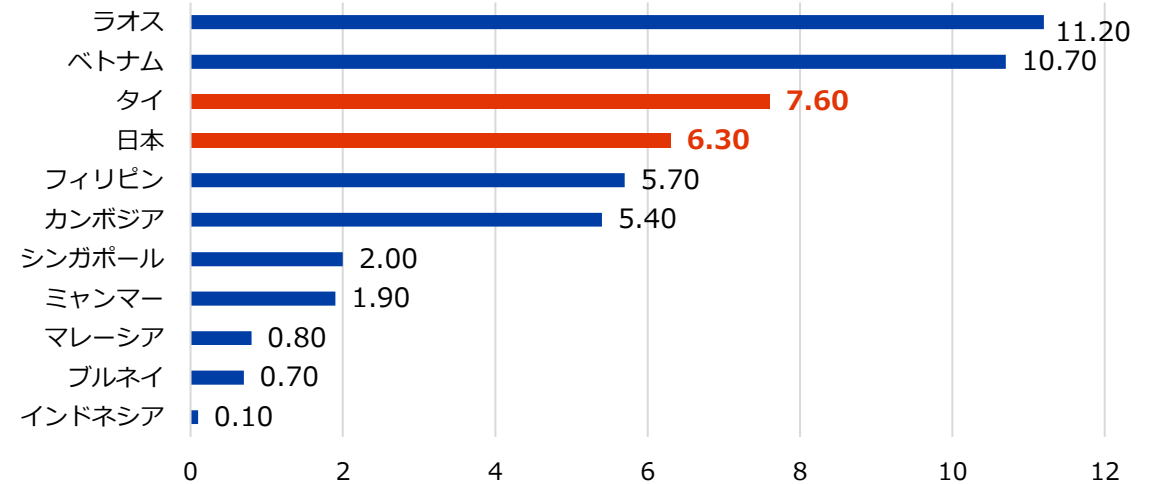
高コレステロール人口の割合（2018年）

（単位：％）



15歳以上の平均アルコール摂取量（2022年）

（単位：リットル）



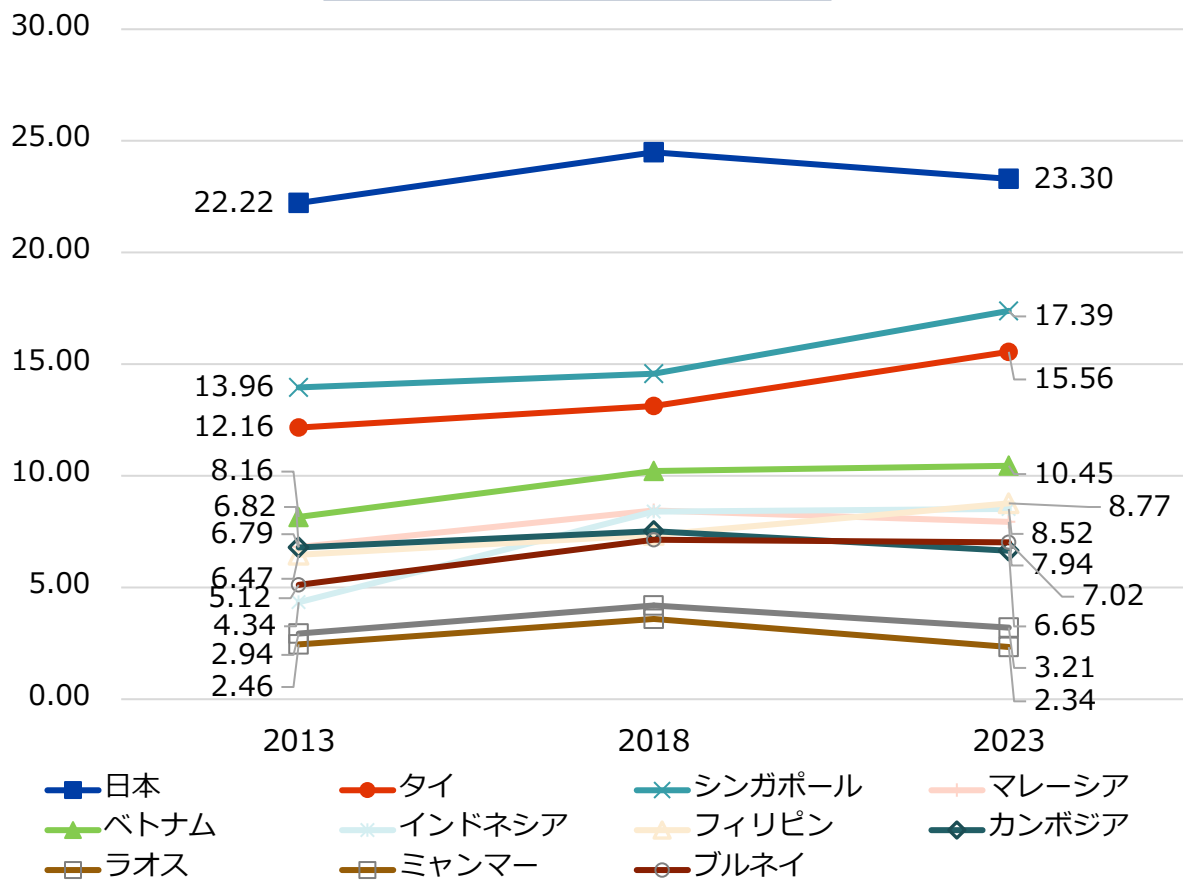


I 保健支出負担

- ASEANの多くの国で、保健支出負担が増大。少子高齢化や生活習慣病で課題を抱えるタイやシンガポールは、政府支出の1割以上を占める。
- 一人当たりの政府保健支出額では、シンガポールでは2,293米ドルと10年前に比べて約3倍増加。

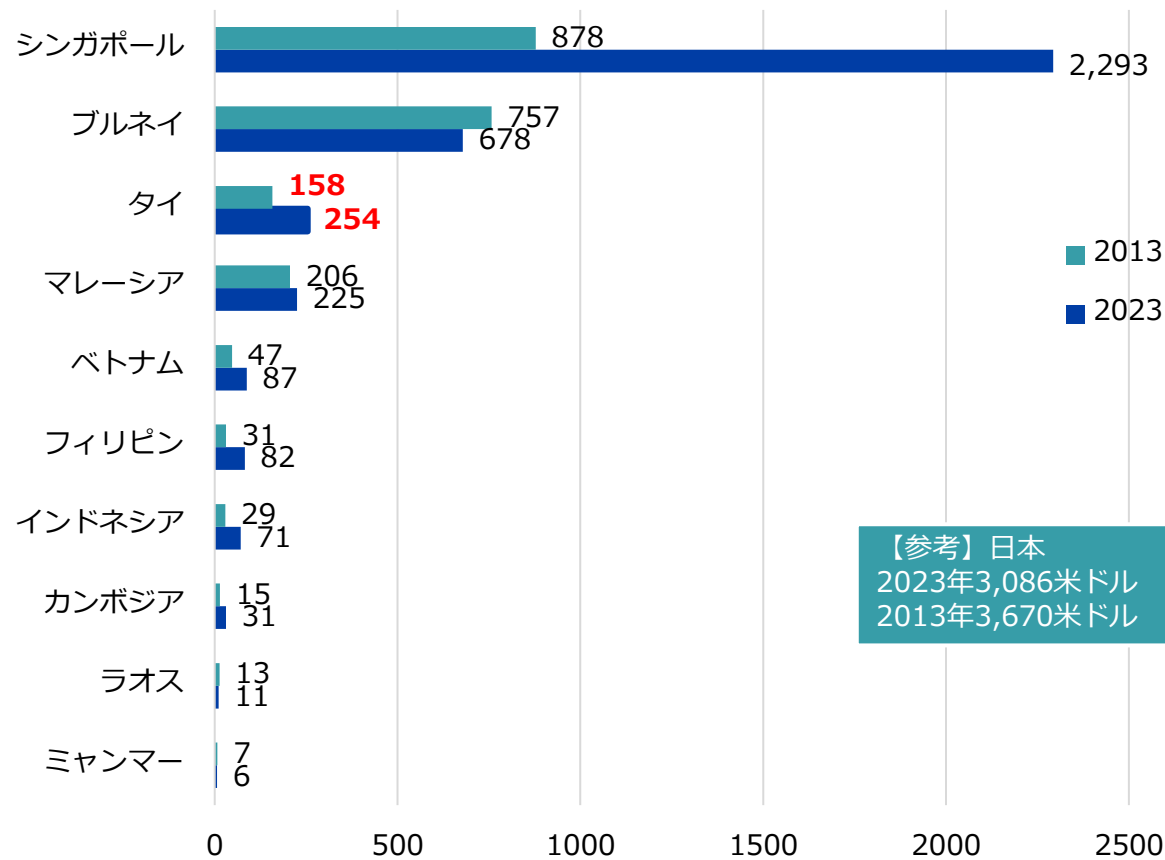
政府支出に占める保健支出割合

(単位：%)



一人当たり政府保健支出 (米ドル、2023年-下、2013年-上)

(単位：米ドル)



【参考】日本
2023年3,086米ドル
2013年3,670米ドル

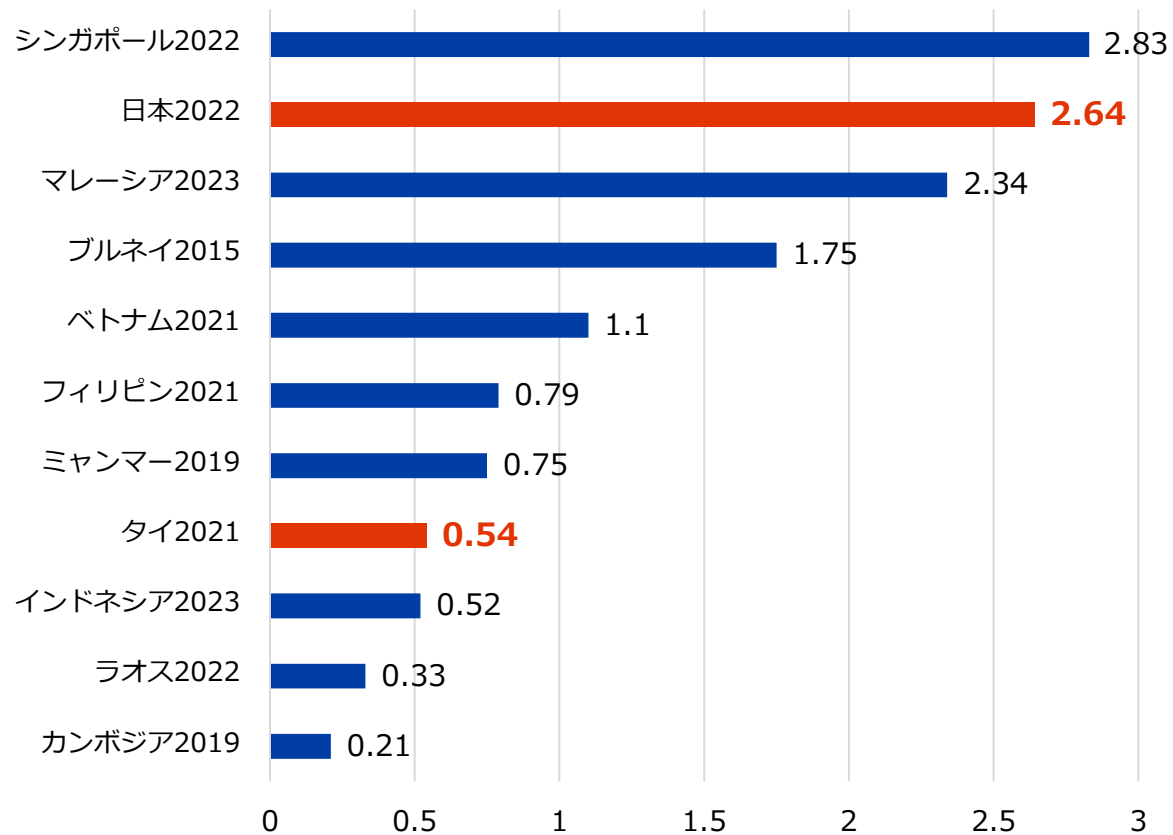


I 医師数・看護師・助産師数

- 医師数では、シンガポールや日本が高い水準にある一方、東南アジア諸国の多くは1人未満にとどまっており、タイも相対的に低い水準
- 看護師・助産師数ではシンガポールが突出して多くやブルネイやフィリピンがそれに続く。医療人材の配置には国ごとに大きな格差

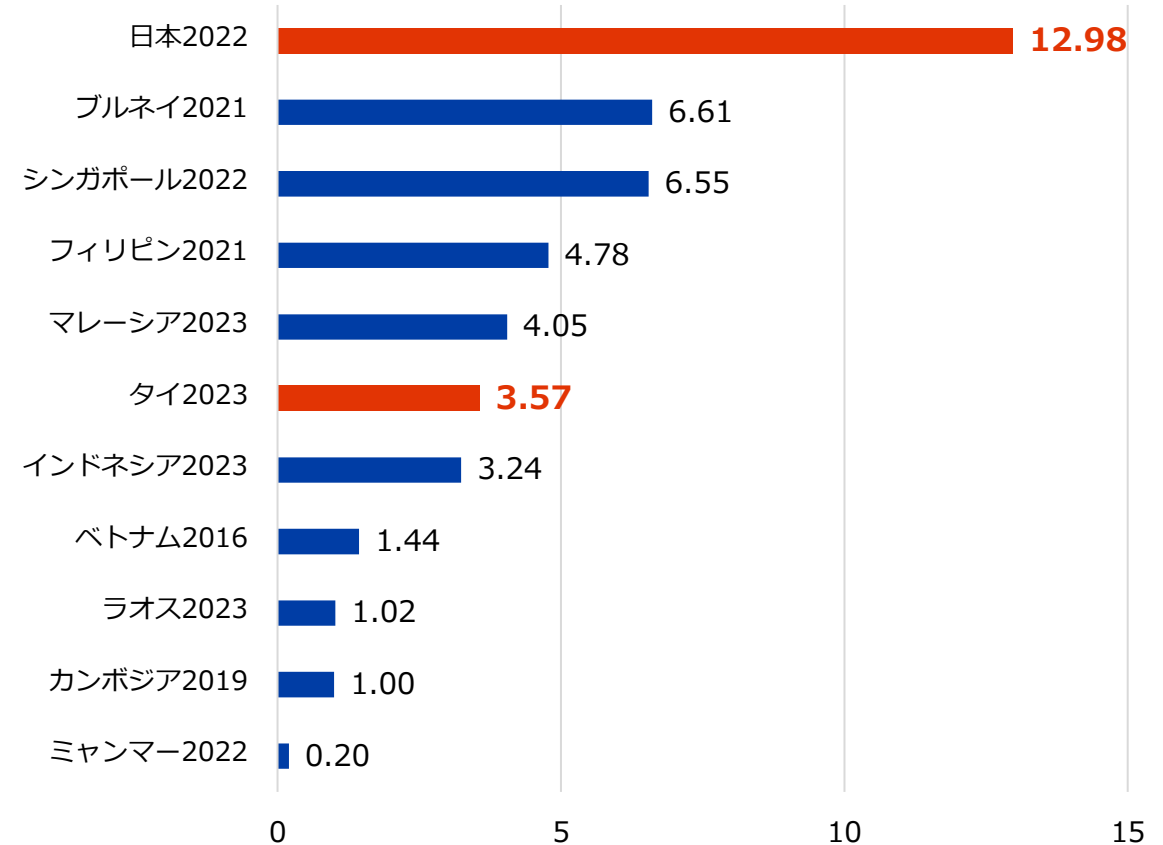
1,000人当たりの医師数

(単位：人)



1,000人当たりの看護師・助産師数

(単位：人)



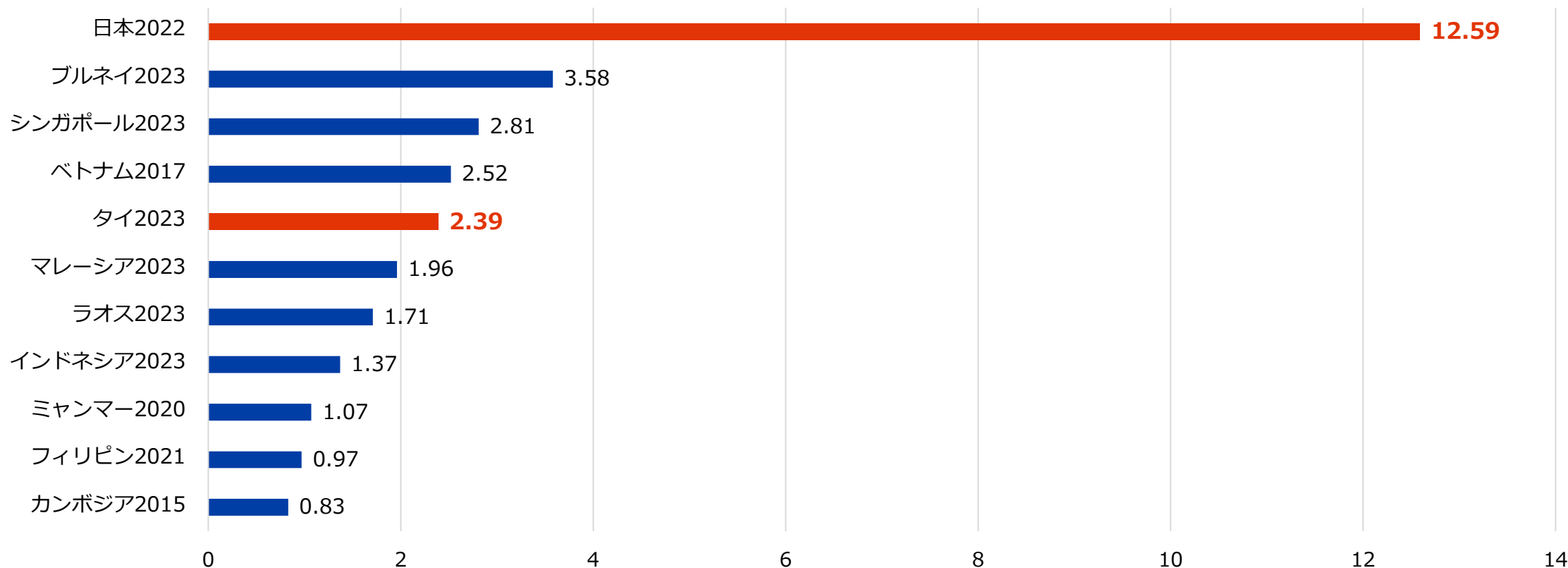


I 病床数

- ブルネイ（2023年）はASEANの中で約3.58床と多い。シンガポール、ベトナム、タイは2～4床程度でASEANの中では中位に位置する。
- 一方、フィリピンやミャンマー、カンボジアなどは1床前後にとどまり、国による医療インフラの格差が明確に示されている。

1,000人当たりの病床数

(単位：人)





I ASEAN各国の医療ニーズの推移

- 経済発展のステージに応じて、途上国は感染症が多く、新興国・先進国になるにつれ、生活習慣病やストレス系の疾病が多くなる。
- ASEANは経済成長に伴い生活習慣病がメイン。他方、シンガポールやタイなどの高齢化先進国はストレスや高齢者関連の疾患も並行して増加。



目次

I.	<u>ASEANヘルスケア基礎概況</u>	7
II.	<u>タイのヘルスケア市場の特徴・優位性</u>	25
III.	<u>タイにおけるヘルスケア関連ニーズ</u>	48
参考.	<u>進出に際しての障壁（規制）</u>	74
参考.	<u>ジェトロのヘルスケア事業</u>	80

★ タイのヘルスケア市場の特徴・優位性

1 急速な高齢化、生活習慣病増加、健康意識の向上、アクティブシニアの増加

- タイは日本より早いペースで超高齢社会に到達見込み。人口構造は急速に高齢化へ転換。
- 死因構造は感染症から、がん・脳血管疾患・糖尿病などの生活習慣病（NCDs）中心へシフト、患者数も増加傾向。
- 健康志向の高まりとともに、運動習慣の普及（約4割）やアクティブシニア層の拡大、健康関連支出の増加が進行。

2 政府のヘルスケア政策、ビジネス環境、投資集積（サプライチェーン）

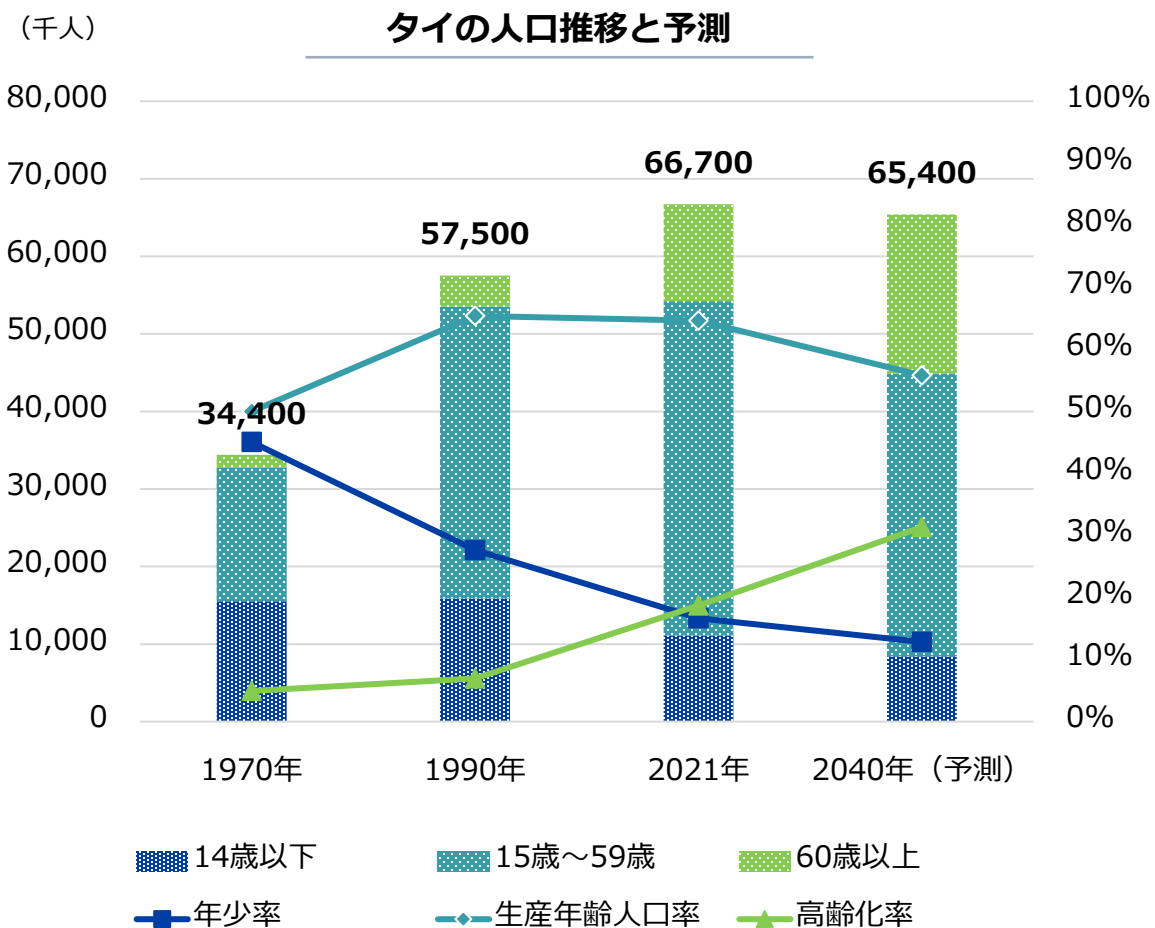
- 「タイランド4.0」において医療・ウェルネスは重点産業に位置づけられ、医療ハブ化を国家戦略として推進
- 医療・ウェルネス・アカデミック・製品分野で産業育成を進め、高付加価値サービスと関連産業の統合的な発展を促進
- ヘルスケア分野への投資は外資を含め高水準で推移し、企業数も増加傾向。バリューチェーン全体での集積が進行

3 民間病院を中心とするマーケット、メディカルツーリズム

- 医療提供は公立・私立の二層構造で、都市部の富裕層を中心に高品質な私立病院が市場を牽引
- 私立病院はJCI認証取得などにより国際水準の医療を提供し、グループ化・多拠点展開による高度医療サービス市場を形成
- メディカルツーリズムは約290億バーツ規模、外国人患者は年間500万人超に達し、外需を取り込む医療サービス輸出市場が確立

II タイの人口推移と予測

- 人口は約6,500万人で横ばい～微減（2021年：約6,670万 → 2040年予測：約6,540万）
- 総人口は大きく増えない一方、人口構造が“高齢化シフト”へ（60歳以上比率約5%→約31%、年少人口は約45%→約13%）



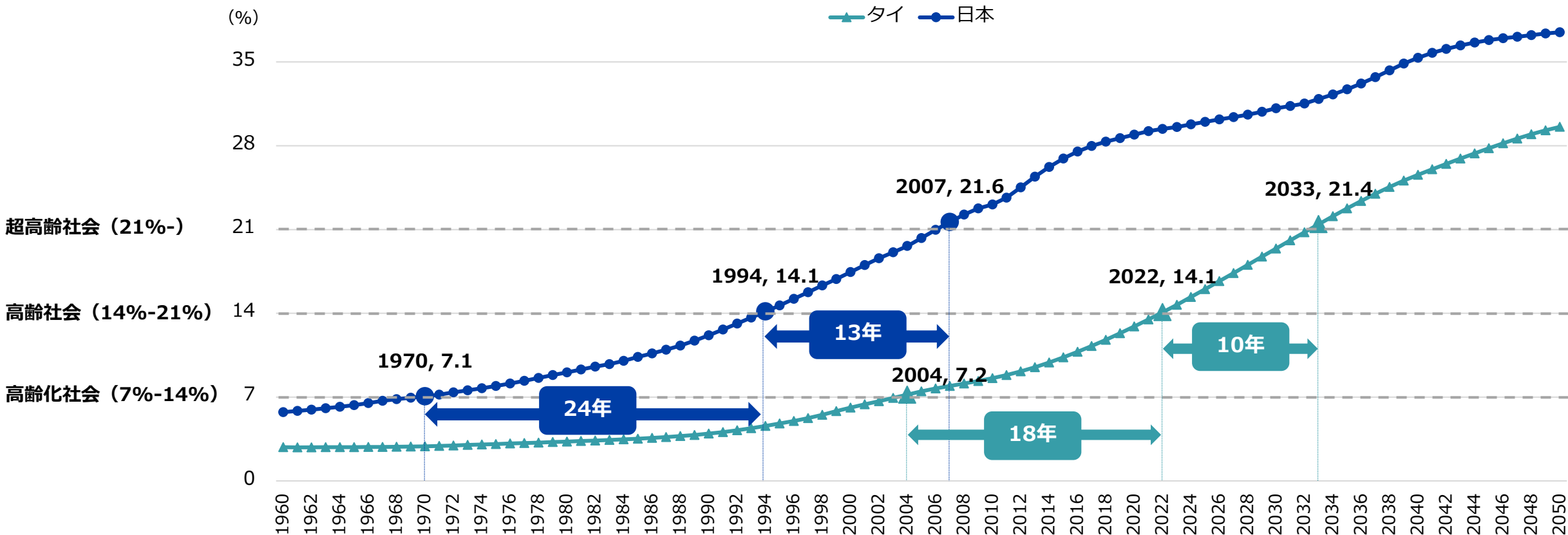
年代	1970年		1990年		2021年		2040年 (予測)	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
合計	34.4	100%	57.5	100%	66.7	100%	65.4	100%
0～14	15.5	45.1%	15.9	29.2%	11.1	16.6%	8.4	12.8%
15～59	17.2	50.0%	37.6	63.4%	43.1	64.6%	36.5	55.8%
60以上	1.7	4.9%	4.0	7.4%	12.5	18.8%	20.5	31.4%

比率	1970年	1990年	2021年	2040年 (予測)
年少率	45.06%	27.65%	16.64%	12.84%
生産年齢人口率	50.00%	65.39%	64.62%	55.81%
高齢化率	4.94%	6.96%	18.74%	31.35%

II 高齢化率の推移（日本・タイ）

- 高齢化社会（65歳以上人口比率7%以上）から高齢社会（65歳以上人口比率14%以上）まで日本は24年、タイは18年で到達。
- タイは超高齢社会（65歳以上人口比率21%以上）に2033年までに突入する見込み、日本よりも早いペースで高齢化が急速に進行。

タイと日本の高齢化率推移と進行スピード



II 死因の上位要因

- 生活習慣の変化、医療技術の発達、公衆衛生の進歩などの要因で、タイの死因は15年で大きく変化
- がん、脳動脈疾患、糖尿病などの「生活習慣病（NCDs）」が増加している

タイの死因（2007年）

	死因	人数 ※人口10万人あたり
1	腫瘍	84.9
2	感染症および寄生虫症	60.6
3	交通事故	68.1
4	循環器系疾患	55.2
5	呼吸器系疾患	40.4
6	生殖器系および尿路疾患	22.4
7	消化器系疾患	20.8
8	内分泌腺疾患	13.5
9	神経障害	8.4
10	血液疾患および免疫障害	0.9

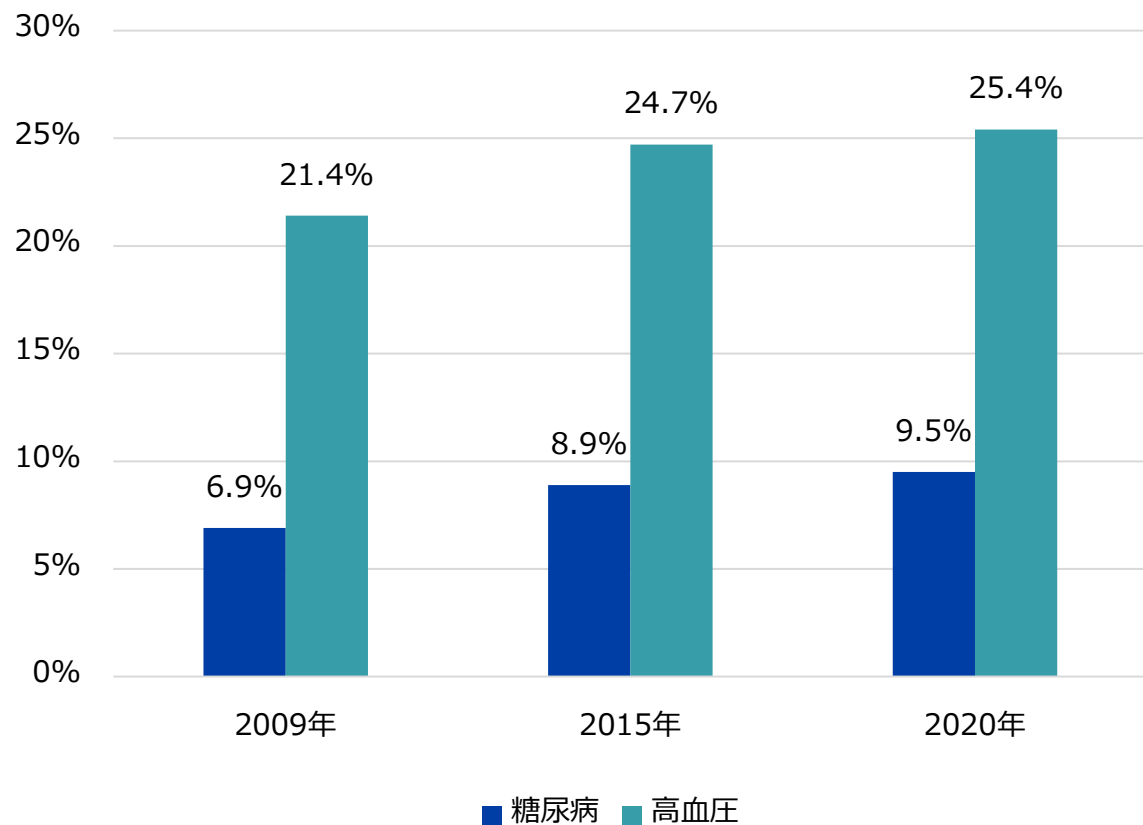
タイの死因（2024年）

	死因	人数 ※人口10万人あたり
1	がん	129.8
2	肺炎	64.8
3	脳動脈疾患	59.5
4	虚血性心疾患	33.3
5	交通事故	26.5
6	糖尿病	21.2
7	肝疾患	16.4
8	慢性下気道疾患	13.2
9	結核	8.9
10	AIDS	4.0

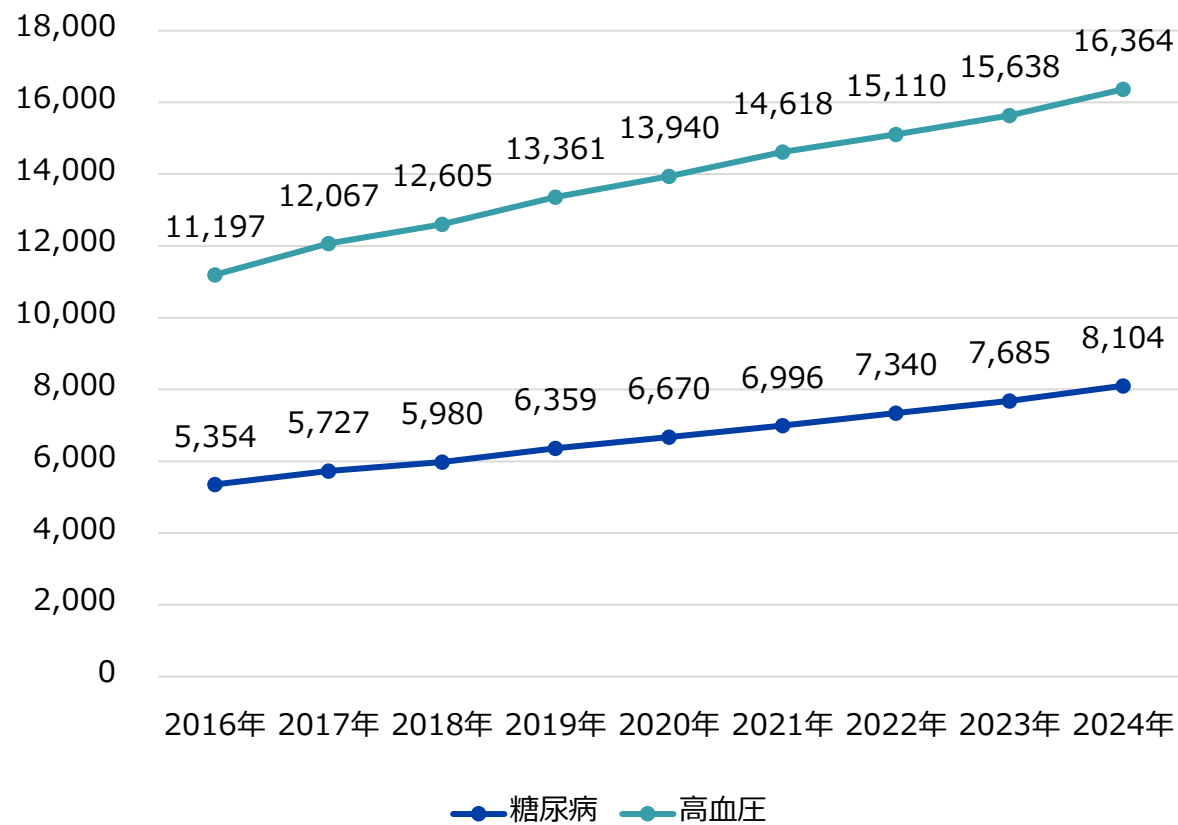
Ⅱ 糖尿病及び高血圧患者の割合・患者数推移

- 糖尿病及び高血圧患者の割合・数ともに増加している
- 生活習慣病のリスク要因として、運動不足、野菜果物の摂取不足、体重過多・肥満、高コレステロールの割合が高い

糖尿病及び高血圧患者の割合



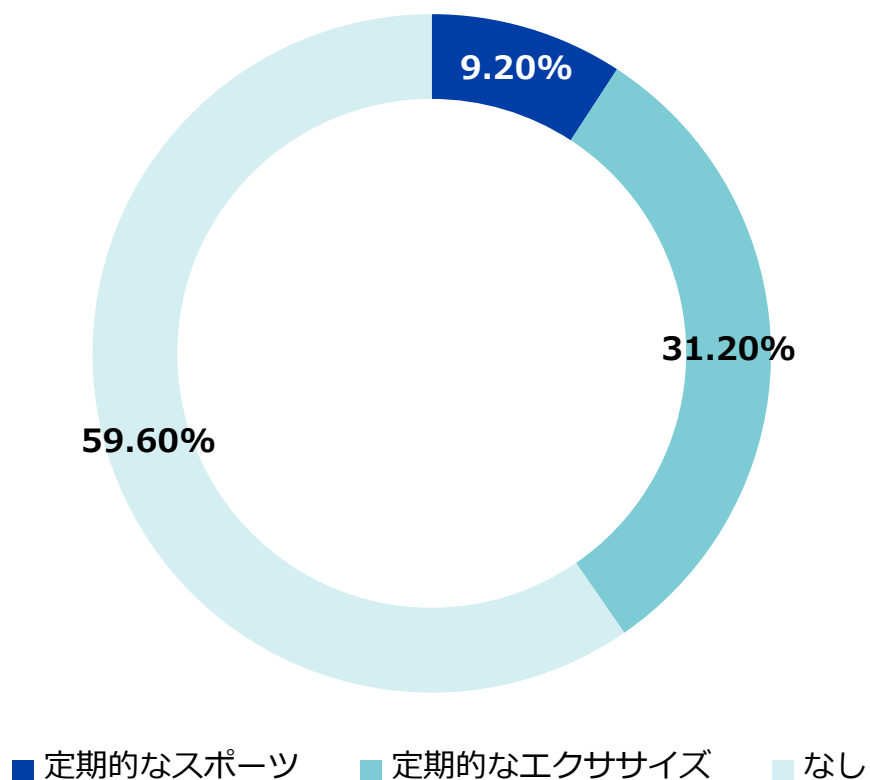
人口10万人当たりの糖尿病および高血圧患者率



II 健康に対するタイ人の意識・活動実績

- 観光・スポーツ省体育教育局 によると、約40%のタイ人が定期的に体を動かしている
- この内、9.2%は定期的にスポーツをしており、31.2%は定期的にエクササイズをしている

定期的なエクササイズまたはスポーツをする人口の割合（2022年）



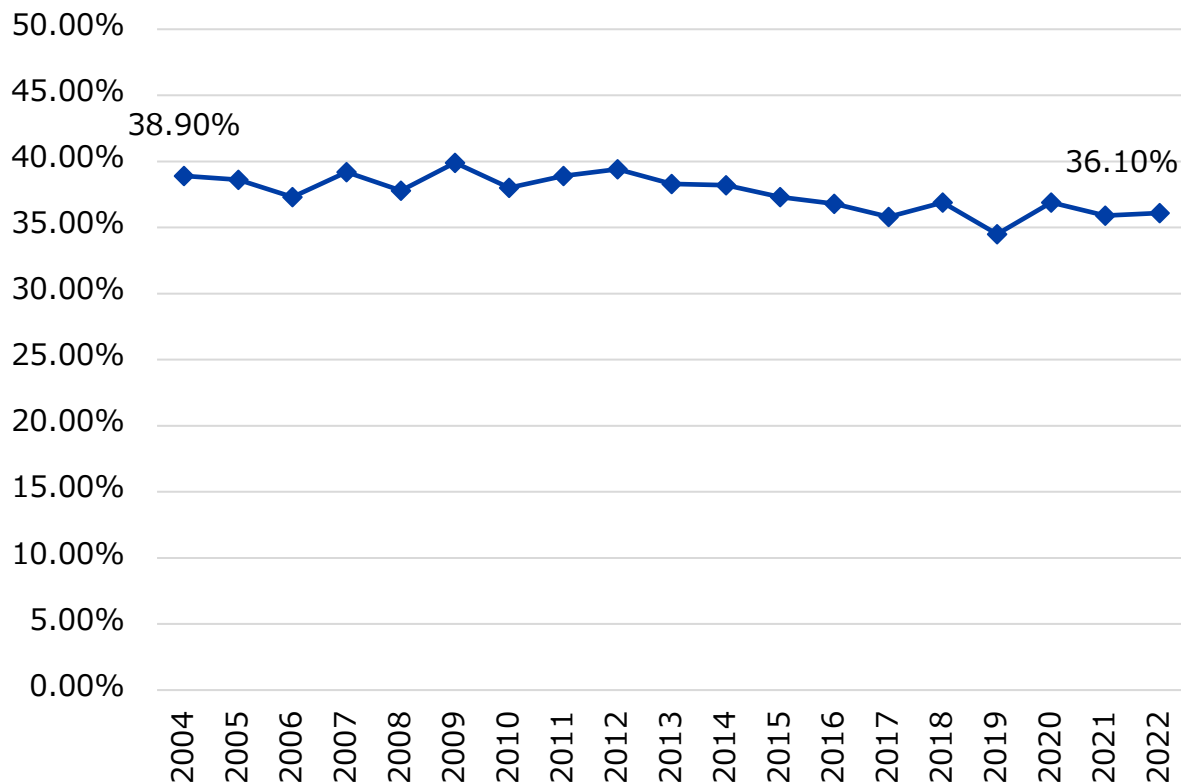
定期的なエクササイズまたはスポーツをする人の傾向（2022年）

質問	回答	割合
エクササイズ上位種目	ウォーキング	43.9%
	ジョギング、ランニング	20.0%
	サイクリング	7.0%
スポーツ上位種目	サッカー	9.5%
	フットサル	2.1%
	バドミントン	1.4%
時間帯	17時～18時	36.6%
	16時～17時	15.2%
	18時～19時	15.1%
場所	自宅およびその周辺	39.4%
	運動場、コート等	14.7%
	公園	9.5%

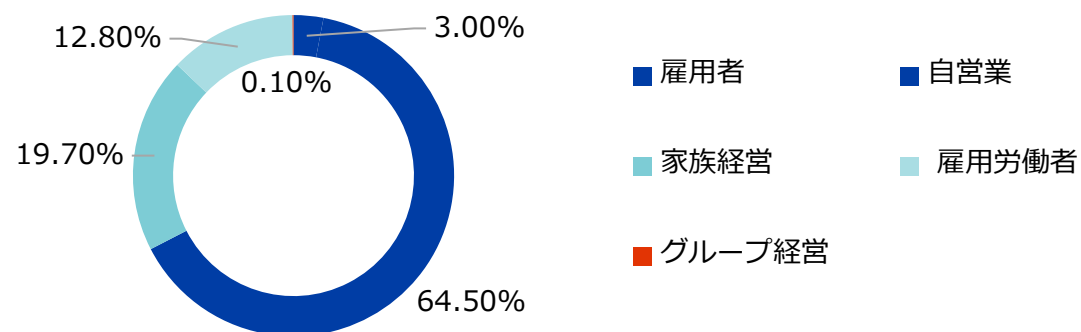
II タイの高齢者「アクティブシニア」

- 60歳以上の高齢者のうち就労している者の割合は減少傾向を示している。2004年の38.9%から2022年には36.1%に低下した。この内、約84%が自営業もしくは家族経営の事業を営んでいる
- 5人中最大3人が農業部門で働いており、一般的に比較的低い賃金（平均月額5,459バーツ）である。一方、サービス業および貿易・生産部門では（それぞれ月平均13,209バーツおよび13,623バーツ）と対照的である。

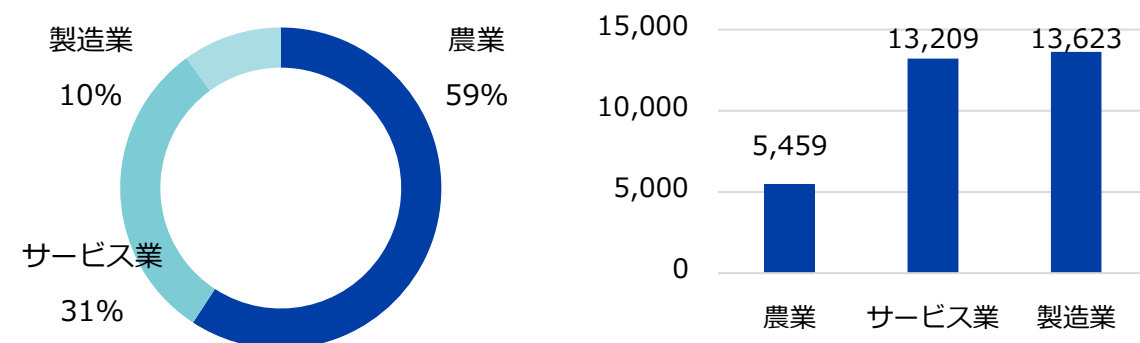
就業しているタイの高齢者（60歳以上）の割合



2022年における高齢者の就業形態<雇用状況>



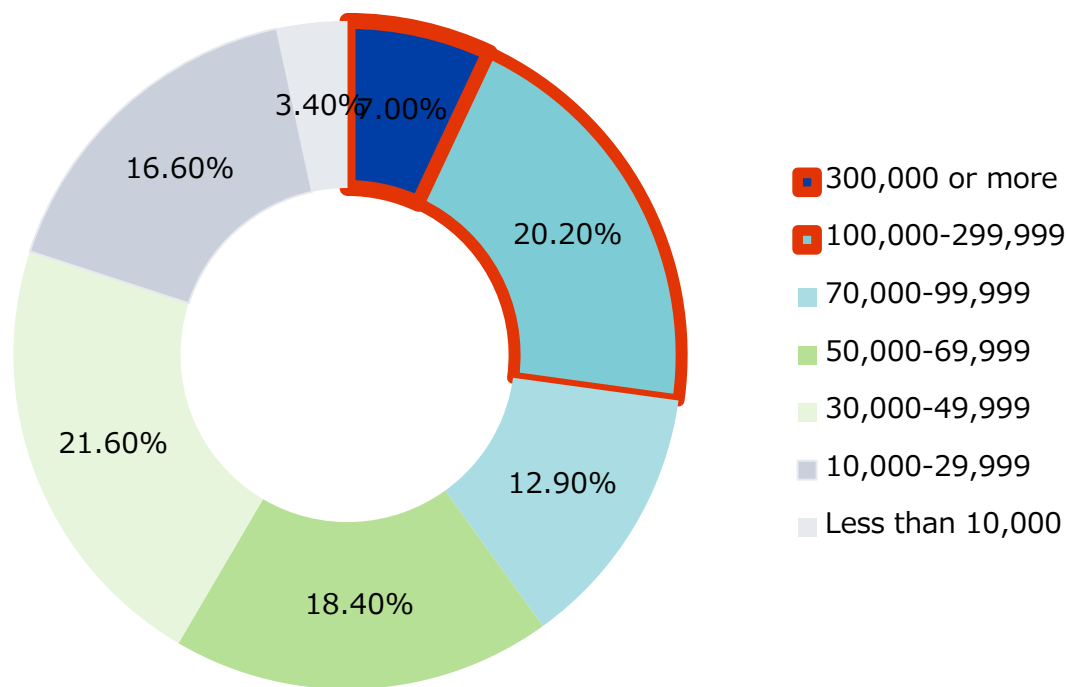
産業別内訳/平均賃金・給与（バーツ/月）



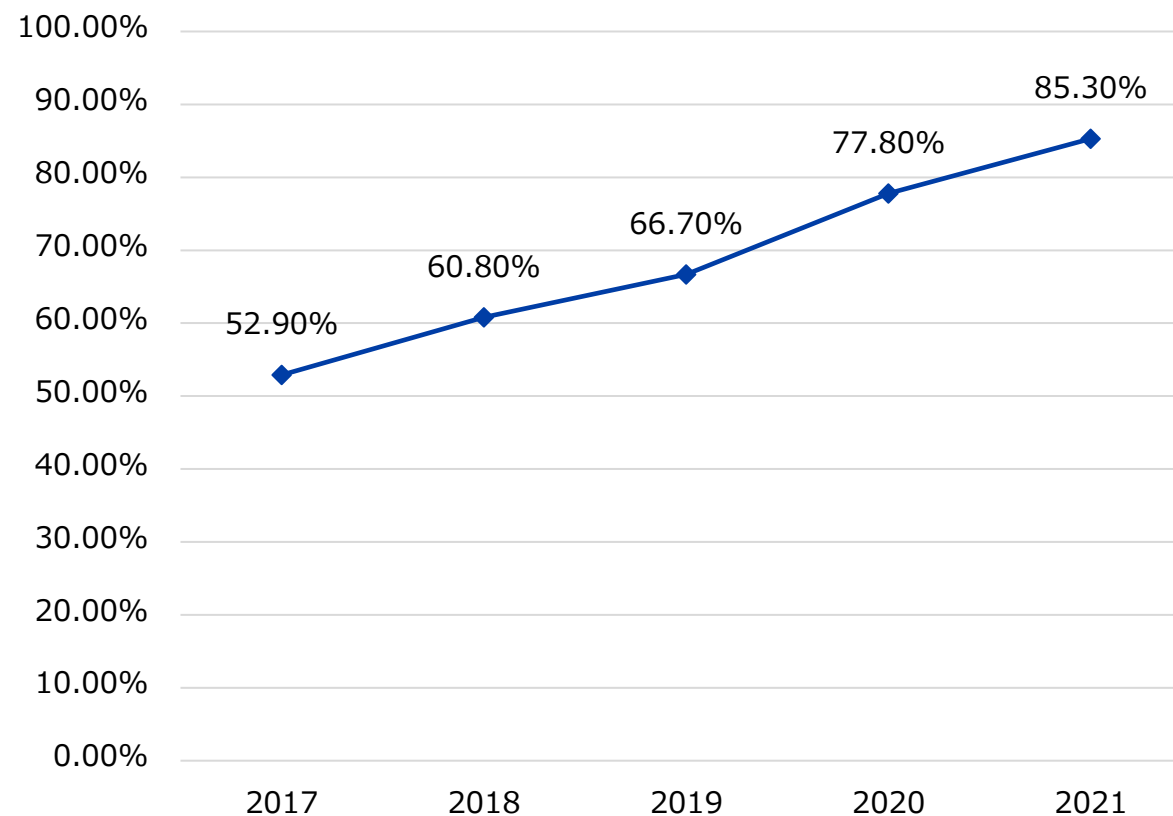
II タイの高齢者「アクティブシニア」

- 年間収入10万バーツ以上はタイの高齢者人口の27%。余裕のある「アクティブシニア」を中心にヘルス&ウェルネスへの支出増加が見込み
- タイの高齢者のインターネット利用率2021年の利用率は85.3%で、2017年の52.9%から約32%増加した。高齢者のネット活用は進んでおり、健康関連製品（食品や医薬品・サプリメント）へのアクセスにおいてEC活用が重要になる見込み。

タイにおける高齢者の収入（年額／バーツ）



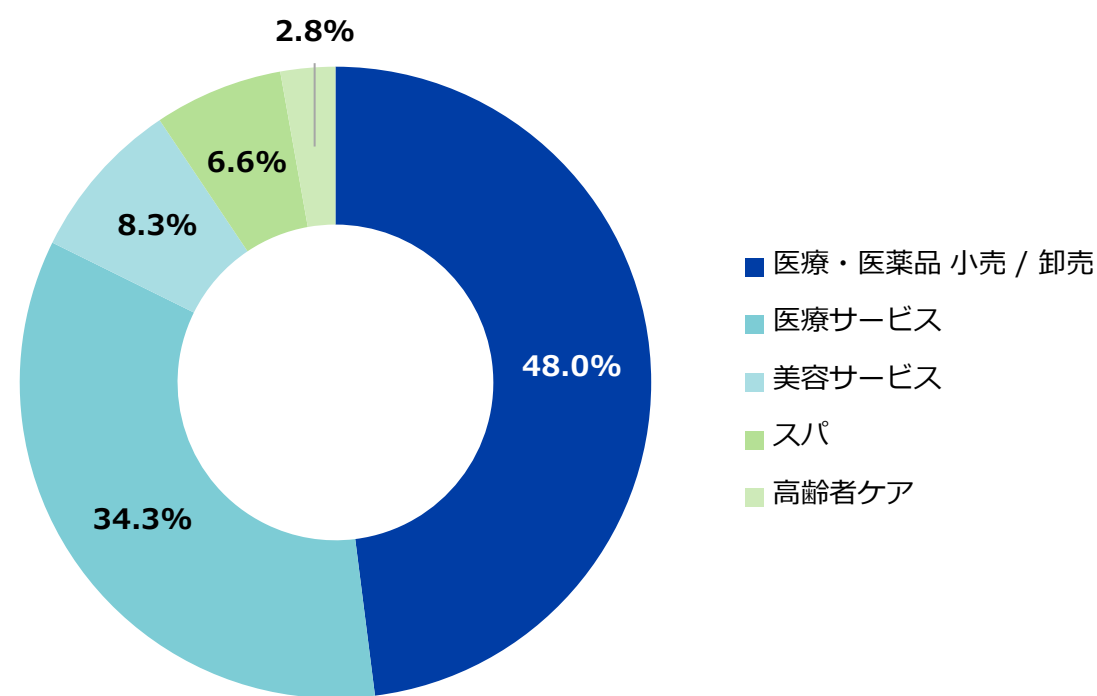
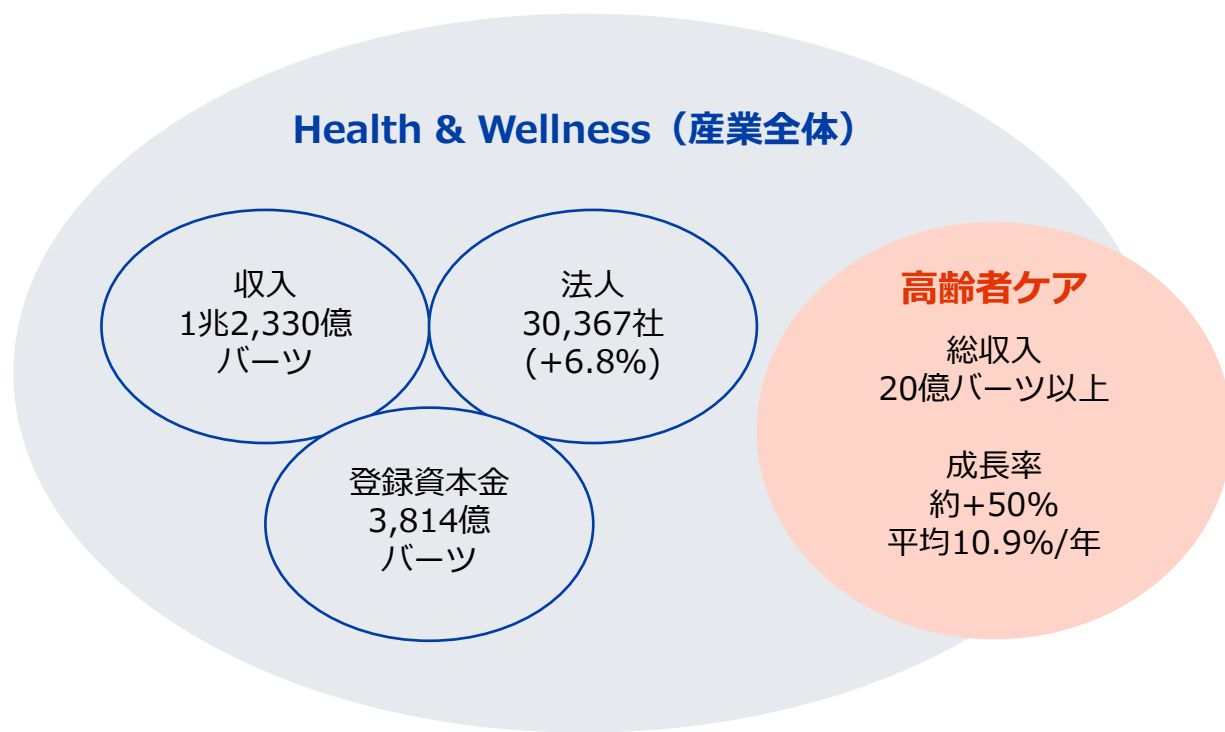
高齢者のインターネット利用率（2017年～2021年）



II タイのヘルス&ウェルネス市場トレンド

- ヘルス&ウェルネス関連産業全体の収入規模は1兆2,330億バーツに達し、事業を営む法人は30,367社（前年比6.8%増）、登録資本金総額は3,814億3,700万バーツとなっている。（タイ商務省・事業開発局、2025年12月31日時点）
- 「高齢者ケア事業」の平均成長率は年間10.9%と非常に高く、過去1年間で総収入20億バーツ以上、成長率は約50%を記録した。

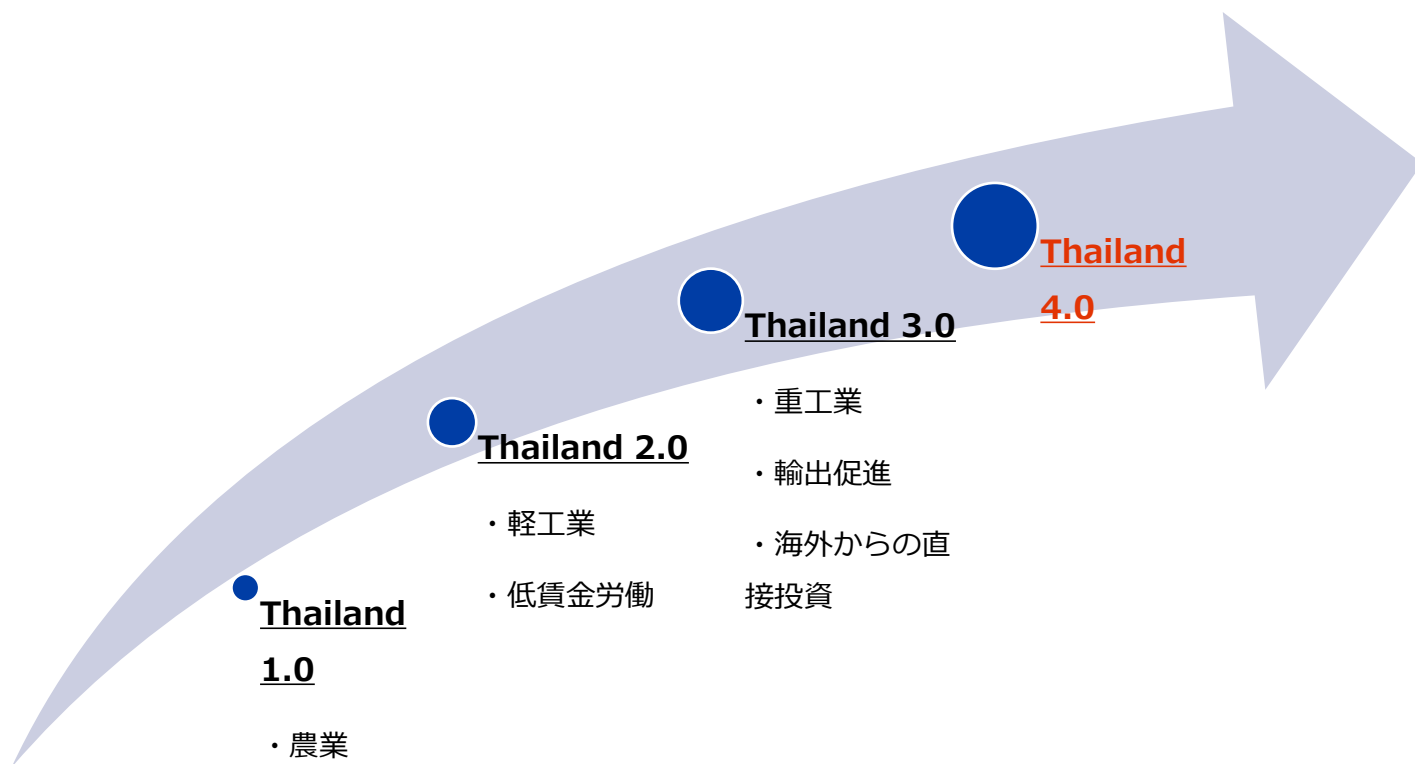
ヘルス&ウェルネス関連産業の企業構成（2025年12月1日時点）



II | タイランド4.0

- 2016年に策定された「タイランド4.0」は中所得国の罠を回避するため、産業の高度化、高付加価値化を図り、環境と社会の不均衡に対処すべく、ターゲットとなる12の重点産業への投資拡大を図るとともに、持続可能な経済成長の実現を目指すタイ政府のビジョン。

タイランド4.0のイメージ

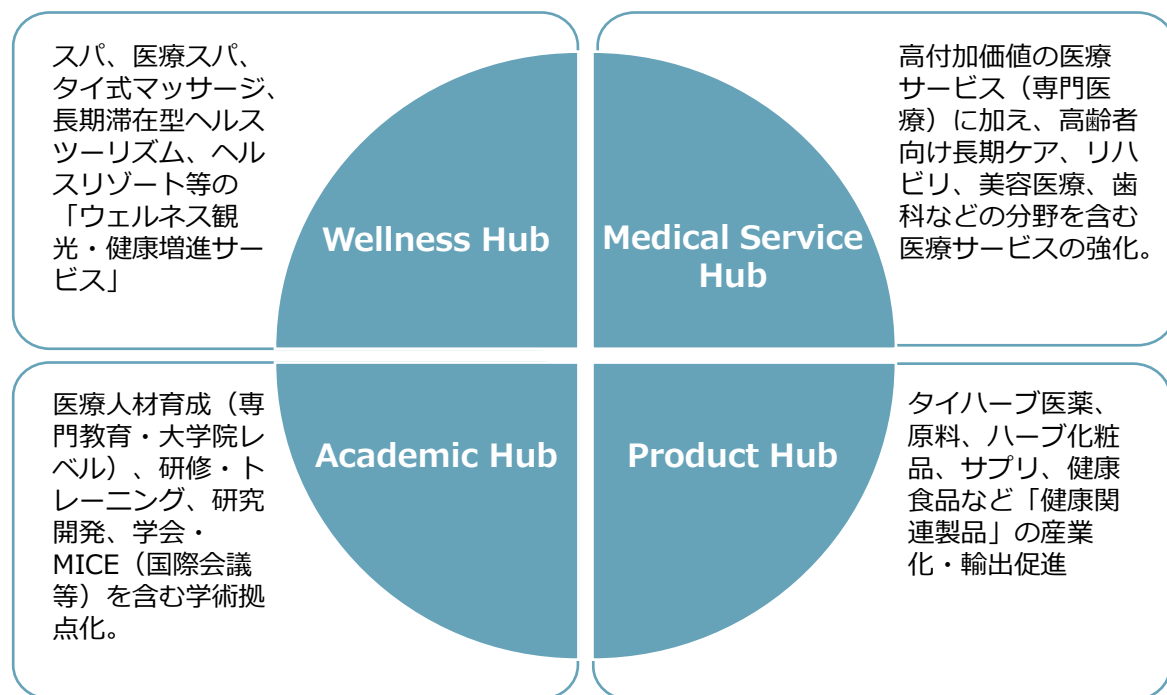


No	概要
1	次世代自動車
2	スマートエレクトロニクス
3	メディカル&ウェルネスツーリズム
4	農業・バイオテクノロジー
5	食品関連
6	ロボティクス
7	航空
8	バイオ燃料・バイオ科学
9	デジタル
10	医療・総合ヘルスケア、メディカルハブ
11	防衛
12	教育・人材開発

II タイ政府のメディカルハブ・ウェルネスハブの概要

- タイ保健省傘下の Department of Health Service Support (DHSS : 保健サービス支援局) が中心となり、「タイ国際医療ハブ開発戦略計画 (2017年～2026年)」を策定。
- ウェルネス・ハブ、メディカル・サービス・ハブ、アカデミック・ハブ、プロダクト・ハブの4分野を柱にタイを「世界有数の医療・健康サービスの中心地 (Medical Hub)」とすることで、経済成長と国際的な競争力を高める。

タイ政府の掲げる4つの柱

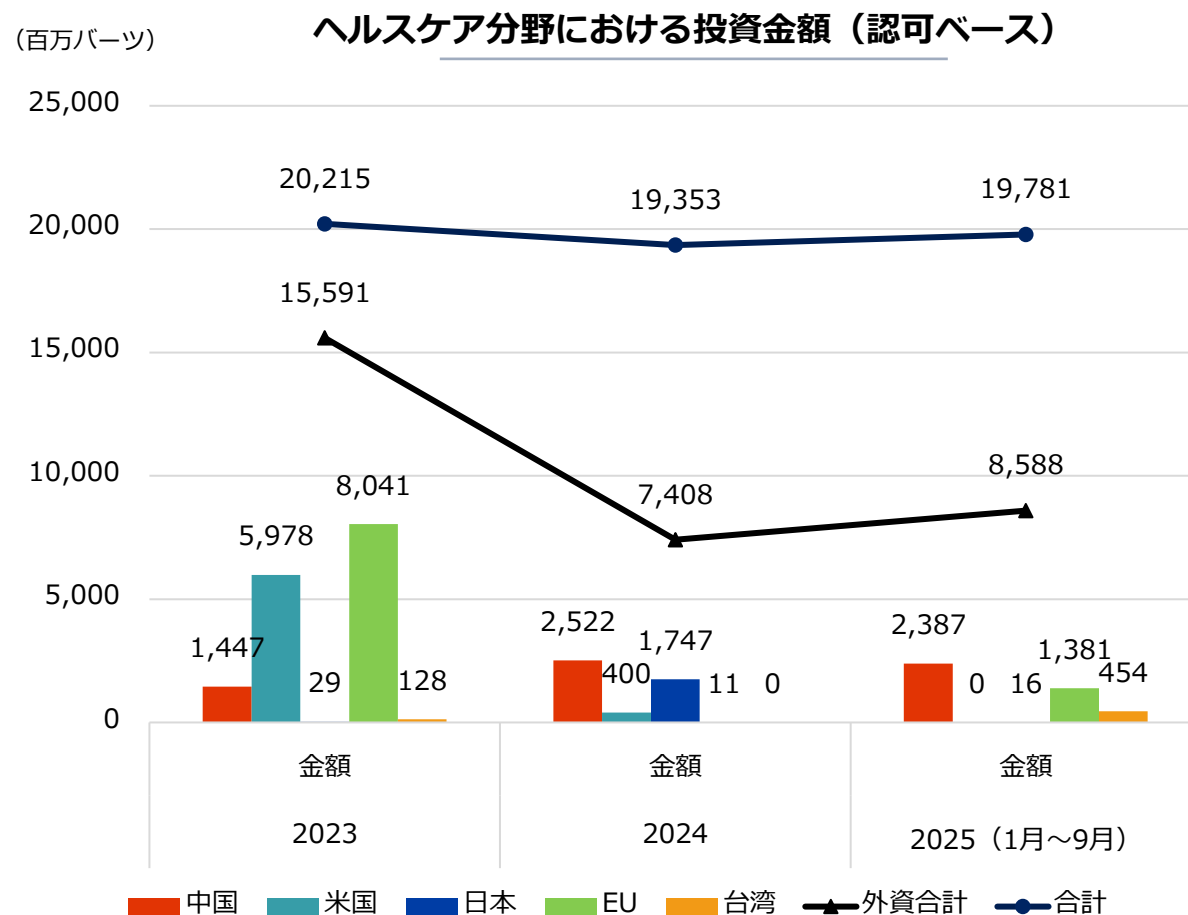
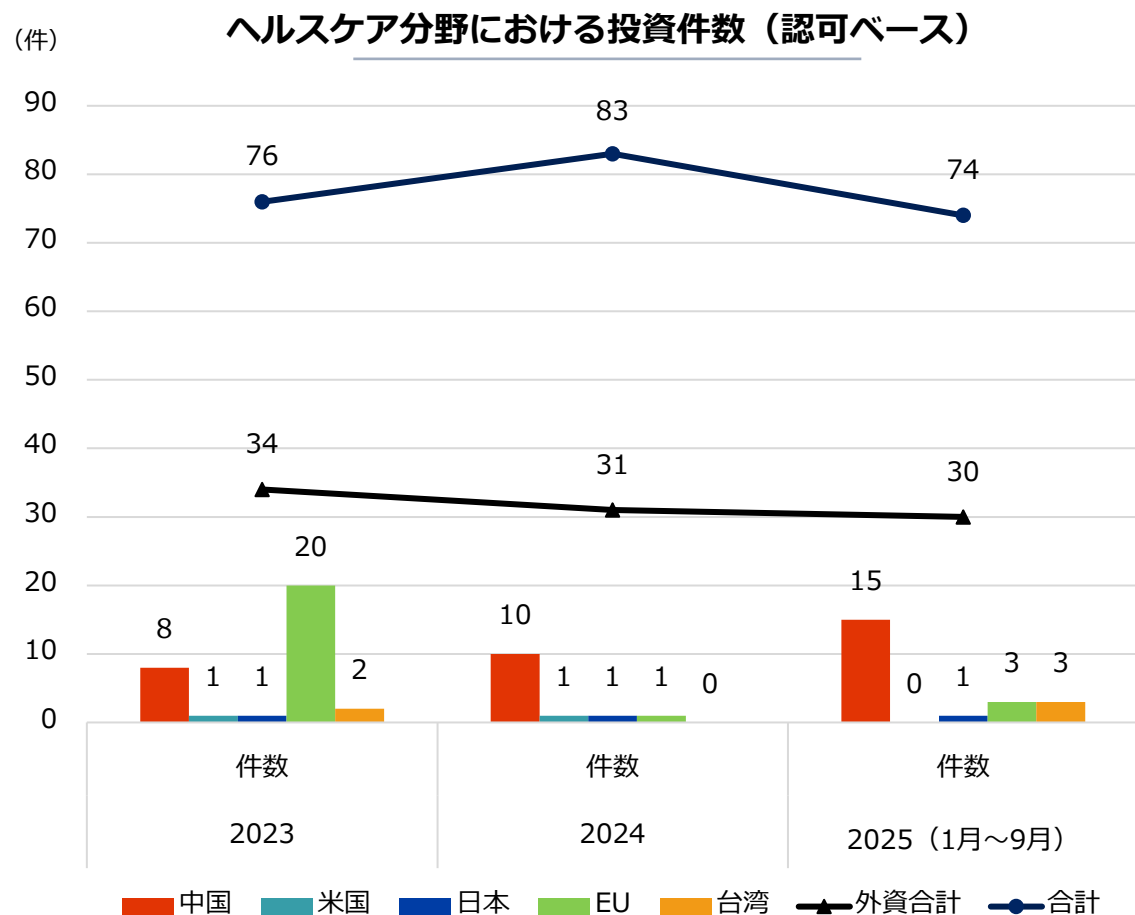


7つの戦略的柱

No.	概要
1	増強／競争力（Health Service Managementの競争力強化）
2	治療サービス（Medical Service）の強化
3	健康増進サービス（Wellness）の強化
4	タイ伝統医療・代替医療（Thai Traditional & Alternative Medicine）の強化
5	学術・研究（Academic Hub : 教育・研究・MICE）の強化
6	医薬・健康製品（Product Hub）の強化
7	マーケティング・広報（Marketing & PR）の推進

II ヘルスケア分野における各国投資状況

- タイのヘルスケア分野は、2023年から2025年にかけて投資件数・金額ともに高水準を維持、外資からの関心も継続
- 米国・EUからの大型投資のほか、中国からの投資が増加傾向。日本は相対的に存在感が低い。



II タイにおける医療関連企業の進出・撤退動向

- 医療分野の企業数は一貫して増加傾向。新設企業数が撤退企業数を上回る年が継続している。特に、医療・福祉分野および医療関連サービス（卸売・小売）では新設企業の増加が顕著で、医療需要の拡大を背景とした成長がうかがえる。
- 2020年以降に増加幅が拡大しており、タイの医療産業は中長期的に成長分野といえる。

タイにおける医療関連企業の新設・撤退動向（単位：社）※撤退には①財産管理命令中 ②解散 ③清算 ④登録抹消 ⑤破産が含まれる

業種別	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年			2025年		
	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減	新設	撤退	増減			
医療製造業	122	69	53	111	61	50	180	72	108	163	91	72	173	94	79	247	110	137	292	124	168	255	159	96	322	211	111	290	196	94	199	207	△ 8
医薬品・医薬用化学製品製造	28	16	12	33	25	8	46	26	20	45	32	13	54	35	19	81	37	44	77	31	46	48	40	8	38	59	△ 21	65	40	25	42	44	△ 2
生薬・植物由来医薬品製造	46	34	12	42	12	30	63	29	34	56	40	16	59	42	17	65	44	21	116	55	61	155	76	79	202	103	99	138	109	29	89	93	△ 4
照射機器・電気医療機器・電気治療機器製造	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医療機器・医療用備品製造（歯科用機器・備品を除く）	40	12	28	30	17	13	65	13	52	55	19	36	50	12	38	94	24	70	95	31	64	44	39	5	70	37	33	74	43	31	58	65	△ 7
医療機器・医療用備品製造（歯科用機器・備品を含む）	8	7	1	6	7	△ 1	6	4	2	7	0	7	10	5	5	7	5	2	4	7	△ 3	8	4	4	12	12	0	13	4	9	10	5	5
非製造業	720	575	145	803	494	309	1202	597	605	1252	686	566	1399	747	652	1592	848	744	2311	793	1518	2769	914	1855	2947	1331	1616	3021	1479	1542	2928	1493	1435
医療、福祉	309	167	142	334	174	160	428	202	226	580	226	354	732	244	488	754	317	437	991	273	718	1416	361	1055	1600	489	1111	1681	566	1115	1458	600	858
医薬品・卸売業	275	245	30	316	204	112	268	246	22	324	271	53	341	270	71	486	307	179	812	277	535	834	294	540	819	436	383	791	500	291	855	510	345
医薬品・小売業	136	163	△ 27	153	116	37	506	149	357	348	189	159	326	233	93	352	224	128	508	243	265	519	259	260	528	406	122	549	413	136	615	383	232
合計	842	644	198	914	555	359	1382	669	713	1415	777	638	1572	841	731	1839	958	881	2603	917	1686	3024	1073	1951	3269	1542	1727	3311	1675	1636	3127	1700	1427

参考 タイ政府（BOI）による投資恩典

BOIによる投資奨励恩典

Group A1	<ul style="list-style-type: none"> 臨床研究センター Clinical Research Center (CRC) 開発業務受託機関 Contract Research Organization (CRO)
Group A2	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスクまたはハイテク医療機器の製造 Manufacture of high risk or high technology medical devices 対象医薬品の製造 Manufacture of targeted medicines 薬品の有効成分の製造 Manufacture of active pharmaceutical ingredients 専門医療センター Specialty Medical Center
Group A3	<ul style="list-style-type: none"> その他の医療機器の製造 Manufacture of other medical devices 従来薬の製造 Manufacture of conventional medicines 高齢者病院 Senior hospital タイの伝統的または応用的な医療公共サービス Traditional or Applied Thai medical public service
Group A4	<ul style="list-style-type: none"> 不織布または繊維からの医療機器の製造 Manufacture of medical devices made of fabrics or fibers 医療機器部品の製造 Manufacture of medical device parts 病院 Hospital 高齢者・要介護者の介護センター Senior/dependent care center
Group B	<ul style="list-style-type: none"> リハビリ・センター Health Rehabilitation Center

Source: Thailand Board of Investment

法人所得税の免除 CIT Exemption

8 Years
(上限額無し
no cap)

8 Years

5 Years

3 Years

その他の免除措置 Other Exemption

研究開発用原材料の輸入税の免除
Exemption of import duties
on raw materials used in R&D

輸出用製品に使用される
原材料輸入税の免除
Exemption of import duties
on raw materials
used in production for export

機械輸入税の免除
Exemption of import duties
on machinery

税制以外の恩典 Non-tax incentive

- 土地の所有権
Permit to own land
- 奨励事業に従事する外国人専門家や熟練労働者の就労許可
Permit to bring into the Kingdom skilled workers and experts to work in investment promoted activities
- 投資機会の調査を目的とする外国人の入国許可
Permit for foreign nationals to enter the Kingdom for the purpose of studying investment opportunities
- 海外への外貨送金の許可
Permit to take out or remit money abroad in foreign currency

- 各事業ごとに恩典を受ける条件が異なる
Each activity have different conditions to receive incentive.

II 医療機関数・病床数

- 13のService Regions、38,512の施設。98.3%が一次医療機関、残りの664（1.7%）は二次・三次医療機関である
- 全国の病院の病床数合計は約17万床で、公立病院が80%を占めている。国民1万人あたりの病床数は26.32床である

公立・私立病院数（2024年）

※数字=病院数(バンコク/地方)

		公立									私立		
		保健省管轄（計：115,699床）				その他省庁管轄（計：23,017床）					民間病院 （計：35,620床）		
		次官事務局	医療局	疾病管理局	精神衛生局	軍警察	教育省	バンコク都庁	タイ赤十字	その他省庁	その他公的機関	保健省健康サービス推進局	
エクセレントセンター	バンコクに集積 高い医療水準		28 (8/20)		18 (3/15)		13 (6/7)	30 (-/-)	11 (-/-)	6 (-/-)	1 (-/-)	私立病院 425 大規模：193 (110/83) 中規模：110 (32/78) 小規模：122 (70/52)	
ターシャリケア 県（ムアン） Provincial	病床は150~500 床 20万人~300万人 を担当	中核病院 35 (0/35)		2 (0/2)		65 (9/56)							
セカンダリーケア 郡 District	2~8人の医師 病床は10~120 床 3万人~80万人を 担当	地域病院 771 (0/771)										クリニック 35,577 (7,685/ 27,892)	薬局 22,459
プライマリーケア 小地区 subdistrict	3~6人の看護師と 保健担当官 2,000人~5,000 人を担当 村のボランティアによ る予防促進	健康促進センター（健康サービス推進局傘下） 9,744 (0/9,744)											

II 公立病院

- 一般・低所得者層は公的医療機関を利用
- 保健省管轄のRajavithi病院、教育省管轄のマヒドン大学Ramathibodi病院やSiriraj病院が有名

タイの主な公立病院

	区分	病院名	県	病床数
1	中核病院	Maharat Nakhon Ratchasima Hospital	ナコンラチャシマ	1,387
2	中核病院	Sunpasitthiprasong Hospital	ウボンラチャタニ	1,188
3	中核病院	Udon Thani Hospital	ウドンタニ	1,154
4	中核病院	Khon Kaen Hospital	コンケン	1,100
5	中核病院	Buddhachinaraj Phitsanulok Hospital	ピサヌローク	922
6	保健省医療局病院	Rajavithi Hospital	バンコク	1,200
7	保健省医療局病院	Priest Hospital	バンコク	937
8	保健省医療局病院	Thanyarak Institute	パトゥムタニ	670
9	保健省医療局病院	Nopparat Rajathanee Hospital	バンコク	510
10	保健省医療局病院	Lerdsin Hospital	バンコク	500
11	大学病院	Siriraj Hospital	バンコク	2,221
12	大学病院	Srinagarind Hospital	コンケン	1,466
13	大学病院	Maharaj Nakorn Chiang Mai Hospital	チェンマイ	1,400
14	大学病院	Ramathibodi Hospital	バンコク	1,300
15	大学病院	Vajira Hospital	バンコク	875

	区分	病院名	県	病床数
16	大学病院	Songklanagarind Hospital	ソクララー	732
17	バンコク都庁	Charoenkrung Pracharak Hospital	バンコク	417
18	バンコク都庁	Bangkok Metropolitan Administration General Hospital (Klang Hospital)	バンコク	408
19	バンコク都庁	Taksin Hospital	バンコク	393
20	バンコク都庁	Bang Na Hospital	バンコク	324
21	バンコク都庁	Bang Khun Thian Geriatric Hospital	バンコク	300
22	陸軍	Phramongkutklo Hospital	バンコク	1,236
23	空軍	Bhumibol Adulyadej Hospital	バンコク	774
24	警察	Police General Hospital	バンコク	736
25	海軍	Somdech Phra Pinklao Hospital	バンコク	507
26	陸軍	Fort Suranari Hospital	ナコンラチャシマ	420
27	タイ赤十字	King Chulalongkorn Memorial Hospital King Chulalongkorn Memorial Hospital	バンコク	1,433

II 私立病院

- 富裕層（特に都市部）が私立病院を利用。患者獲得のため、JCI認証取得し、メディカルツーリズムを推進
- Bangkok Dusit Medical Service (BDMS) が最大手

タイの主な私立病院グループ

	グループ名	病院数	病床数	傘下病院名
1	Bangkok Dusit Medical Service Group	56 ※1	8,425	バンコク病院、サミティベート病院、パヤタイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院（カンボジア）、BNH病院等
2	Thonburi Health Care Group	18	963	トンブリ病院（バンコク）に加え、地方の病院を展開
3	Bangkok Chain Hospital Group	15 ※2	2,254	カセムラード病院、ワールドメディカル病院、カルンヴェート病院等、バンコク首都圏中心
4	BPK Group (Bangpakok Hospital)	8	949	バンパコック病院、ピヤウェート病院等、バンコク首都圏中心
5	Ramkhamhaeng Hospital Group	14	1,746	バンコクのラムカムヘン病院だけでなく、地方での展開が多い

※1：カンボジア国内2病院を含む

※2：ラオス国内1病院を含む

タイの主な私立病院（病床数上位10病院）

	病院名	県	病床数
1	Bumrungrad International Hospital	バンコク	580
2	Ramkhamhaeng 2 Hospital	バンコク	560
3	Ramkhamhaeng Hospital	バンコク	486
4	Thonburi Hospital	バンコク	435
5	Yanhee Hospital	バンコク	400
6	McCormick Hospital	チェンマイ	400
7	Saint Louis Hospital	バンコク	387
8	Kasemrad Hospital Prachachuen	バンコク	362
9	Hua Chiew Hospital	バンコク	338
10	Kasemrad Hospital Bangkae	バンコク	311

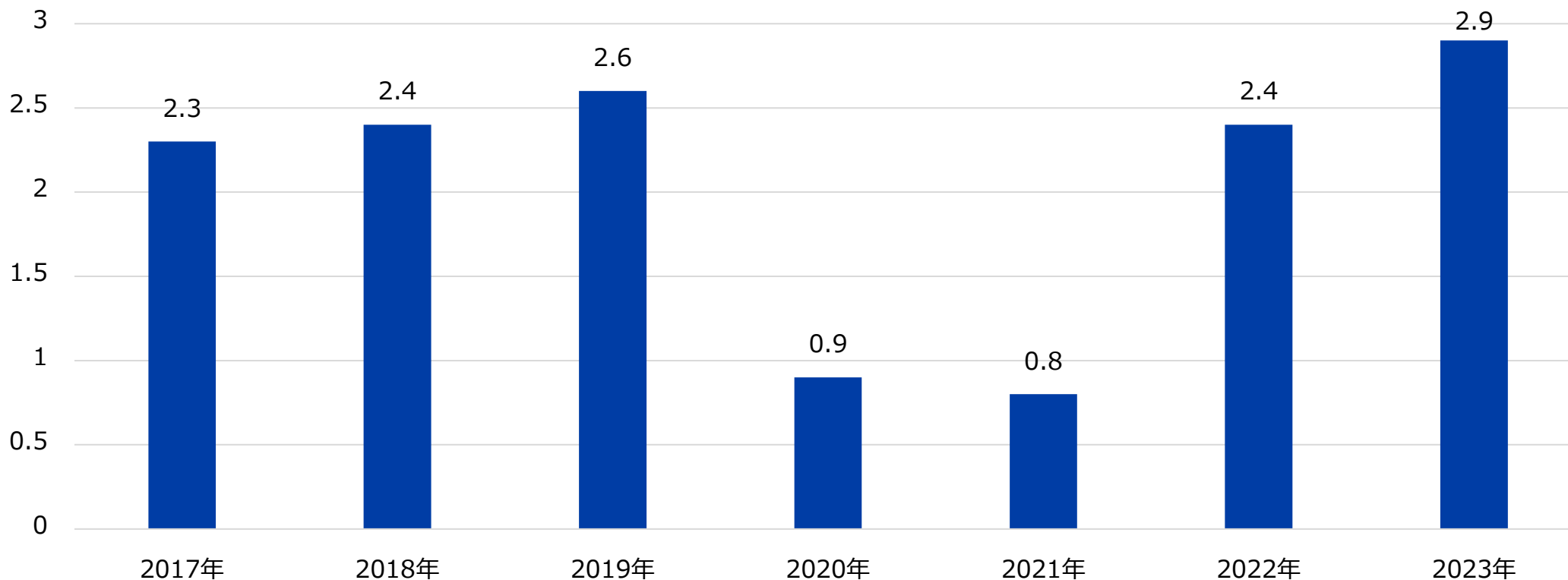
II 代表的な私立病院グループ

	グループ名	売上高 (2024年) 単位: 百万バーツ	病院数	病床数	主な傘下病院
1	<u>Bangkok Dusit Medical Service Group</u>	29,874	60	9,300	バンコク病院、サミティベート病院、パヤタイ病院、パオロ病院、ロイヤル病院 (カンボジア)、BNH病院等
2	<u>Bumrungrad Hospital</u>	25,418	1	580	バムルンロード病院
3	<u>Bangkok Chain Hospital Group</u>	7,076	15	2,323	カセムロード病院、ワールドメディカル病院、カルンヴェート病院、ほかバンコク首都圏中心
4	<u>Thonburi Healthcare Group</u>	6,048	15	1370	トンブリ病院 (バンコク)、ほかタイ地方を中心に展開
5	<u>Ramkhamhaeng Hospital Group</u>	4,908	14	6,900	ラムカムヘン病院 (バンコク)、ほかタイ地方を中心に展開
6	<u>Sikarin</u>	4,800	3	804	シカリン病院バンコク、シカリン病院サムットプラカーン、シカリン病院ハートヤイ
7	<u>Chularat (CHG)</u>	4,306	8	938	チュララット病院
8	<u>Vibhavadi Medical</u>	3,641	1	258	ビパワディー病院
9	BPK Group (Bangpakok Hospital)	3,360	7	974	バンパコック病院、ピヤウェート病院、ほかバンコク首都圏中心
10	<u>Principal Healthcare (PRINC)</u>	1,009	16	1,725	プリンス病院、シリウェート病院、ピサヌウェート病院、ウィラットシン病院、タナカーン病院、ルアムパット・ピッサヌローク病院

Ⅱ | メディカルツーリズム

- 2023年のメディカルツーリズム市場規模は約290億バーツ。バンコク都心部の私立病院ではメディカルツーリズムの患者が30%を占める
- 利用者は（1）自国よりも先進的な医療を求めるグループ（CLMV（カンボジア・ラオス・ミャンマー・ベトナム）諸国や中東諸国（サウジアラビア、カタール、クウェート、アラブ首長国連邦など））（2）費用の安さやホスピタリティを求めるグループ（欧米等）に大別される

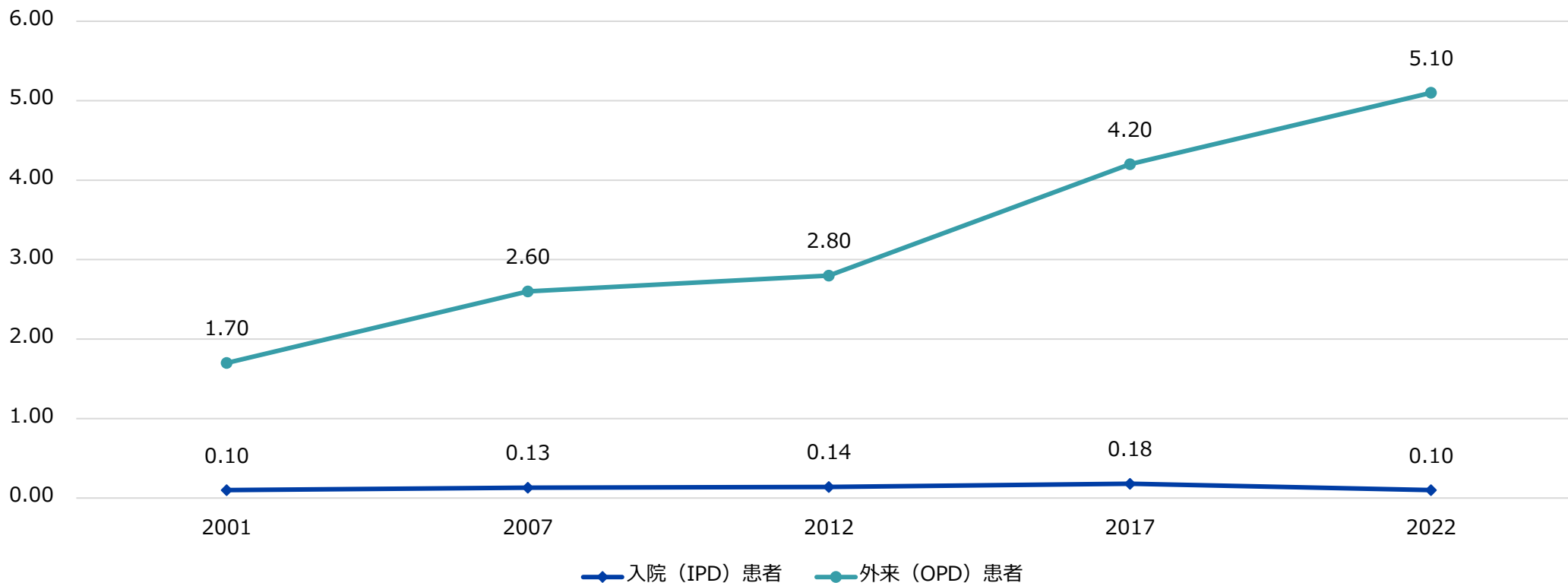
タイのメディカルツーリズム市場規模推移（単位：100億バーツ）



II 医療機関における外国人患者数の推移

- 2022年には、医療機関を受診した外国人患者数が外来（OPD）で約500万人、入院（IPD）で約10万人、合計で約510万人規模に達している
- タイ証券取引所（SET）に上場している私立病院における外国人患者（駐在員や一時来訪者を含む）からの総収入は2024年には約570億バーツに達する見込み（Kasikorn Research）

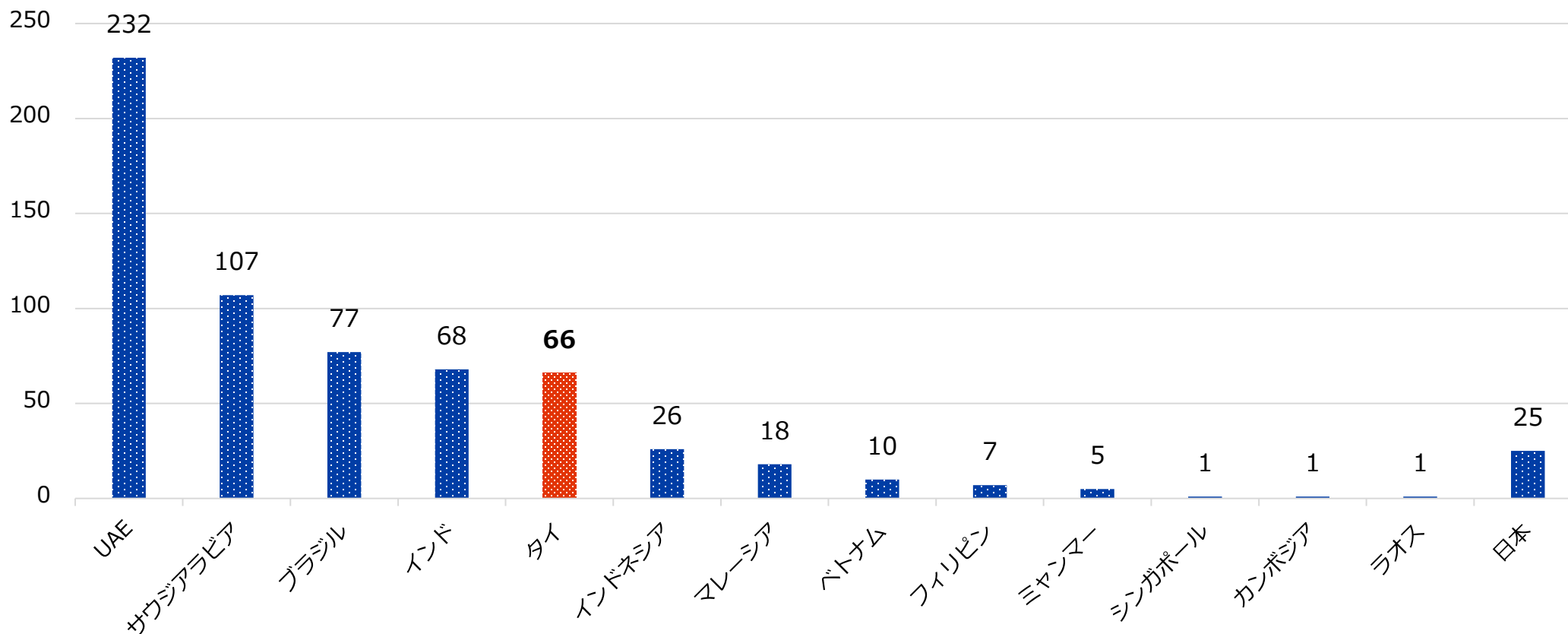
タイの私立病院および医療機関における外国人患者数の推移（単位：百万人）



II 国際基準認証（JCI）

- 2026年3月現在、JCI認定された医療機関が66か所ある（アジアで最多、世界で5位）
- 多くの医師や看護師が海外での教育・研修経験を有しており、英語をはじめとする多言語対応が可能

JCI認可医療機関数の比較



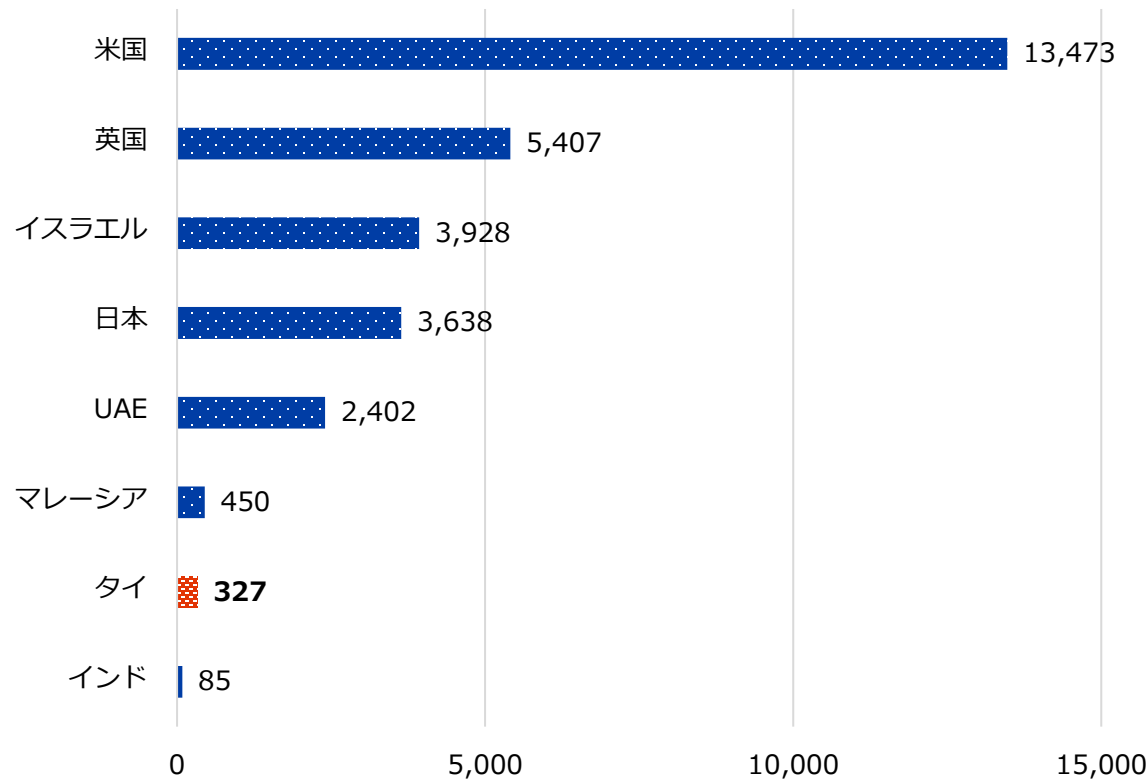
II 医療サービス料金

- 欧米・シンガポール等の先進国と比較すると、同等レベルの医療サービスをより低い価格で受診できるケースが多く、手術や検査によっては半額以下で受けられることもある
- 2023年のタイの一人当たり医療費支出は327米ドルであるのに対し、米国では約13,473米ドルに達しており、両国間には約40倍の大きな開きが存在する。

各国における医療サービス費用比較（単位：米ドル）

	タイ	米国	シンガポール	ベトナム	マレーシア	インド
心臓バイパス手術	17,188	123,000	40,000-55,000	N/A	18,000-25,000	7,000
血管形成術	10,938	28,200	25,000-45,000	8,510-12,290	10,000-15,000	5,500 - 6,200
フェイスリフト	2,813	11,000	N/A	2,320 - 3,220	N/A	7,200

一人当たり医療費支出の比較（2023年）（単位：米ドル）



目次

I.	<u>ASEANヘルスケア基礎概況</u>	7
II.	<u>タイのヘルスケア市場の特徴・優位性</u>	25
III.	<u>タイにおけるヘルスケア関連ニーズ</u>	48
参考.	<u>進出に際しての障壁（規制）</u>	74
参考.	<u>ジェトロのヘルスケア事業</u>	80

★ 高齢化を背景としたニーズ拡大とビジネスチャンス

- 生活習慣病等の健康課題を契機に、医・食・運動・美容分野の製品・サービス需要に広がり

高齢化、生活習慣、アクティブシニアの増加

医療

- 検診・早期発見、予防医療
- 健康管理（体組成・血圧等）
- デジタルヘルス
- 在宅医療・介護
- 遠隔医療
- 介護施設・ナーシングホーム

食

- 介護食（嚥下食・流動食）
- 病院食
- 高齢者向け栄養補助食品
- 健康食品、サプリメント、機能性食品

運動

- フィットネス（シニア向け含む）、ジム
- リハビリ
- 歩行サポートデバイス
- アクティブエイジング

美容

- 美容
- エイジングケア
- 化粧品、美容関連機器
- エステ・スパ

医療

高齢者・介護

健康・ウェルネス

医 | タイにおける高度な医療技術の活用例

- タイの大規模病院では、手術支援ロボット技術の導入が進んでいる
- 手術支援ロボット「The da Vinci Xi」を導入している

手術支援ロボット「The da Vinci Xi」を導入しているタイの主な病院

バムルンロード病院



ラマティボディ病院



ウェートタニー病院



手術支援ロボット「The da Vinci Xi」



バンコク病院



SIRIPH

シリラート病院



トンブリ病院

医 医療機関のIT・デジタル化

- 公立・私立病院のIT化・デジタル化の状況は以下のとおり
- 私立の大病院を中心にITシステム導入が進んでいるが、大多数の病院はデジタルが未整備の状況

公立・私立病院のIT化・デジタル化の状況

	病院名	分類	電子カルテ	外観・画像診断AI活用	ビッグデータの活用	診察予約アプリ	遠隔医療
1	Rajavithi Hospital	公立(保健省)	○	-	○	○	○
2	Siriraj Hospital	公立(大学)	○	-	○	○	○
3	Ramathibodi Hospital	公立(大学)	○	-	○	○	○
4	Nakhon Ratchasima Hospital	公立(A)	○	-	-	-	○
5	Chonburi Hospital	公立(S)	○	-	○	○	○
6	Nakhon Pathom Hospital	公立(S)	-	-	○	-	○
7	Pranangklae Hospital	公立(M1)	○	-	-	-	○
8	Nongkhai Hospital	公立(M1)	○	-	-	-	○
9	Bang Lamung Hospital	公立(M1)	-	-	-	-	○
10	King Chulalongkorn Memorial Hospital	公立 (タイ赤十字)	○	-	○	○	○

	病院名	分類	電子カルテ	外観・画像診断AI活用	ビッグデータの活用	診察予約アプリ	遠隔医療
11	Bangpakok 9 International Hospital	私立	○	-	○	○	○
12	Ramkhamhaeng Hospital	私立	○	○	○	○	○
13	Bumrungrad International Hospital	私立	○	○	○	○	○
14	Yanhee Hospital	私立	-	-	○	-	○
15	McCormick Hospital	私立	○	-	○	○	○
16	Saint Louis Hospital	私立	○	△	-	-	-
17	Kasemrad Hospital Prachachuen	私立	-	△	○	-	-
18	Bangkok Hospital Pattaya	私立	○	○	○	○	○
19	Vejthani Hospital	私立	○	-	○	-	○
20	Bangkok Hospital	私立	○	○	○	○	○

(出所) 各所のウェブサイト、電話ヒアリング、インタビュー (注) ○は導入あり、△はテスト導入あり、-は導入なし

医療機関の声・ニーズ

■ 日本の医療機器の調達割合、他外資の割合、競争優位点



ヨーロッパ及び米国製が70%、日本製20%、その他（中国、韓国など）10%。
（公立病院）



輸入元はトップから欧米（GE、シーメンス、フィリップス）、日本、中国の順。
昔は日本製品は全て信頼性が高かったが、今は中国が台頭し品質も十分。新しい
技術の導入にも意欲的なメーカーが多い。それに比べ、日本は保守的で先進さが
失われている印象を持っている。
（私立病院）



日本製が30%（ベッド、CTなど）（私立病院）



日本製は5%程度。（私立病院）



割合は不明だが、日本製は内視鏡や超音波をはじめ、デンタルユニットなど多くの
機器を導入している。
（私立病院）



日本・欧米メーカーの医療機器を導入しているが、日本製は高品質、使いやすさ、
安全性を評価しているが、価格は高い。最近では、中国企業からの医療機器の提
案が増加している。特に関心のある医療機器はがん治療関連機器、ラボ用レンズ、
モバイルX線装置、美容医療機器など。（私立病院）



多数の日本製医療機器が導入されているが、眼科センター、消化器・肝臓セン
ター、生殖補助医療（IVF）、検査室（ラボ）、リハビリテーションセンターな
どが特に多い。（私立病院）



日本製品の技術に対する信頼も強く、日本製品や技術に強い関心がある。
（私立病院）

医 医療機関の声・ニーズ

■ 医療機器調達のキーパーソンは？どのような意思決定プロセスを経て調達が決まるのか？



上層部からのトップダウンの事例はほとんど見られない。使用する診療科や部署を説得できるかが鍵になる。そういう面では、現場の医師・看護師等がキーパーソンということになる。（公立病院）



担当医師のリクエストにより、Boardの許可が下りれば、メーカー製品情報と（可能な場合は試用の）見積をリクエストする。最終的には入札となるが、価格だけでなく、品質・スペックも重要な指標となるため、必ずしも価格が安いものを調達するとは限らない。（私立病院）



外部機関の影響は全くない。ドクターが一番のキーパーソン。
大凡80~90%は各病院で判断しており、低価格用品は各病院が判断。大きな機器（数百万パーツ）は病院ごとの委員会が判断し病院長が決済。高額機器（1千万パーツ以上）の場合はグループで検討・承認・入札の手順。最も大切なのは医師の意見で、医師は特定のメーカーを希望することはできるが、指定はできない。（私立病院）



担当医師の影響力は強い。必ずしもリクエストを全て受け入れるわけではないが、かなりの割合で医師の意見が採用される。価格により、病院の役員会の判断になるかグループの判断になるかが分かれるが、いずれにせよ入札形式となる。（私立病院）



現場の各科のドクターがキーパーソン。ドクターが必要な機器のスペックを出し、Boardの許可が下りれば、入札～調達となる。入札になる金額は線引きがある。（私立病院）



グループ内で共通して使用するもの（ディスプレイ用品など）はグループで一括して調達する。低価格機器については各病院が直接購入可能。一方で、高価格機器（約1,000万パーツ以上）や新規設備については本社の承認が必要（私立病院・地方）

医 医療機関の声・ニーズ

■ スタートアップとの連携（IT化やAIの活用など）



「QueQ」という診察・薬局の順番待ちシステムの開発を地場企業と協力して行った。HIS（病院情報システム）を民間と開発し、その後自院だけでなく、チュラロンコーン病院など他院へも販売した。（公立病院）



多くのスタートアップ企業からオファーがあるが、いずれも自社のコンセプトには合わなかった。スタートアップからの提案で多いのは遠隔医療システム。多くのスタートアップ企業は、米国の事例を真似ている（研究している）ため、タイの実情にそぐわないものが多い。（私立病院）



子会社を設立し、医療のイノベーションとベンチャーキャピタルの役割を担っている。進行中のプロジェクトがいくつかあり、スタートアップとの連携も視野に入れている。基本的には完成品・サービスを有するスタートアップとの連携を検討する（私立病院）



システム開発の子会社を設立し、自社で開発している。このため、スタートアップとの連携事例はないが、多くの提案は受けている。自社開発のシステムとしては、混雑の時期・時間帯のデータ分析をするもの。データを活用し、人員配置を最適化できたため、OT（時間外勤務）を低減させた。（私立病院）



ローカルのスタートアップ企業と共同開発しているプロジェクトがあるが、多くはサービス面での開発に特化しており、診断ツールの自社開発は行っていない。診断でのAI活用は、中国の事例や製品に注目して探している。（私立病院）



タイのIT系スタートアップとの協業経験がある。例えば、医師の発話を即座にテキスト化し、データセンターに登録するサービス（Speech to Text）など。ほか、AIによるX線画像診断システムなど。（私立病院）

医 医療機関の声・ニーズ

■ IT化の施策・方向性、IT化進捗具合、課題感、トレンド、導入する際の意思決定プロセス



ペーパーレス化が一番の課題。電子カルテは99%達成している（1%は高齢医師でパソコン不可）。検温血圧は手書きがほとんど。外来患者のほとんどが手書きのため、生産性が低い。電子化IT化のための政府からの予算配布はないが、ポリシーは降りてくる。レントゲン画像をAIで診断するシステムのテストを行なったが、コストが高すぎて導入は見送りとなった。（公立病院）



スマートホスピタルを目指しており、デジタル活用を向上させる。ただし、一気に変化は現場のスタッフの反発を招くので、順次取り組むというスタンス。まず、経営面ではコストの見える化で、決定を早くする。サービス面では、誰もが所有するデバイスであるスマホ用のアプリを導入することで、予約や順番待ちの不満を解消し、顧客満足度を上げる。コールセンターのデジタル化にも対応済み。患者の電話番号が事前に登録されていれば、コンシェルジュ的な対応が可能になっている。（名前や診察番号が必要ない）。最終的には家族の病歴も含めたレコードを元に、医療のパーソナライズを目指したい。診療面でのAI活用は、最終的にドクターの診断が必要となる（ハイブリッド）ので、コストを下げる効果はないとみている。（私立病院）



病院情報システムは韓国のBITを採用している。患者への投薬時にヒューマンエラーが多いため、看護師が使用するスマートカートの導入を模索中。

（私立病院）



AIの導入を含めITに積極的である。診察記録や画像解析でAI導入している。サービス面では、チャットボット（オペレーターの負担を軽減する）、アプリ（診察予約、検査結果、支払い）を導入。また、手術を受ける患者の家族向けに、術前から術中・術後までライブで映像を提供している、ロボットトランスレーターを導入したい。

設備面では、IoTを活用し、院内のエアコン・照明等を最適化、省エネに繋がっている。現在テスト中で20%~30%の省エネ効果を期待している。患者のベッドからの落下センサー、点滴機材や輸液の使用状況・位置を把握するシステムも導入している。（私立病院）



管理面ではIT導入が進んでいる。病院情報システムは韓国のBITを採用しており、ドクターとナースはタブレットで全ての情報を共有している。薬局は患者と処方薬を照合し、人的ミスを減らすシステムを採用している。他方、サービス（診察）面では、CTなどに自動診断機能が搭載されている場合を除き、IT導入は進んでいない。

AI導入に関しては、グループ内で討議したが、患者の診察は問診・視診・問診というプロセスが大切であり、AIへの過度な依存はできない。AIはあくまで補助であり、医師に選択肢を提供する役割に止まる。他方、ラボなどは、AI解析の精度が上がれば、人間よりも信頼できる可能性が高いので期待している。

院内のヒト（患者、医師、看護師）とモノ（用品・機器）のロジスティックを管理するシステムがあればすぐにでも導入を検討したい。患者の移動を最適化できるようなものを期待。（私立病院）

医 医療機関の声・ニーズ

■ 予防医療という観点での医療機器・用品及びIT化のニーズ、導入例



生活習慣病予防に、高齢者を対象にリスク評価を実施。体組織計など使用。
(公立病院)



積極的な導入には至っていない。計画としては、脳卒中予備軍患者の事前登録システム。脳卒中は最初の4時間がゴールデンタイム。事前に登録することで、この時間内にすぐに治療開始できるようにするもの。
(私立病院)



グループ全体で、情報データ活用チームを持っており、ビッグデータの活用をしている。また、将来リスクを評価するために、診療記録を活用している。現在最も関心を持っているのは、アルツハイマーのリスク評価。将来リスクが心臓なら、自分でケアすることも、投薬でリスクを低減させることもできるが、脳に関しては発症するまでわからないという難しさがある。
(私立病院)



予防医療は、PDPA（個人情報保護）の観点から検討が必要。今すぐ導入することはできない。また、予防医療は行政の役割であって、私立病院が取り組む問題ではないはず。ビッグデータの活用は、投資計画に使えると見ている。
(私立病院)



ITを活用した健康管理・検査サービスについては、個人情報保護の観点から導入が難しい。(私立病院)

介護 高齢者・介護市場概況

- タイ商務省によると、高齢者向け商品およびサービスの市場規模は約1,070億バーツ、うち介護機器が約100億バーツと約10%を占めている。高齢者介護市場は、今後少なくとも5年間は年平均5~10%の成長が見込まれている
- 伝統的・文化的に「親の面倒は子供がみる」という考え方から、高齢者介護施設の利用は日本ほど浸透しておらず、一部の富裕層が中心。一般的に家族やコミュニティが要介護老人を自宅内で介護する。公的な介護保険制度はない（2025年5月時点）

今後需要が増加する機器（スマートウェルネス機器）

1	血圧計、血糖値計、酸素濃度計などの計測機器
2	痰（たん）吸引器などの基礎予防機器
3	車椅子、歩行器などの補助機器
4	ベッド、手すり、スロープ、車椅子リフトなどの住居設備
5	転倒アラーム、緊急通報装置などの安全システムなど



（出所）ジェトロ地域分析レポート「介護機器ニーズが伸長」



介護ベッドや計測機器の輸入代理店

- 新型コロナのクラスター感染を恐れ、自宅療養・治療を選択した富裕層を中心に、ホーム用介護機器の需要が飛躍的に増加した。
- 健康寿命は70歳以上新型コロナ前の2019年は病院向け販売が60%、家庭向け販売は40%だったが、2022年は家庭向けが60%と逆転
- 「ホームケアのニーズが継続的に伸びている」



医療機器輸入販売企業

- 例えば自宅に介護ベッドを置くことは、タイ人にとって「病院・病人」を連想させるため敬遠されていた。
- しかし、現在はライフスタイルの変化と介護への理解が浸透したことで、ホームケアのハードルは下がっている。
- 病院関係者は一番のキーパーソンでありインフルエンサー。病院の医師や看護婦、リハビリ理学療法士（PT）などから具体的な商品やブランドのアドバイスを受け、次にインターネットで商品を検索して、介護製品を検討する傾向

介護 高齢者・介護施設

- 民間の高齢者・介護施設は全国に約3,000施設あると推定されている
- 「高齢者・要介護者の場所や安全確保に関する省令」により正式に認可を受けた施設は1,309ヶ所にとどまっている

地域別事業所認可数（2026年4月）

地域	計	Day Care (計:9)					Residential Care (計:21)					Nursing Home (計:1279)				
		書類審査	書類審査終了	支払い待ち	ライセンス発行済	キャンセル	書類審査	書類審査終了	支払い待ち	ライセンス発行済	キャンセル	書類審査	書類審査終了	支払い待ち	ライセンス発行済	キャンセル
District 1・Chiang Mai	125	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2	1	0	106	11
District 2・Phitsanulok	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	27	8
District 3・Nakhonsawan	27	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19	6
District 4・Saraburi	235	0	0	0	3	0	0	1	0	8	2	3	5	0	200	13
District 5・Ratchaburi	147	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	1	0	131	11
District 6・Rayong	136	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	6	4	0	116	7
District 7・Khon Kaen	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	38	7
District 8・Udon Thani	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	20	0
District 9・Nakhonratchasima	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	25	2
District 10・Ubonratchatani	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
District 11・Suratthani	26	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	18	2
District 12・Songkhla	28	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	23	4
District 13・Bangkok	433	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	10	0	367	50
計		3	0	0	5	1	1	1	0	14	5	21	31	0	1102	123

介護 高齢者・介護施設

- 日常生活に支障がない高齢者をターゲットにしたシニア・レジデンス（高齢者住宅）の開発が進む
- 施設内のナースステーションに看護師が24時間常駐、クリニック併設が一般的

バンコク首都圏にある主なナーシングホーム

	施設名	ホーム派遣	デイケア	個室月額料金(THB)
1	Kluaynamthai 2 Hospital	○	×	30,000～
2	Ditsara Nursinghome	×	×	30,000～
3	My Home Care	×	×	18,000～
4	The Parents	○	○	38,500～
5	KIN Nursing Home	○	×	35,000～
6	Chersery home	○	○	50,000～
7	Aryuwat Nursing Home	×	○	38,000～
8	Thonburi Health Village	×	○	56,000～
9	Senera Senior wellness	×	○	57,000～
10	Bangkok Care Nursing Home - BCNH	×	○	42,000～
11	The Sense Living	×	×	42,000～
12	Dusit Home	○	○	52,500～
13	Baan Mhor	○	○	60,000～
14	Diamond Life Nursing Center	×	○	55,000～
15	Dream Nursing Home	○	○	22,000～

主な高齢者向けレジデンス

	施設名	県	部屋サイズ	価格(THB)
1	Supalai Wellness Valley	サラブリ	シングル	分譲 1,300,000～
2	Jin Wellbeing County	パトゥムタニ	43～46平米	月額家賃 66,000～
3	The Aspen Tree	バンコク	83～124平米	30年 30,000,000～
4	NAYA Residence	ノンタブリ	62～120平米	月額家賃 40,000～
5	Ramathibodi Elderly Care and Hospice	サムットプラカーン	32平米	30年 1,820,000～
6	Meesuk Society	チェンマイ	27～96平米	分譲 3,400,000～
7	Wellness World	アユタヤ	150平米～	分譲 1,900,000～
8	Sawangkanives	サムットプラカーン	37～86平米	分譲650,000 ～
9	KAMALA Senior Living	ブーケット	不明	不明
10	De Santé Prachauthit - Rama3	バンコク	32～64平米	分譲 2,040,000～

介護 高齢者・介護施設 例

Thonburi Health Village

施設名	Thonburi Health Village
ウェブサイト	https://thonburihealthvillage.com
所在地	バンコク都内プラチャーウティット地区
開所	2020年
ベッド数	150床（270床まで拡張可能）
医師診察	週2回
料金（パーツ）	個室：56,000/月、6人部屋：36,000/月
利用者	寝たきり、手術後ケア

- トンブリ・ヘルス・ビレッジは、大手市立病院グループであるトンブリ・ヘルスケア・グループが運営する介護施設。
- 利用者の85%は寝たきりのロングタームケア、残り15%は手術後のリハビリ。
- ロングタームケアは長い契約でも2年間で、終末ケアとしての利用は無い。
- リハビリの短期利用者は、開所3年間で300人を超え、ほとんどが系列病院からの紹介。



（出所）ジェットロによるヒアリング、写真ジェットロ撮影

Chersery Home

施設名	Chersery Home
ウェブサイト	https://www.cherseryhome.com
所在地	バンコク都内6ヶ所
開所	2017年
ベッド数	1施設あたり約50床
医師診察	クリニック併設
料金（パーツ）	個室：50,000/月
利用者	寝たきり、手術後ケア

- チェーザリー・ホームは、高齢者病院とリハビリセンターを併設し、バンコク都内6カ所に展開する業界大手の高齢者・介護施設
- デイサービスや在宅訪問介護にも対応しており、在宅訪問介護は常に70世帯ほどが利用している。

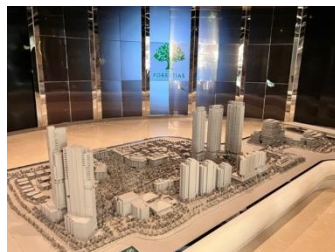


介護 高齢者・介護施設 例

THE ASPEN TREE

施設名	The Aspen Tree
ウェブサイト	https://mqdc.com/th/aspentree
所在地	バンコク都内バンナー地区
開所	2024年
戸数	290戸（83～124平米、1～2ベッドルーム）
サービス	無料：朝食、クリーニング 有料：看護師によるケア
価格（パーツ）	3,000万～（30年リース、延長可）
特徴	長期介護やリハビリに対応したクリニック併設（120床） 医療保険込み（最大保障4,000万パーツ、99歳まで） ウェアラブルデバイスで健康状態や位置情報を常時観察 様々なアクティビティへの参加無料

- タイ大手CPグループ系列の不動産大手MagnoliaQuality Development（MQDC）が手掛ける複合開発プロジェクト「The Forestias」の中の高齢者向け施設
- 先進的な高齢者医療で知られるカナダ・バイレクト病院とパートナーシップ提携し、「Active living」のための施設・プログラムなどが充実する
- 敷地内にクリニック・リハビリ施設・病院を併設し、自社独自の研修を経たケアギバーによるケアも実施する



（出所）ジェトロによるヒアリング、写真ジェトロ撮影

NAYA Residence

施設名	NAYA Residence
ウェブサイト	https://nayarresidence.com
所在地	ノンタブリ県
開所	2021年
戸数	70戸（62～120平米、1～2ベッドルーム）
サービス	24時間ナースステーション（看護師常駐） 各戸にモニタリングシステムと緊急コール 月1回の医師の診察、様々なアクティビティへの参加無料
料金（パーツ）	賃貸：40,000～/月 10年リース：720万（120平米、2ベッドルーム）
利用者	定年退職した健康な高齢者、アクティブシニア

- ナヤ・レジデンスはチャオプラヤー河畔に立地し、コンドミニアムやホテルとの複合住宅エリア内の高齢者向け住宅
- 運営は高齢者ケアの専門企業LIVWELLが行う。看護師が24時間常駐しており、入所者をモニタリングしている。各入所者は転倒センサーの携帯端末を持ち、部屋の各所にはナースコールが備え付けられている



介護 高齢者・介護施設 例（日系）

ISHII Stroke Rehabilitation Center

施設名	ISHII Stroke Rehabilitation Center
ウェブサイト	https://www.ishii-and-partners.com/
所在地	バンコク都内ラドプラオ地区およびナワミン地区の2カ所
開所	2020年5月
ベッド数	30床
PT・OT	常時7~8名配置
料金（パーツ）	55,000~90,000 /月
利用者	脳卒中等の回復期患者、手術後ケア

- 石井ストローク・リハビリセンターは、医療法人石井会（群馬県）のタイ現地法人と、タイのバンコク・ヘルスケア・サービス社が共同運営する、リハビリテーションセンター機能を持つナーシングホーム
- 脳梗塞患者のリハビリでの利用が最も多く、整形外科手術後やパーキンソン病患者の利用が続く。医療ベッドや車椅子に日系メーカーを使用している。



Dream Nursing Home

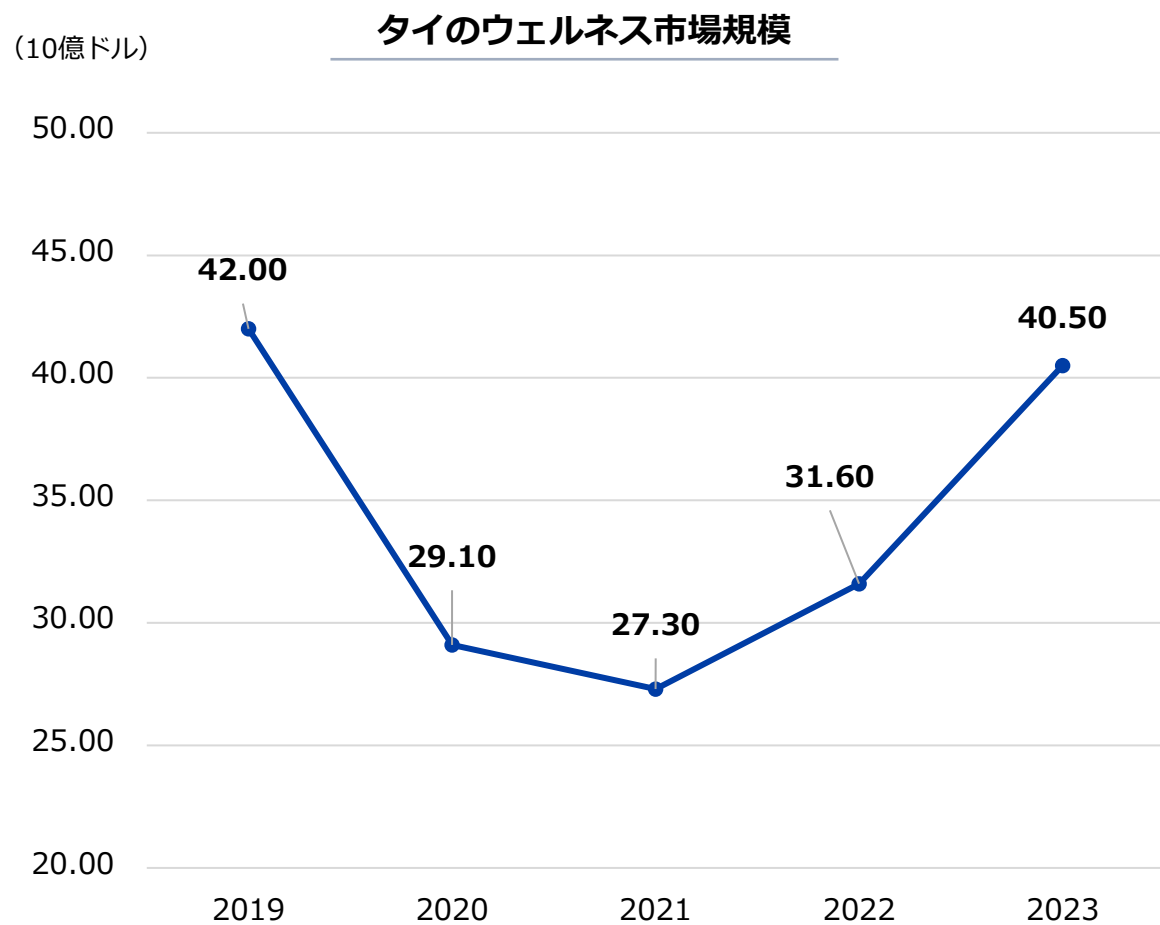
施設名	Dream Nursing Home
ウェブサイト	https://www.facebook.com/DreamNursingHome/
所在地	ノンタブリ県
開所	2023年
ベッド数	16
料金（パーツ）	22,000~/月
利用者	認知症患者、手術後ケアなど

- ドリーム・ナーシングホームは、デイサービス生きがい工房（和歌山県）が設立した高齢者・介護施設
- バンコクに隣接したノンタブリ県にあり、標準的な経済力のタイ人をターゲットにしている。月額2万パーツ台という中間層向けの料金設定で、日本の介護ノウハウを提供している。
- 医師・看護師の常駐は無いが、施設での毎日を楽しく過ごしてもらうために、様々な日常活動の取り組みを行っている。

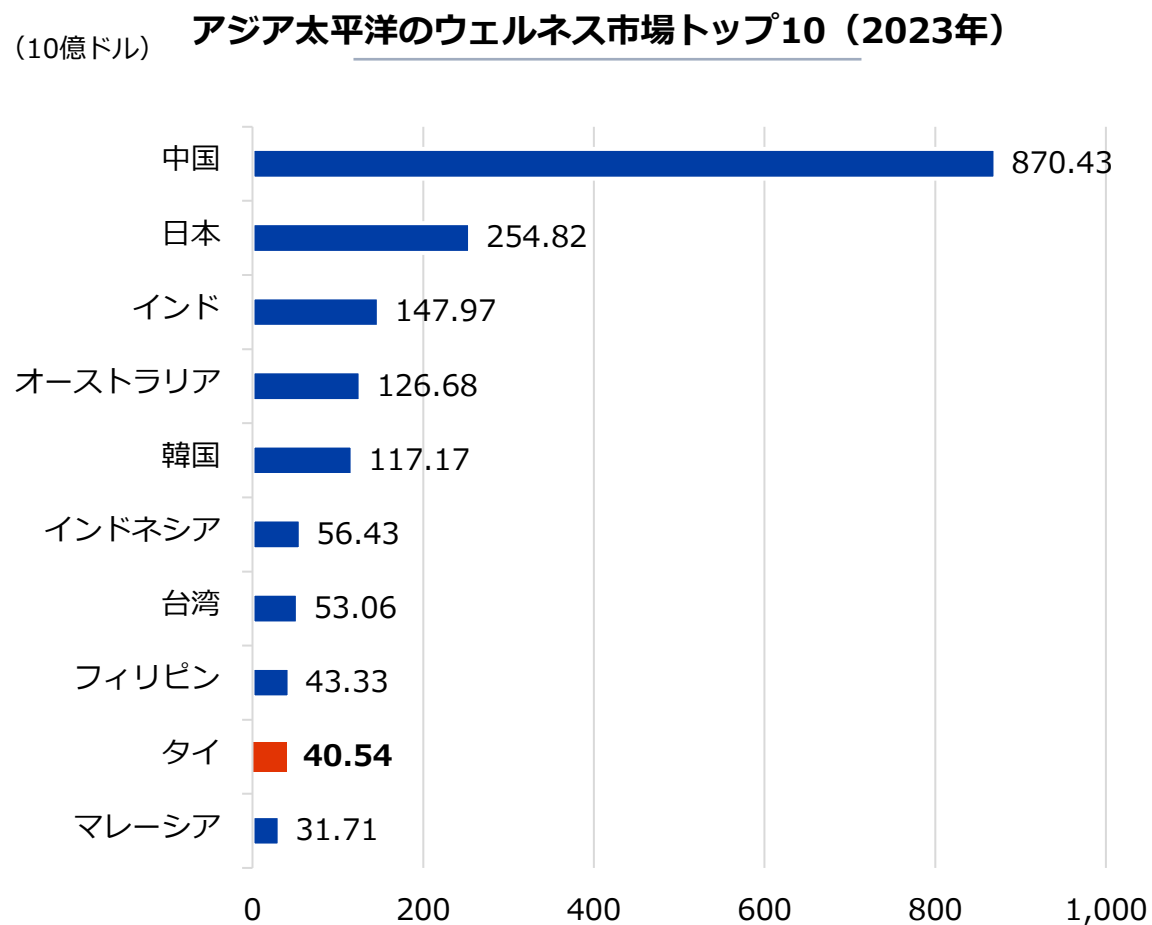


Well | ウェルネス市場規模

- タイのウェルネス市場は、2022年に316億ドルの規模を持ち、2023年には405億ドルへと拡大（28.4%成長）
- 世界で第24位、アジア太平洋地域で第9位の規模



(出所) [Global Wellness Institute](#)



Well ウェルネスハブの事例

- 政府のウェルネスハブ構想に基づき、様々なプロジェクトが進行中
- 特に南部プーケットでは「世界的な医療・ウェルネス観光都市」として発展させることを目指した整備が進む

ウェルネスハブ構想における事例

No.	プロジェクト名	詳細
1	プーケット県「Medical & Wellness Hub」構想	<p>2025年に「ヘルスツーリズム」プロジェクトを立ち上げ、専門医チームによる健康相談とともに、包括的な健康管理サービスを提供。 主要プロジェクト3つから構成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際健康カレッジ（International Health College） 医療人材の育成と地域医療の強化 2. ソンクラー・ナカリン病院（プーケットキャンパス）「アングマン・ヘルス&ウェルネスセンター」 高度医療の提供と地域医療の中核施設 3. インターナショナル・ヘルス&サイエンス・カレッジ 総合的な健康診断・治療・リハビリ・予防サービスを提供。 デジタル歯科センターも併設。
2	Wellness Tourism Routes	「Medical Hub」政策の一環として、全国各地の健康資源を活用した観光ルートを整備し、国内外の旅行者に対して健康促進型の観光体験を提供（全12の健康サービス地域に分類）

タイの民間ウェルネス施設例

No.	施設名	病院名	概要
1	VitalLife Scientific Wellness Center	 Bumrungrad International HOSPITAL	バムルンロード病院に併設された科学的根拠に基づくアンチエイジングと予防医療の専門施設。個別化された健康プログラムと先端医療技術を用いて、健康寿命の延伸と若々しさの維持を支援
2	BDMSウェルネスクリニック	 BDMS Bangkok Dusit Medical Services	予防医療とアンチエイジングに特化した高級ウェルネス施設で、個別化された健康診断や遺伝子検査、ホルモン治療などを提供。科学的根拠に基づいたプログラムで、心身の最適化と長寿を目指す 南部プーケットでラグナ・リゾートやチャーン・イサラと業務提携し、ウェルネス施設を開設
3	サミティベート Wellness Center	 สมิติเวช SAMITIVJ	予防医療と定期健康診断に特化し、個別ニーズに応じたチェックアッププログラムを提供。最新の医療機器と多言語対応スタッフにより、迅速かつ国際水準のケアを実現

Well | ウェルネス施設 例

BDMS Wellness Clinic Laguna Phuket

施設名	BDMS Wellness Clinic Laguna Phuket
ウェブサイト	https://www.bdmswellness.com/en/clinics-services/bwc-laguna-phuket
所在地	プーケット県
開所	2024年6月
料金 (パーツ)	3,000~50,000パーツ ※受診内容による
利用者	高所得層および健康・ウェルネス志向層

- BDMS Wellness Clinic Laguna Phuketは、バンコク病院プーケット (Bangkok Hospital Phuket) の傘下部門の一つであり、BDMSグループとラグーナ・プーケットによる共同プロジェクト
- 予防医学と最新技術による差別化：従来の美容施設とは異なり、科学的データに基づき一人ひとりに最適化されたサプリメントやビタミン点滴 (IV Drip) を提供。
- 富裕層の外国人を主要ターゲット：顧客の90%以上が外国人で、特にロシア、アラブ、中国、アメリカなど。ツーリズム：在住者の割合 = 3割：7割



Item	Description	Price (THB)
1	Royal Life Mega-dose Vitamin C High-dose Vitamin C may help relieve the symptoms of colds and flu.	5,500
2	Royal Life Healthy Plus Methionine, Biotin, and Vitamin C + NAC	4,750
3	Royal Life Vitamin Booster Vitamin B, C, Mg for mild nutritional deficiencies - relieve fatigue and stress.	4,700
4	Royal Life Amino Acid Aid recovery - boost muscle after sport activity, amino acid & vitamin B12 supplement for vegetarian/vegan; long period of low protein intake from poor nutrition.	4,500
5	Royal Life Liver Detox Aid liver detoxification - for alcoholism, hangover.	3,900
6	Chelation Therapy The use of chelating agents (EDTA) to remove the cholesterol, iron, and other substances accumulated in body's parts, particularly the heart vessels.	4,590

TAKE CARE OF YOUR BODY FROM THE INSIDE OUT

Our IV Vitamin Therapy formulas are formulated and calculated by doctors, incorporating the latest medical and nutritional research, vitamins, and nutrients in appropriate quantities that are safe for the recipient. Each of our formulas is designed to care for your body and also boost your immune system. They are based on vitamins, minerals, and certain essential nutrients, which help boost your immune system and improve your overall health.

Vitamin Therapy Lounge

- Metabolism Booster**: Boosts metabolism, improves energy levels, and aids in weight management.
- Hangover Remedy (Detox)**: Alleviates hangover symptoms, including headache, nausea, and dehydration.
- Beauty Booster**: Promotes skin health, improves complexion, and reduces signs of aging.
- Jet Lag**: Reduces fatigue, improves sleep, and helps you adjust to a new time zone.
- Stress**: Reduces stress levels, improves mood, and promotes relaxation.
- Sleep**: Improves sleep quality, reduces insomnia, and promotes restful sleep.
- Sexual Health**: Boosts libido, improves sexual performance, and promotes overall well-being.
- Immune Health**: Strengthens the immune system, reduces the risk of illness, and promotes overall health.
- Energy Booster**: Boosts energy levels, improves focus, and increases productivity.
- Antioxidant**: Protects against oxidative stress, reduces inflammation, and promotes longevity.
- Anti-Aging**: Reduces signs of aging, improves skin texture, and promotes youthful appearance.

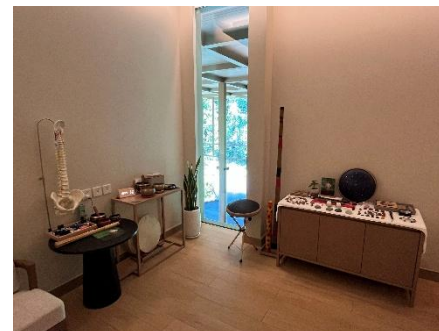
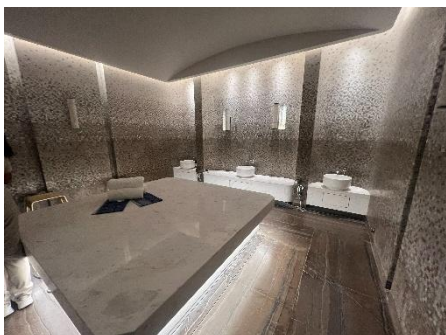
(出所) ジェトロによるヒアリング、写真ジェトロ撮影

Well | ウェルネス施設 例

Layan Life by Anantara

施設名	Layan Life by Anantara
ウェブサイト	https://www.layanlifephuket.com
所在地	プーケット県
開所	2024年12月
料金（パーツ）	2,000～50,000パーツ ※受診内容による
利用者	高所得層および健康・ウェルネス志向層

- Layan Life by Anantara は、アナンタラ・ラヤン・プーケット・リゾート内に位置するフラッグシップ級のメディカルスパ。その最大の特徴は、タイの伝統的医学と現代の西洋医学技術の融合にある。
- 施設の外観および内装は、人間と自然をつなぐ「バイオフィリック・デザイン」の概念に基づいて設計。
- メイン客層は**35歳～60歳**。ほとんどの顧客が3泊～10泊の宿泊型リトリートプログラムを利用しており、平均滞在日数は**5～7日間**
- 最先端の診断技術と治療：毛髪によるエピジェネティック検査で健康リスクを分析し、高気圧酸素療法（HBOT）やマイナス110℃のクライオセラピー、IV Dripを提供する。



(出所) ジェトロによるヒアリング、写真ジェトロ撮影

Well | ウェルネス施設 例

Tri Vananda

施設名	Tri Vananda
ウェブサイト	https://trivananda.com/th/landing-page/
所在地	プーケット県
開所	未定 ※ヴィラ（住居）は第一期が販売開始
利用者	高所得層および健康・ウェルネス志向層

- プーケットの名門リゾート「トリサラ（Trisara）」を手掛けるモンタラ・ホスピタリティ・グループによる開発
- 主な顧客層はロシア、スペイン、韓国、オーストラリアなど国際色豊か。特に、外国人との国際結婚をされているご家族など
- 医師常駐のメディカルセンターと充実の施設：自社農園（Farm-to-Table）や最新鋭のジムを完備し、自然風や光を取り入れた環境配慮型のバイオフィリック・デザインを採用している。
- ウェルネス・コンサルテーション：ただ住むだけでなく、パーソナル・ウェルネス・コーチが一人ひとりの健康状態に合わせたプログラムを提案してくれる、長期的な健康維持を目的としたコミュニティ。



(出所) ジェトロによるヒアリング、写真ジェトロ撮影

Well | ウェルネス施設 例

ALIVE BY VACHIRAPHUKET

施設名	ALIVE BY VACHIRAPHUKET
ウェブサイト	https://www.vachiraphuket.go.th/tag/alive/
所在地	プーケット県
開所	2026年3月
料金 (パーツ)	500~50,000パーツ ※受診内容による
利用者	外国人、現地タイ人

- ALIVE BY VACHIRAPHUKET は、ワチラ・プーケット病院（公立病院）が運営する美容クリニック。タイ政府の**アンダマン・ウェルネス・コリドー (AWC)** プロジェクトの一環で開設。
- 同クリニックでは、プレミアムなサービスを通じて、タイ人および外国人をターゲットとした集客を行っている。他の民間ウェルネスクリニックと比較して安価であることが差別化要素の一つ。設備や提供サービスは民間クリニックと同程度の最先端の機器・検査を導入している。



เลเซอร์กำจัดขน
Diode Laser Hair Removal
ผิวเนียนใส ไร้ขน ขุดไหนก็ขึ้นใจ

- ✓ กำจัดขน
- ✓ ปรับผิวให้เรียบเนียน
- ✓ ลดขนคุด
- ✓ ช่วยลดการอักเสบ
- ✓ กระตุ้นสร้างคอลลาเจนใต้ผิว

ริมฝีปากบน	1 ครั้ง	500.-
คาง	1 ครั้ง	800.-
เต้านมหน้า	1 ครั้ง	2,500.-
ใต้แขน	1 ครั้ง	1,200.-
แขน (ครึ่งแขน)	1 ครั้ง	3,000.-
แขน (เต็ม)	1 ครั้ง	5,000.-
ขา (ครึ่งก่อน)	1 ครั้ง	6,000.-
ขา (เต็ม)	1 ครั้ง	10,000.-

พิเศษ! 10 ครั้ง ลด 30% ทุกรายการ

ลดขนคุด, ขนเก็ด, ไร้ขน, ไร้สิว

ไม่รับยื่นบัตรวันที่ 31 มกราคม 2569

Ultratherapy PRIME
ยกกระชับรูปหน้า ไม่ต้องศัลยกรรม

300 lines	39,000.-
400 lines	47,500.-
500 lines	56,000.-

- จบปัญหาผิวหย่อนคล้อย
- กระตุ้นคอลลาเจน
- ยกกระชับถึงชั้น SMAS
- ไม่ต้องพักฟื้น

แถมฟรี!

- Program Ultratherapy PRIME 100 Line
- Program ADVATx หน้าใส มูลค่า 5,000.-
- VISIA ฉีดระเหยผิวหน้า

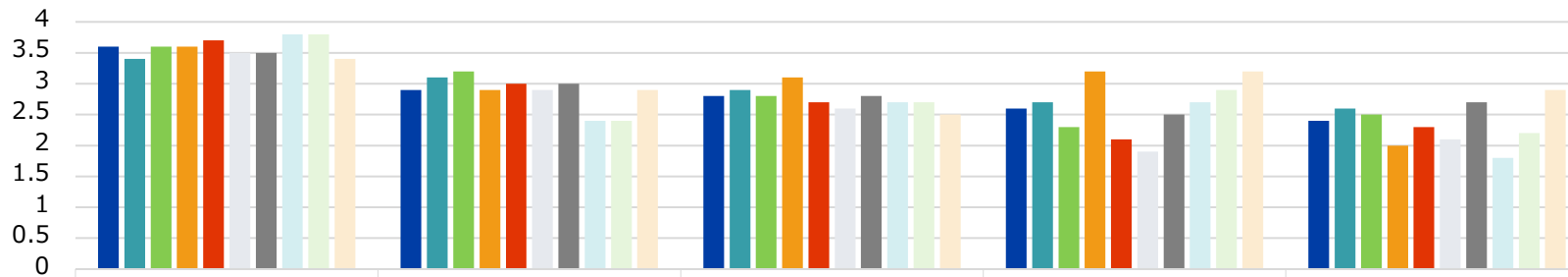
ไม่รับยื่นบัตรวันที่ 31 มกราคม 2569

(出所) ジェトロによるヒアリング、写真ジェトロ撮影

参考 ASEANにおける「健康的なイメージの国」

- ASEAN諸国では「健康的なイメージの国」日本が最高。9カ国全てにおいて3.4ポイント以上の評価
- 次いで「韓国」2.9「EU」2.8「US」2.6「中国」2.4ポイントの順

日本、韓国、欧州（EU）、米国（US）、中国の健康イメージ（2017年）



	日本	韓国	EU	US	中国
■ 全体(n)	3.6	2.9	2.8	2.6	2.4
■ タイ(200)	3.4	3.1	2.9	2.7	2.6
■ フィリピン(200)	3.6	3.2	2.8	2.3	2.5
■ ベトナム(200)	3.6	2.9	3.1	3.2	2
■ マレーシア(200)	3.7	3	2.7	2.1	2.3
■ シンガポール(200)	3.5	2.9	2.6	1.9	2.1
■ インドネシア(200)	3.5	3	2.8	2.5	2.7
■ カンボジア	3.8	2.4	2.7	2.7	1.8
■ ミャンマー	3.8	2.4	2.7	2.9	2.2
■ ラオス	3.4	2.9	2.5	3.2	2.9

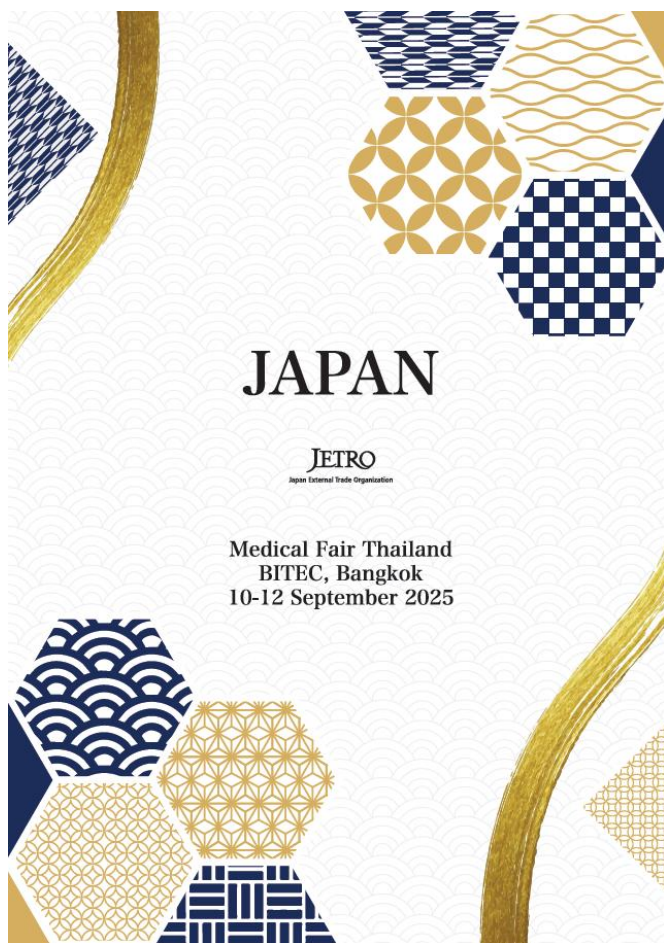
注) 1. 4段階評価
「非常に健康」：4ポイント
「健康」：3ポイント
「不健康」：2ポイント
「非常に不健康」：1ポイント) の平均点

注) 2. カンボジアの回答者数：
日本162/韓国136/EU129/US142/中国
115

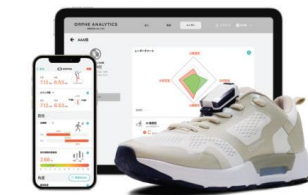
注) 3. ミャンマーの回答者数：
日本186/韓国160/EU151/US165/中国
159

参考 | タイにおけるビジネスチャンス：日系企業の事例

- 2025年9月10日～12日、ASEAN最大規模の医療・ヘルスケア見本市「Medical Fair Thailand」に8年ぶりにジャパン・パビリオンを出展。
- タイの健康課題に合致するような製品・サービスを取り扱う日本企業12社を支援。医療・運動・美容の観点からもビジネスチャンスあり。



archelis Archelis Inc.	KYOTO KAGAKU Kyoto Kagaku Co., Ltd.
ARKRAY (Thailand) Co., Ltd.	LIFESCAPES LIFESCAPES Inc.
Finggal Link Finggallink Co., Ltd.	MNES MNES inc.
Hakuzo Medical Asia Co., Ltd.	OG Wellness OG Wellness Technologies Co., Ltd.
HASHIMOTO ENGINEERING Co., Ltd.	ORPHE ORPHE Inc.
JMS Healthcare (Thailand) Co., Ltd.	SAKAE SAKAE CORPORATION



目次

I.	<u>ASEANヘルスケア基礎概況</u>	7
II.	<u>タイのヘルスケア市場の特徴・優位性</u>	25
III.	<u>タイにおけるヘルスケア関連ニーズ</u>	48
参考.	<u>進出に際しての障壁（規制）</u>	74
参考.	<u>ジェトロのヘルスケア事業</u>	80

参考 医療機器規制

- ASEAN諸国は2014年に医療機器の規格の統一を目的としたASEAN医療機器指令（AMDD）に署名
- 2019年の医療機器法の改正により、医療機器の定義及び分類がAMDDの規定に沿うよう改正された

医療機器法に反映されているAMDDの主なコンセプト

1	医療機器の定義	<ul style="list-style-type: none"> ■ AMDDにおける医療機器の定義に沿うよう改正 ■ ただし医療機器法における医療機器の定義は、動物に使用される機器も対象だが、AMDDの定義は、人体に使用される医療機器のみを対象としている点に違いがある
2	医療機器の分類	<ul style="list-style-type: none"> ■ リスク分類ルールに基づき、4つのクラスに分類されている
3	医療機器の管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機器の製造者及び輸入者は、医療機器法第15条に基づきFDAに製造場所又は輸入事業所の登録をする必要がある。
4	医療機器の登録	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機器の製造者及び輸入者に対して、医療機器の分類に応じて、許可取得、詳細内容の申告又は届出義務が課されている ■ 医療機器法上、許可申請、詳細内容の申告及び届出に際して必要となる書類は、AMDDに定める統一申請様式（Common Submission Dossier Template）CSDTの基準に準拠している。
5	ラベル	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2020年9月22日付ラベル及び医療機器リーフレットの規制に関する保健省告示（「保健省告示（ラベル）」）において条件が定められている。
6	事故時等の報告義務	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療機器法第41条に基づき、医療機器の製造者又は輸入者は、苦情への対応、医療機器の誤作動又は消費者への被害、及び医療機器の使用改善に関する報告書の提出等が求められている。

参考 医療機器規制

- 2021年に改正。医療機器をタイに輸入する場合、事前にタイFDAに申請する必要がある
- 詳細は[ジェットロ調査レポート「タイにおける医療機器に関する規制（2026年3月）」](#)を参照

規制の主なポイント

- タイFDAへの申請はタイ法人のみ可能（外国企業は申請不可）。
- 輸入許可を取得すると、販売許可を取得したとみなされる（輸入許可＝販売許可）。
- FDAの申請に際し、自国の自由販売証明書やGMP、ISO13485な場合あり。
（以前は、すべての医療機器の申請に自由販売証明書が求められたが、現在は必須ではなくなった。）
- 中古医療機器の輸入は禁止。
- 新制度の下では電子申請の方式を採用。先進国の大手企業は地元の巨大市場で高いシェアを誇り、海外展開にも積極的。
- 新興市場では中国が最大。シェアでは6%ながら市場は急拡大。

分類	リスク	申請方法	書類	許可が下りるまでの日数
クラスⅠ	低リスク	届出	製品パンフレット等の比較的簡易な書類提出	200営業日
クラスⅡ	低・中リスク	内容申告	統一書式（CSDT）を使用	250営業日
クラスⅢ	中・高リスク	内容申告	統一書式（CSDT）を使用	250営業日
クラスⅣ	高リスク	許可	統一書式（CSDT）を使用	300営業日

参考 Good Manufacturing Practice (GMP) 認証

- タイ保健省は、消費者保護、医療機器製造方法また輸入販売に対する品質・効率・安全性確保を目的として、2024年7月から適用
- 保健省告示「[Good Manufacturing Practice, B.E. 2566 \(2023\)](#)」 (官報発行日：2024年1月5日) にて詳細を記載

対象：① 医療機器施設登録者 ② ライセンス取得者 ③ 詳細報告書届出者 ④ 医療機器製造登録者

Class
1

- 次のいずれかの規格および製造要件を順守すること。
 - ① 告示末尾の添付リストに定める「Appendix C」を順守
※最低基準
 - ② 末尾の添付リストに定める「Appendix A」を順守
※ Appendix A = 医療機器製造管理基準 (GMP)
 - ③ ISO 13485-2016
 - ④ TCAS 13485-2562
(※参考：[Standard-shop \(tisi.go.th\)](#))

Class
2

- 次のいずれかの規格および製造要件を順守すること。
 - ① 末尾の添付リストに定める「Appendix A」を順守
※ Appendix A = 医療機器製造管理基準 (GMP)
 - ② ISO 13485-2016
 - ③ TCAS 13485-2562
(※参考：[Standard-shop \(tisi.go.th\)](#))

↗ 2027年12月31日

Class
3

- 次のいずれかの規格および製造要件を順守すること。
 - ① 末尾の添付リストに定める「Appendix A」を順守
※ Appendix A = 医療機器製造管理基準 (GMP)
 - ② ISO 13485-2016
 - ③ TCAS 13485-2562
(※参考：[Standard-shop \(tisi.go.th\)](#))

↗ 2026年12月31日

Class
4

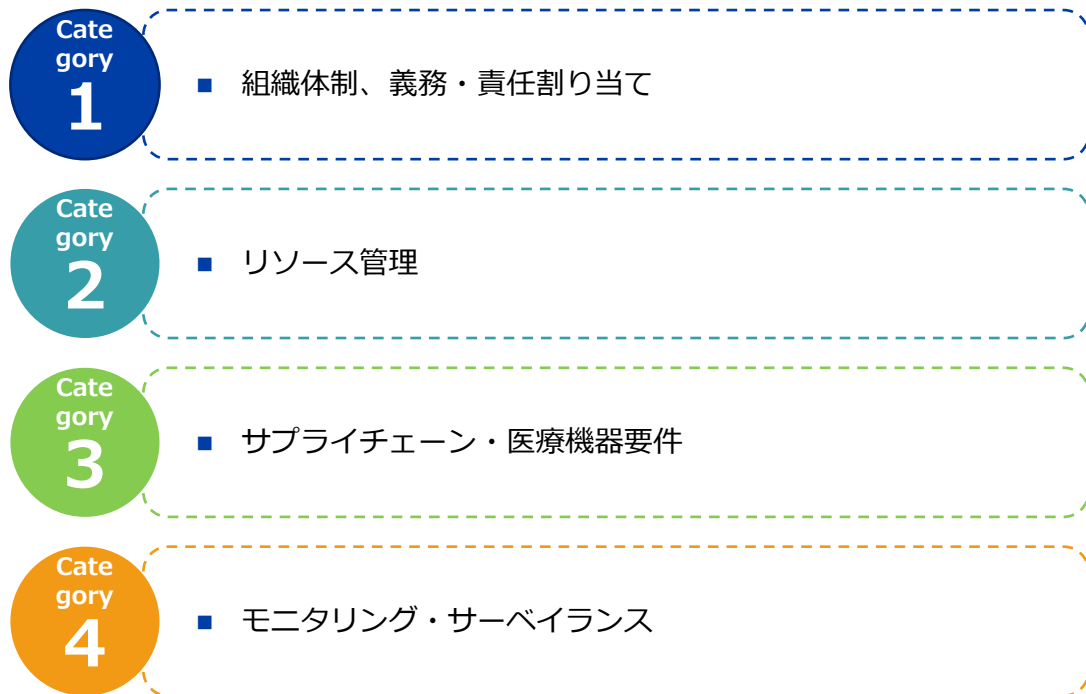
- 次のいずれかの規格および製造要件を順守すること。
 - ① 末尾の添付リストに定める「Appendix A」を順守
※ Appendix A = 医療機器製造管理基準 (GMP)
 - ② ISO 13485-2016
 - ③ TCAS 13485-2562
(※参考：[Standard-shop \(tisi.go.th\)](#))

参考 Good Importing and Sales Practice 認証

- タイ保健省は、医療機器の輸入・販売事業を品質管理システムに基づいて適切に運営することを目的として、2025年1月から適用
- 保健省告示「Good Importing and Sales Practice, B.E. 2566 (2023)」（官報発行日：2024年1月5日）にて詳細を記載

対象：① 医療機器輸入者 ② 医療機器販売者

4つの構成カテゴリー



適用対象と施行スケジュール



（※1）2025年1月5日以降に医療機器の輸入事業者として登録、または販売許可を取得した事業者
 （※2）2025年1月5日以前に医療機器の輸入事業者として登録、または販売許可を取得した事業者

参考 ジェトロ規制レポート

調査レポート

タイにおける医療機器に関する規制（2026年3月）



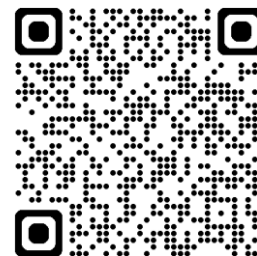
最終更新日: 2026年3月27日

本レポートは、タイにおいて医療機器を輸入・販売する際の手続きや関税制度、注意事項等について取りまとめたものである。

発行年月： 2026年03月

作成部署： ジェトロ海外ビジネスサポートセンター貿易投資相談課、ジェトロ・バンコク事務所

総ページ数： 46ページ



タイにおけるデジタルヘルスに関する規制（2026年3月）



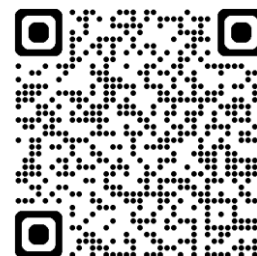
最終更新日: 2026年3月27日

本レポートは、タイにおいてデジタルヘルス関連製品・サービスを輸入・販売する際の手続きや関連規制、個人情報保護等の注意事項等について取りまとめたものである。

発行年月： 2026年03月

作成部署： ジェトロ海外ビジネスサポートセンター貿易投資相談課、ジェトロ・バンコク事務所

総ページ数： 22ページ



タイにおける介護サービスに関する規制（2026年3月）



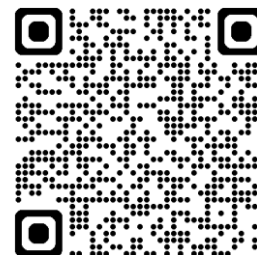
最終更新日: 2026年3月27日

本レポートは、タイにおいて介護サービス事業を実施する際の手続きや関連規制、注意事項等について取りまとめたものである。

発行年月： 2026年03月

作成部署： ジェトロ海外ビジネスサポートセンター貿易投資相談課、ジェトロ・バンコク事務所

総ページ数： 24ページ



参考 医療機器ディストリビューターリスト

- 代理店は「海外ブランド子会社」「公認代理店」の2種類
- 96%は中小企業だが、4%の大企業が収入の6割を占めている

タイ医療機器ディストリビューター調査（2018年）

タイ医療機器ディストリビューター調査（2018年3月）



最終更新日： 2018年03月19日


政府の成長戦略「未来投資戦略2017」（平成29年6月9日閣議決定）では、医療の国際展開を進めるため、医療機器等の海外販路開拓支援を進める方針を打ち出している。ジェトロは本戦略の下、世界各地で我が国企業と現地パートナーとの商談機会を設け、企業の海外展開支援を行っている。タイの医療機器市場は年率15%で急拡大しており、現地日本商工会には医療専門部会が設置されるなど、同国は日本企業が特に重視する市場の一つである。本調査レポートは、タイの主要医療機器ディストリビューターのリストをまとめたものであり、日本の中小企業のタイへの参入の支援を目的とする。

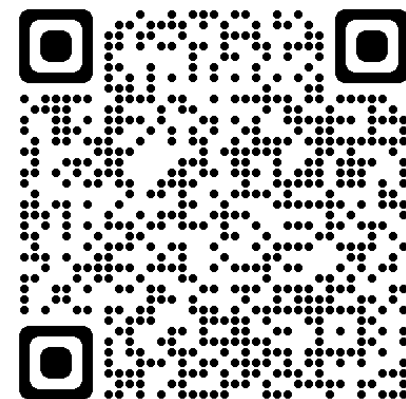
発行年月： 2018年03月

作成部署： ジェトロ・ヘルスケア産業課、ジェトロ・バンコク事務所

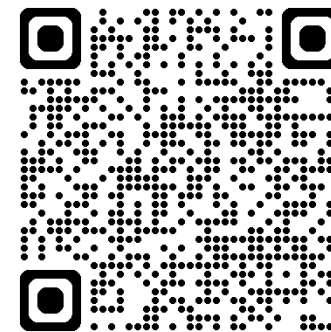
総ページ数： 31ページ

ファイルのダウンロード：

- ・タイ医療機器ディストリビューター調査（2018年3月）  (703KB)



参考 支援内容 – ジェトロ



展示会・商談会

医療機器

《展示会》

Africa Health ExCon 2026

●エジプト(カイロ) 2026年6月16日(火)～18日(木)

Global Health Exhibition 2026

●サウジアラビア(リヤド) 2026年10月26日(月)～29日(木)

※医薬品も対象とする可能性があります。

MEDICA 2026

●ドイツ(デュッセルドルフ) 2026年11月16日(月)～19日(木)

WHX Dubai 2027

●UAE(ドバイ)

2027年1月25日(月)～28日(木)

《商談会》

医療機器マッチング事業

●タイ

時期未定



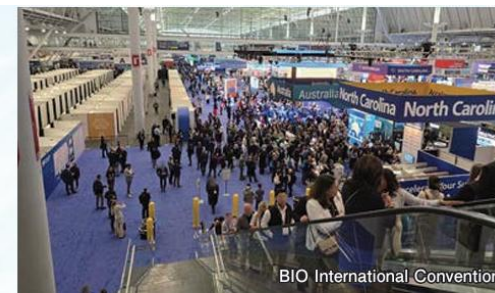
バイオ医薬品

BIO International Convention

●米国(サンディエゴ) 2026年6月22日(月)～25日(木)

BIO Europe

●ドイツ(ケルン) 2026年11月9日(月)～11日(水)



バイオメルマガ

高齢者ケア

中国国際養老サービス博覧会 ●中国・北京 2026年5月

中国山東(青島)国際康養産業博覧会 ●中国・青島 2026年7月

中国(大連)国際高齢者産業博覧会 ●中国・大連 2026年9月

WISE武漢シルバー展 ●中国・武漢 2026年9-10月

中国(重慶)老年産業博覧会 ●中国・重慶 2026年11月
中国国際シルバー産業博覧会 ●中国・広州 2026年11月
成都国際養老服務業博覧会 ●中国・成都 2027年3月

《商談会》

対話山東・日中ヘルスケア産業交流会 ●中国・青島 2026年8月(予定)



高齢者産業メルマガ

参考 | 2026年度事業（案）タイ・ヘルスケアビジネスマッチングイベント

分野・方向性

1) 医療分野

- 大学病院、大手私立病院、大手ディストリビューター、地方自治体（保健部門・実証窓口） × ヘルステック・デジタルヘルス、高度医療機器
- 中堅・中小私立病院、ディストリビューター × 医療機器・医療用品

2) 健康・介護・理学療法・ウェルネス分野

- 介護施設、ウェルネス施設、大手ディストリビューター × 介護・理学療法・健康ウェルネス製品サービス

スケジュール

6月末～7月頭 (6月29日～7月3日、7月6日・7日)	日本企業向けオンライン説明会・リバースピッチ（医療分野）
8月（オンライン+対面）	マッチングイベント①：医療分野 ヘルステック・デジタルヘルス、高度医療機器、医療機器・医療用品 × 大学病院、大手私立病院、大手ディストリビューター、自治体
9月下旬～10月上旬	日本企業向けオンライン説明会・リバースピッチ（健康・介護・理学療法・ウェルネス分野）
11月（オンライン+対面）	マッチングイベント②：健康・介護・理学療法・ウェルネス分野 介護・理学療法・健康ウェルネス製品/サービス × 介護施設、ウェルネス施設、大手ディストリビューター
3月	（実施検討中）JCC × TCC × MEJで連携した日本企業のヘルスケア見本市

参考 支援内容 – ジェトロ

日ASEANにおけるアジアDX促進事業 <終了>

- デジタル技術を駆使して日ASEANの経済・社会課題解決を図る実証事業にかかる経費の一部を補助。
- 日本企業と現地企業との協働による実証事業を実施することで、日ASEANが一体となってデジタルイノベーションの社会実装を進めるとともに、日ASEANの経済産業協力関係を強化することを目的。

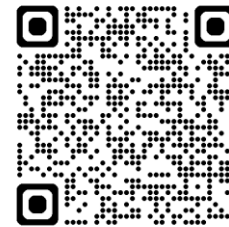
医療・ヘルスケア

企業名	事業実施国	企業区分 (採択種)	プロジェクト名
株式会社アルム	マレーシア	中小企業 (一般種)	新型コロナウイルス流行下のマレーシアにおけるパーソナルヘルスレコードを基盤としたオンライン診療プラットフォームの構築
株式会社日立製作所	タイ	大企業	タイ王国における疾病リスク予測検知モデルサービスマーケティングの展開
株式会社フジタ医科器械	ミャンマー	中小企業 (一般種)	ミャンマーにおける排澄機能障害の改善リハビリプログラムの試験導入・普及事業
株式会社商標システムズ	ラオス	大企業	Personal Health Record基盤を活用した健康管理プラットフォームの提供
メドリング株式会社	ベトナム	中小企業 (一般種)	ベトナムにおけるクリニック領域のDX推進を目的としたスマートクリニックチェーンの展開、および、医療ビッグデータプラットフォーム開発
Ubie株式会社	シンガポール	中小企業 (一般種)	シンガポール・民間クリニックにおける「AI問診」実証実験

グローバルサウス未来志向型共創等事業費補助金

- 日本企業がグローバルサウス諸国（新興国・途上国）で行う「事業化可能性調査（FS事業）」や「小規模実証事業」に対して、必要経費の一部を支援
- 対象分野は以下など。ヘルスケア分野も多数の採択事例あり。
 類型1：我が国のイノベーション創出につながる共創型
 類型2：日本の高度技術海外展開型
 類型3：サプライチェーン強靱化型

参考 支援内容 – ジェトロ調査レポート



調査レポート



- ASEAN医療機器指令の概要と各国の対応状況向調査（2022年3月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2022/02/ab7026b72051af9f.html>
- ヘルスケアビジネスのASEAN展開（2018年3月）
https://www.jetro.go.jp/industry/life_science/healthcare_asean.html



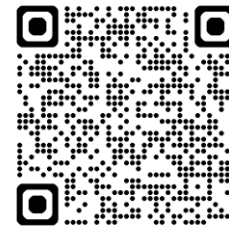
調査レポート



- タイにおける介護サービスに関する規制
https://www.jetro.go.jp/reportstop/life_science/asia/asean/reports/
- タイにおけるデジタルヘルスに関する規制
https://www.jetro.go.jp/reportstop/life_science/asia/asean/reports/
- タイにおける医療機器に関する規制
https://www.jetro.go.jp/reportstop/life_science/asia/asean/reports/
- タイ・ヘルスケア産業調査（2024年3月）
https://www.jetro.go.jp/reportstop/life_science/asia/asean/reports/
- タイ医療機器ディストリビューター調査（2018年）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2018/02/a79f1027dc7481fb.html>



参考 支援内容 – ジェトロ調査レポート



調査レポート



- シンガポールにおける医療機器市場の概要（2024年12月）
<https://www.jetro.go.jp/biz/trendreports/2024/13e05a0d7b7cebe0.html>



調査レポート



- マレーシアにおける高齢者産業のエコシステム形成に向けた調査（2025年9月改訂版）
https://www.jetro.go.jp/reportstop/life_science/asia/asean/reports/
- マレーシアにおける医療機器の輸入制度（2024年10月改訂版）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/02/da01ce96204cb945.html>
- マレーシアにおける医療機器等の輸入販売業者調査（2021年7月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/c5d2f79bd2a55d5d.html>



調査レポート



- インドネシアの医療機器市場と規制調査報告書（2024年3月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/02/6c4102d8bb787574.html>
- インドネシア医療分野への投資・輸入規制ハンドブック（2021年9月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/02/b160cea473ddd3c2.html>



調査レポート



- ベトナム分野別DX市場のビジネス機会（物流・モビリティ、環境・再エネルギー、医療・ヘルスケア）（2024年8月）
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/02/8ac6832759c4f311.html>



参考 ジェトロのサービス一覧・窓口

貿易投資相談

実務経験豊富な「海外ビジネスアドバイザー」が投資・貿易に関する現地制度やビジネス環境情報の提供、進出に関する諸手続きを中心にアドバイスを行っています。

E-mail : bgk-info@jetro.go.jp
 ※原則メールでのご連絡をお願いしています

「ジェトロのサービス」パンフレット

海外ビジネス展開支援メニューの一覧をご覧ください。



ジェトロのサービス  検索

海外ブリーフィングサービス

現地一般経済事情やビジネス環境について情報提供を行っています。

例えば・・・

- ・本社から出張者が来るにあたり、タイの一般概況を説明して欲しい。




ジェトロ
海外ブリーフィング  検索

ジェトロ・バンコクのメールマガジン

タイやASEAN関係のビジネス情報、イベント情報をお届けします。

「JETRO infomail @thai」



ジェトロ メールマガジン  検索

ご清聴ありがとうございました

日本貿易振興機構（ジェトロ）バンコク事務所

Trade & Investment Consultant /

Director, Investment Promotion Department

上江洲 祐貴



+66-2-253-6441 : Ext.130



bgk-info@jetro.go.jp



127 Gaysorn Tower, 29th Floor, Ratchadamri Road,
Lumphini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand

世界の
ビジネス関連情報を毎日
掲載！

閲覧無料

『ビジネス短信』はこちら



<https://www.jetro.go.jp/biznews/>

ジェトロバンコク
メールマガジン
『jetro infomail@thai』

毎日配信！

『ジェトロバンコクメールマガジン』はこちら



<https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/input.htm?jsessionid=99CEC7C6CE6318ED312728C942089396>

■ ご注意

本日の講演内容、資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。